

第1章 調査の概要

1 調査の名称

家庭教育支援の充実のための実態等把握調査

2 調査の趣旨

本調査は、家庭教育に関する保護者の意識や支援の状況等を把握し、新しい社会に対応した家庭教育支援の充実のための施策の企画立案に資することを目的とする。

3 調査対象

- ・ 県内在住の小学校5年生の保護者 2,033人
- ・ 県内在住の中学校2年生の保護者 2,078人

4 調査方法

調査対象の母集団から、無作為に抽出した学校へ調査票を送付し、直接記入された調査票を同封の返信用封筒により、無記名で回収した。なお、調査票の印刷・発送・回収、調査結果の集計業務は、業者委託により実施した。

- ・ 調査業務委託先 株式会社サンブラッソ・エイティープイ
- ・ 調査票の発送 令和3年1月9日
- ・ 回答期限 令和3年1月22日

※調査票については、下記からダウンロードすることができます。

https://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/aomorimanabi-e_shogai.html

5 回収結果

- ・ 小学校5年生の保護者対象
有効回答数(率) : 1,939 (95.4%) 無効回答数 : 0
- ・ 中学校2年生の保護者対象
有効回答数(率) : 1,922 (92.5%) 無効回答数 : 0

6 研究顧問

- ・ 深作拓郎氏 (弘前大学教育学部 講師)
- ・ 高橋多恵子氏 (青森明の星短期大学 准教授)

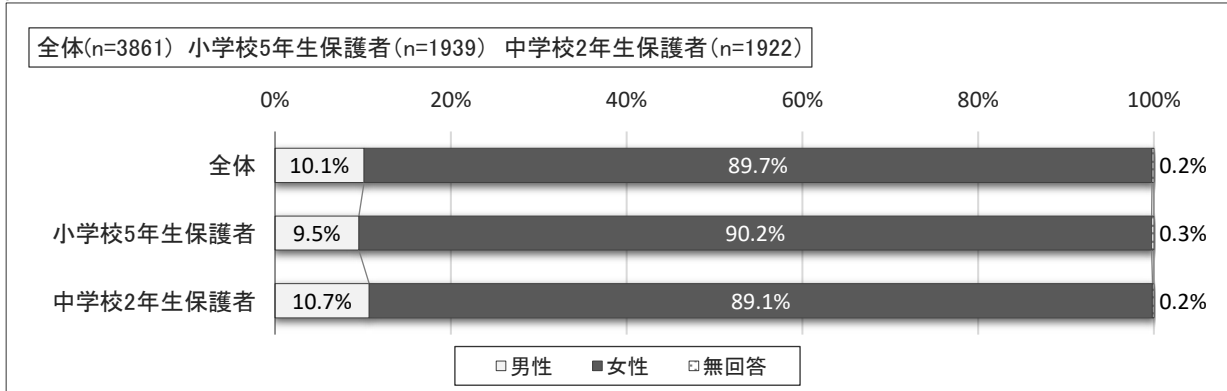
第2章 調査の結果

1 調査結果の見方

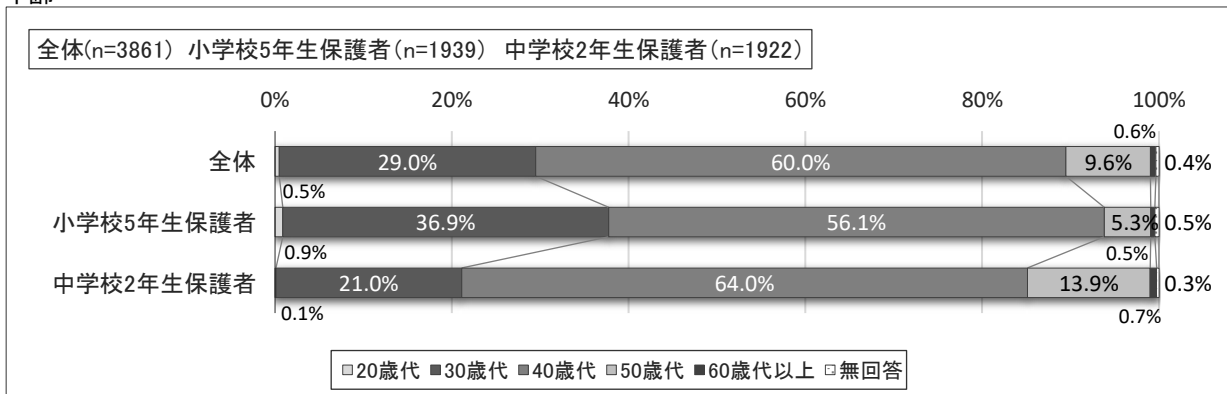
- ・グラフの中の「n=」は、質問に対する回答者数を表している。
- ・結果数値(パーセント)は、小数点第2位を四捨五入しており、合計が100%にならないこともある。

2 調査回答者の属性

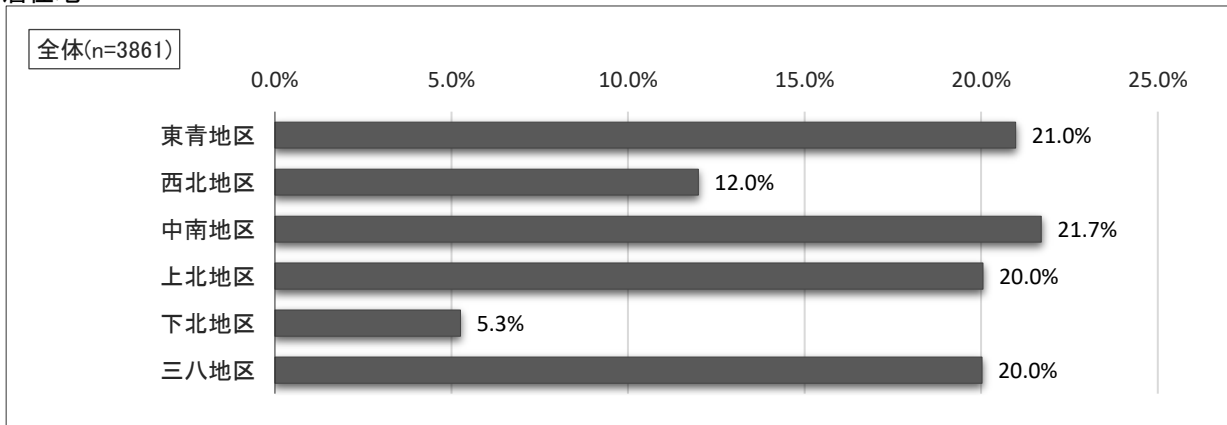
問1 性別



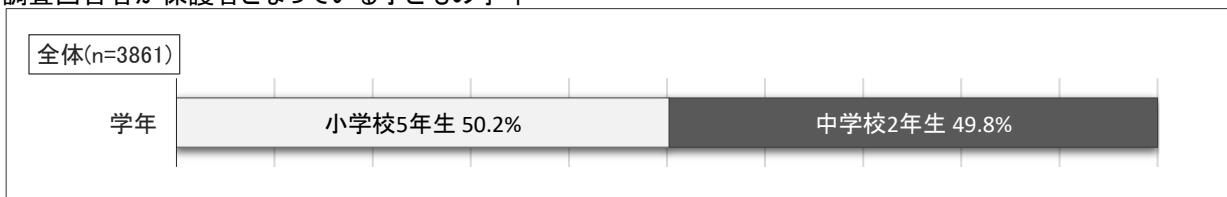
問2 年齢



問3 居住地

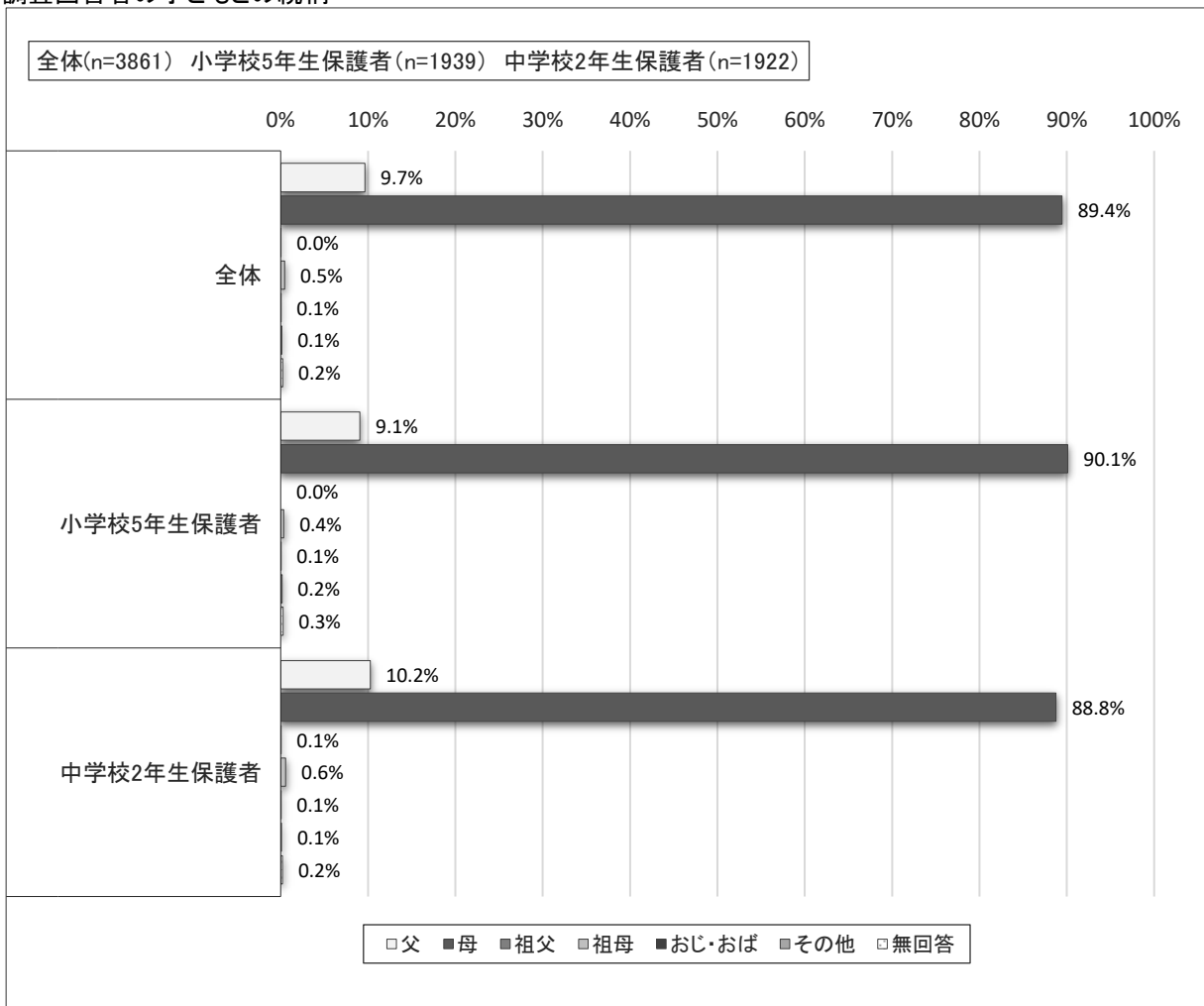


問4 調査回答者が保護者となっている子どもの学年



有効回答数は、小学校5年生保護者1,939人、中学校2年生保護者1,922人であり、男性は10.1%、女性は89.7%で、小学校5年生保護者のうち30歳代から40歳代は93.0%、中学校2年生保護者のうち30歳代から40歳代は85.0%であった。

問5 調査回答者の子どもとの続柄



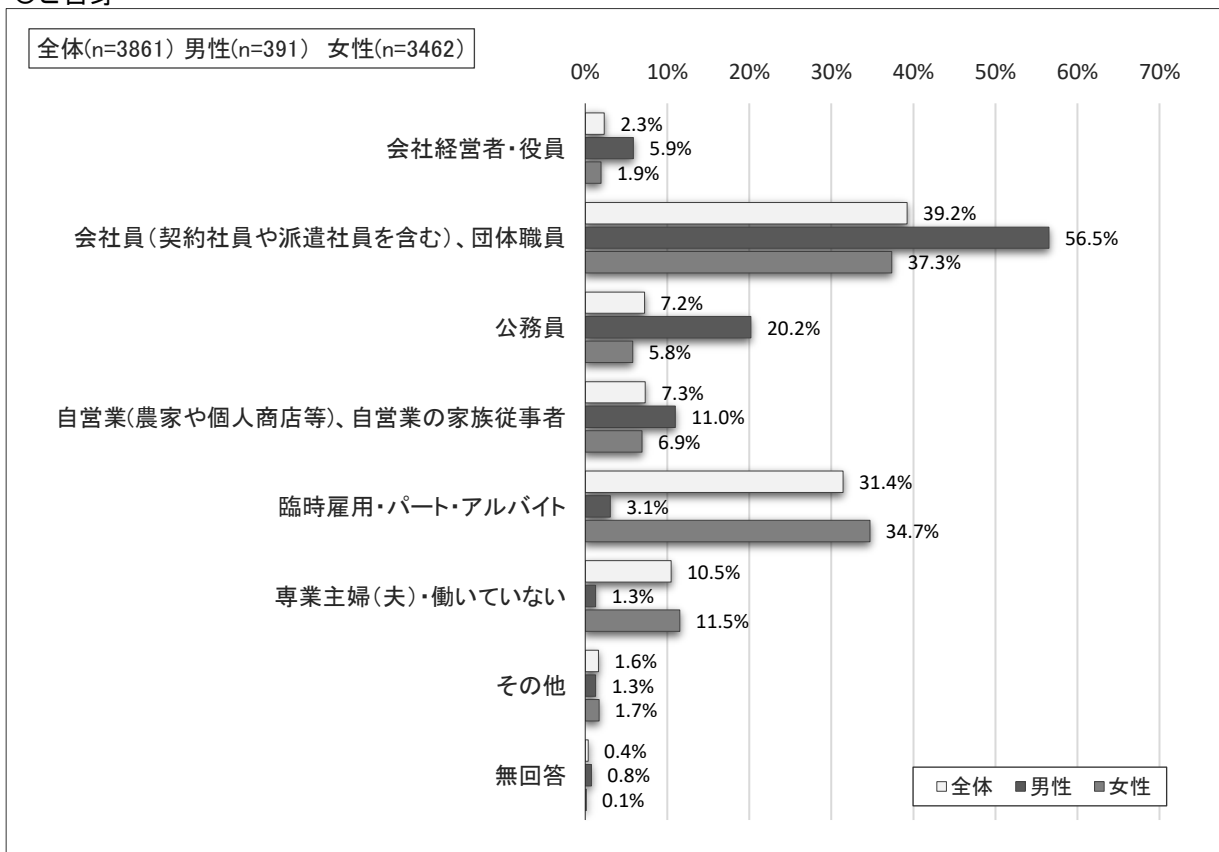
その他

- 養母(2件) ● 施設保育士担当職員 ● 姉

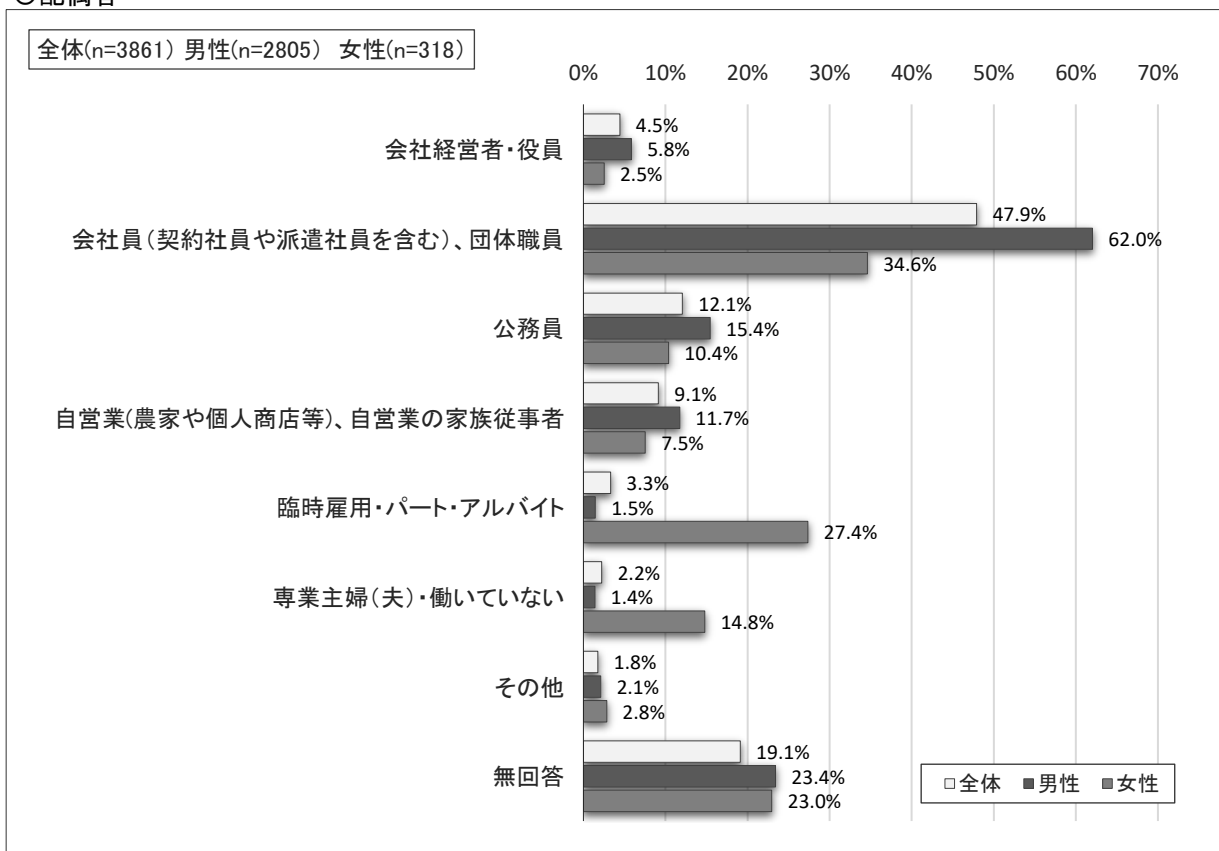
有効回答者の小学校5年生保護者は父親9.1%、母親90.1%、祖父母やおじ・おばなど0.7%、中学校2年生保護者は父親10.2%、母親88.8%、祖父母やおじ・おばなど0.9%であった。

問6 現在の職業

○ご自身



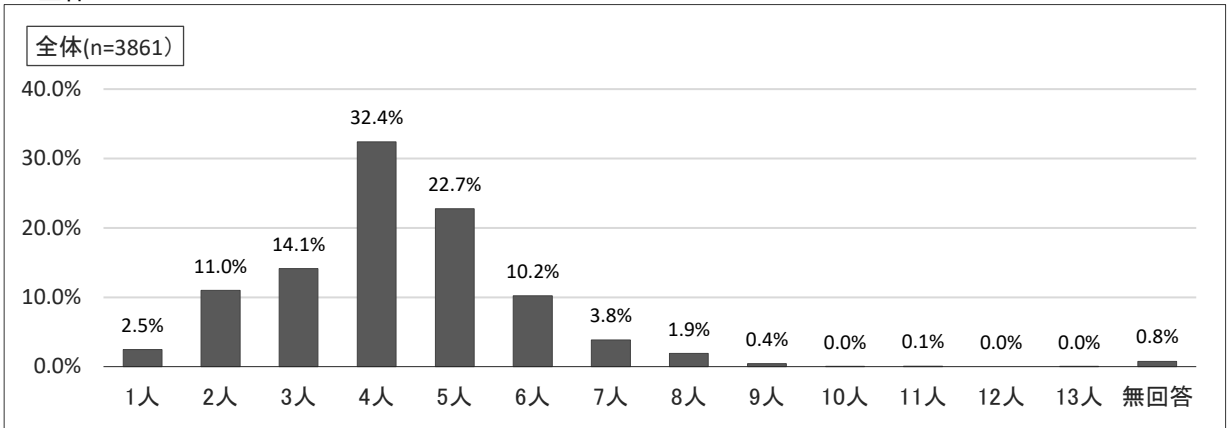
○配偶者



ご自身をうかがった回答では、主に女性が対象となっている。会社員や公務員など常勤の仕事を持っている女性が51.9%、臨時雇用・パート・アルバイトが34.7%、そして専業主婦(夫)・働いていないが11.5%であった。配偶者をうかがった回答では、主に男性が対象となっている。会社員や公務員など常勤の仕事を持っている男性が94.9%、臨時雇用・パート・アルバイトが1.5%、そして専業主婦(夫)・働いていないが1.4%であった。以上から、女性の保護者では臨時雇用や専業主婦の割合が男性よりも多くなっている。

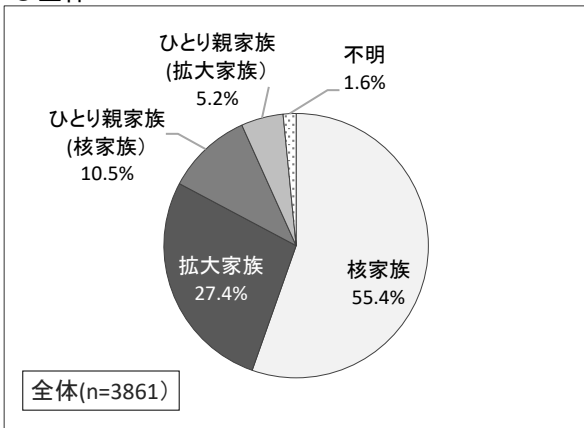
問7 生計をともにしている家族の人数

○全体

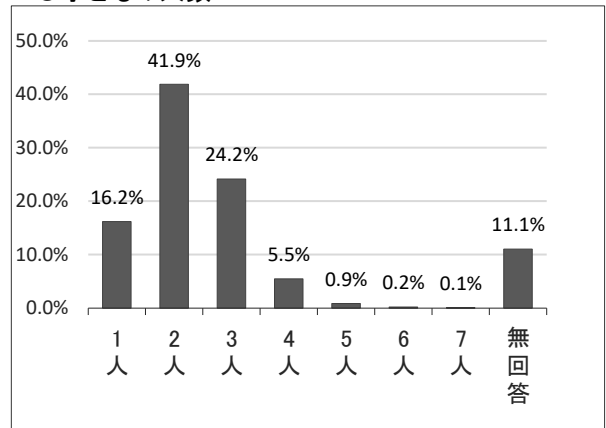


問8 家族形態

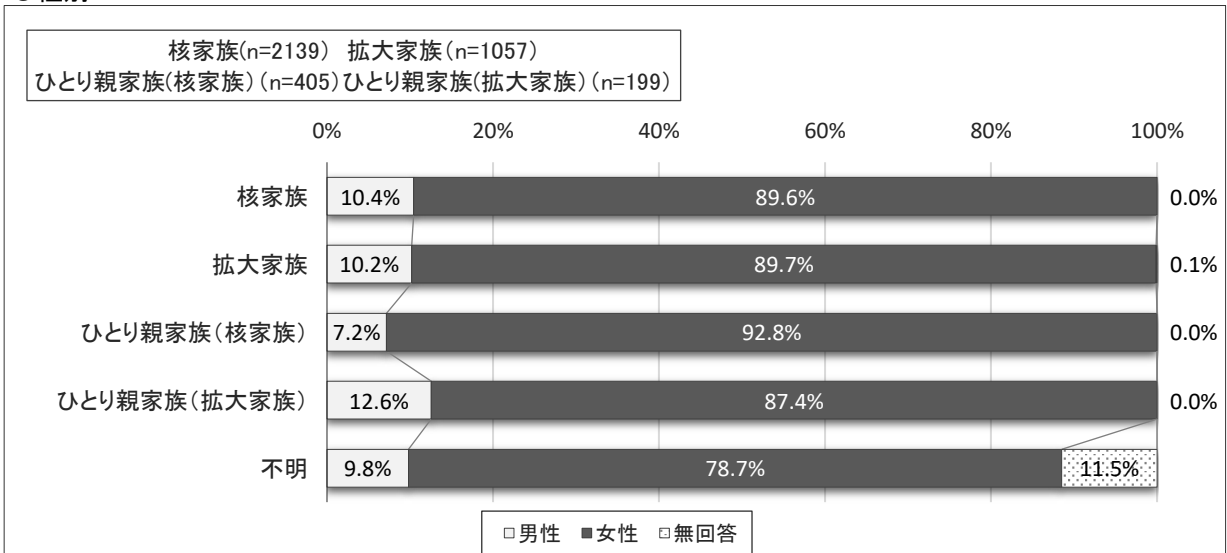
○全体



○子どもの人数



○性別



- ①核家族:配偶者あり、子ども以外の家族なしと回答
- ②拡大家族:配偶者あり、子ども以外の家族ありと回答
- ③ひとり親家族(核家族):配偶者なし、子ども以外の家族なしと回答
- ④ひとり親家族(拡大家族):配偶者なし、子ども以外の家族ありと回答

家族形態は、「核家族」が55.4%、「拡大家族(祖父母等との同居家族)」が27.4%、「ひとり親家族(核家族)」が10.5%、「ひとり親家族(拡大家族)」が5.2%であった。

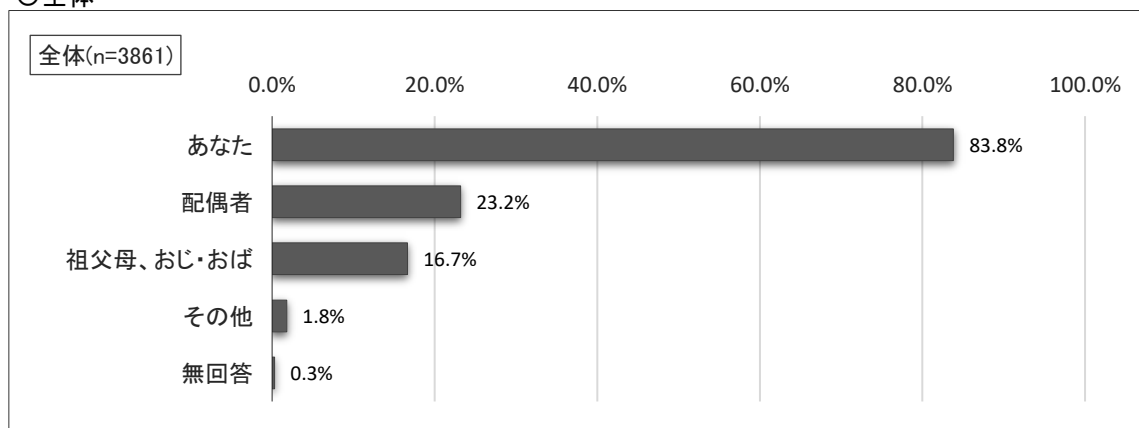
「ひとり親家族(核家族)」のうち、父子家庭は7.2%、母子家庭は92.8%、「ひとり親家族(拡大家族)」のうち、父子家庭は12.6%、母子家庭は87.4%であった。

3 親子のふれあいについて

問9 平日や休日に主に子育てにかかわる人はだれか(複数回答あり)

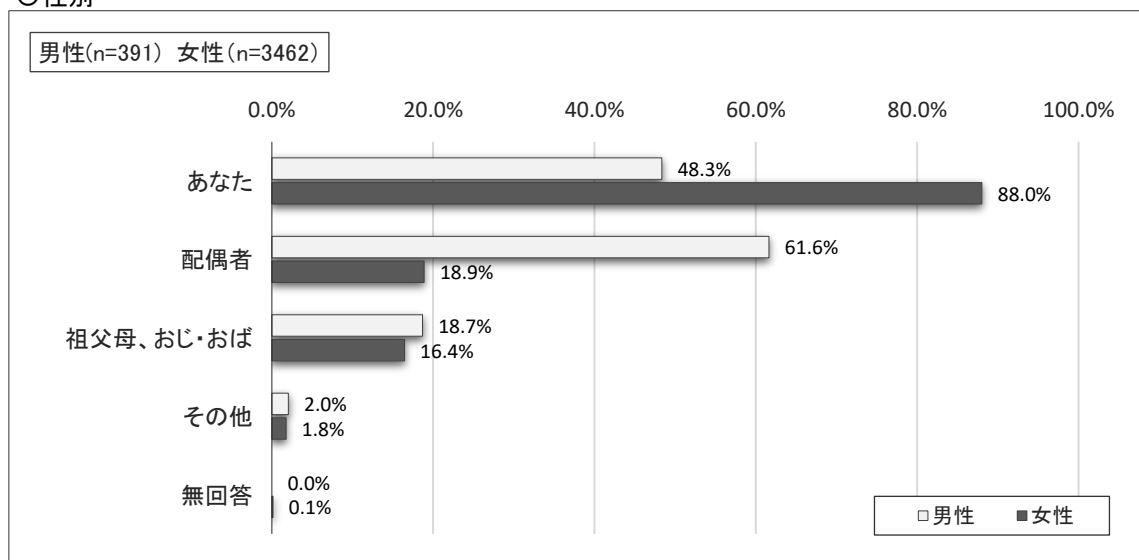
【平日】

○全体

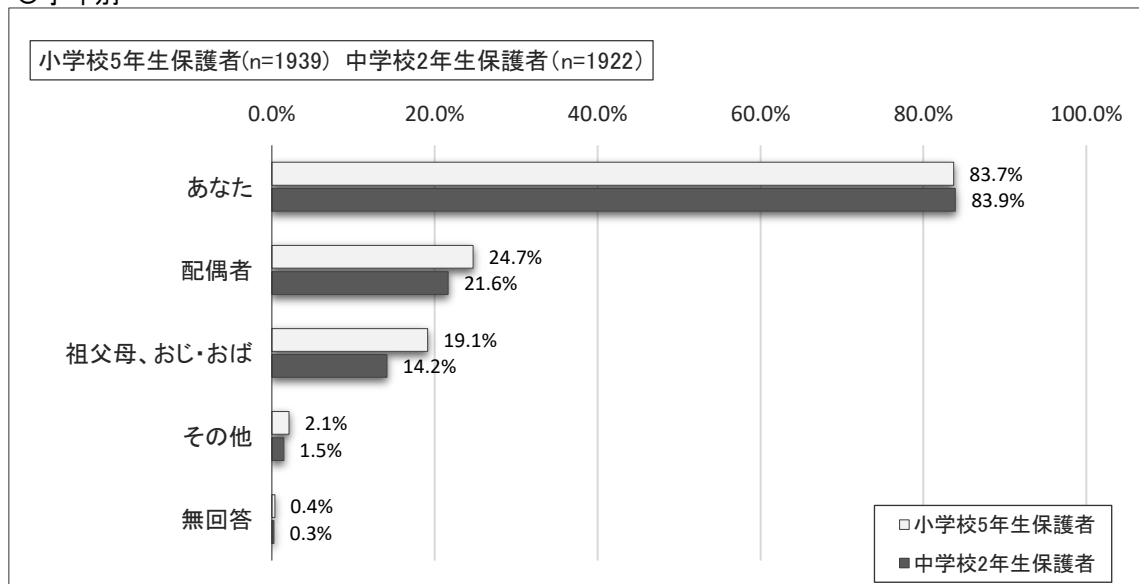


平日では、「あなた(ご自身、主に女性)」が83.8%と最も多い。性別、学年別による違いは見られなかったが、家族形態別の「ひとり親家族(拡大家族)」では、「祖父母やおじ・おば」の答えが51.3%であった。

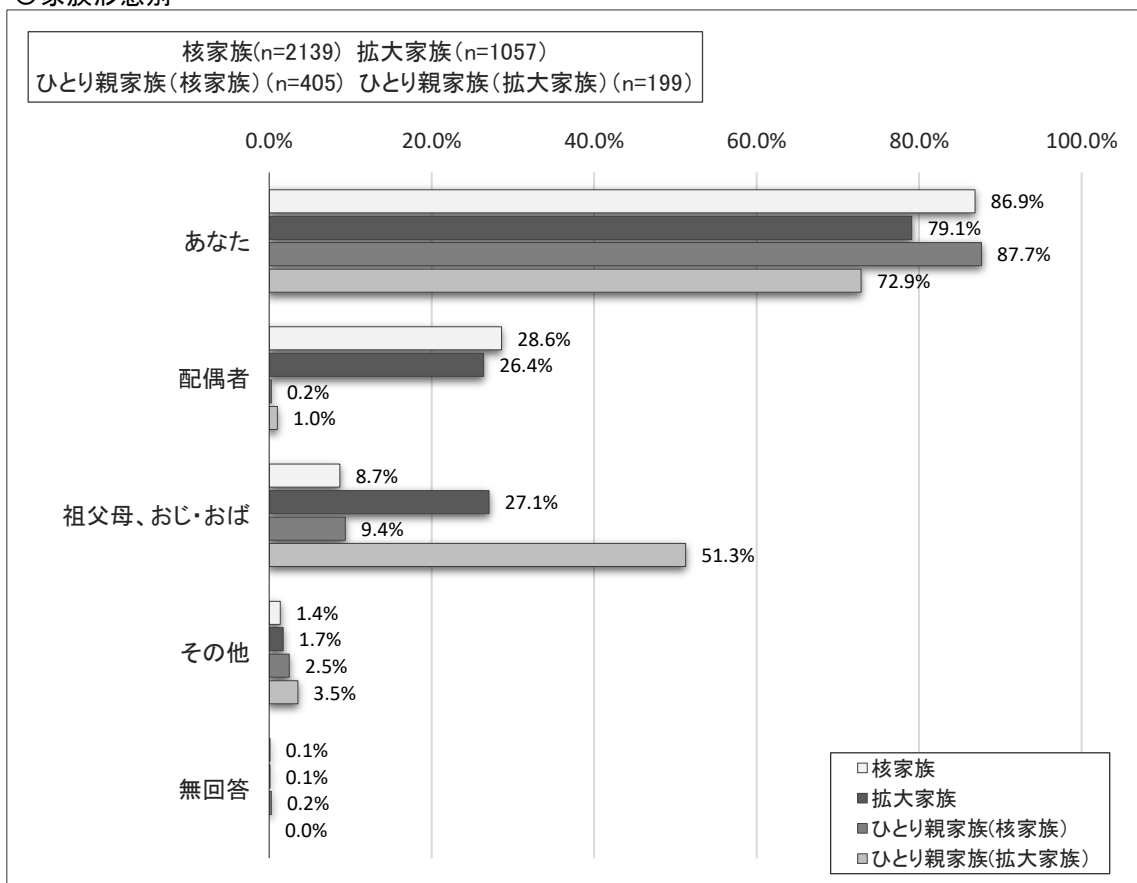
○性別



○学年別

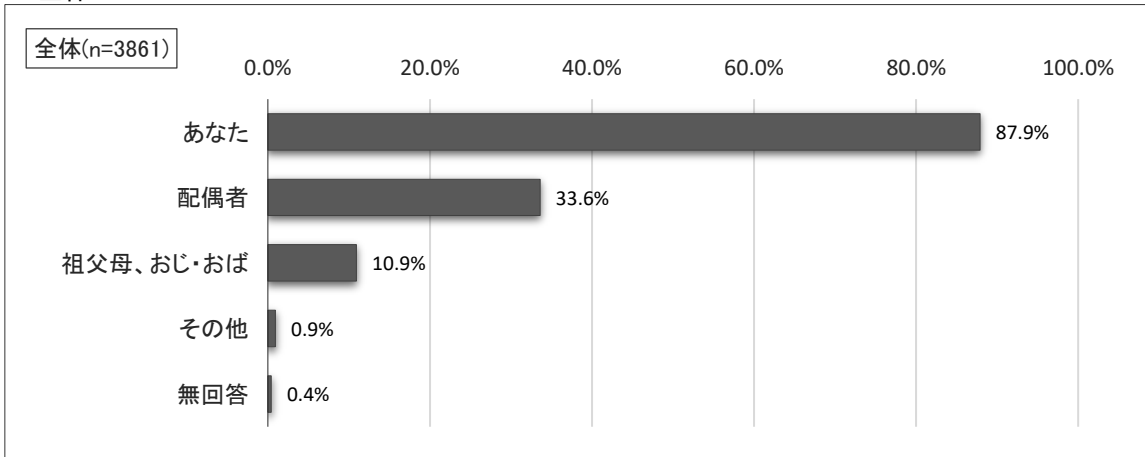


○家族形態別



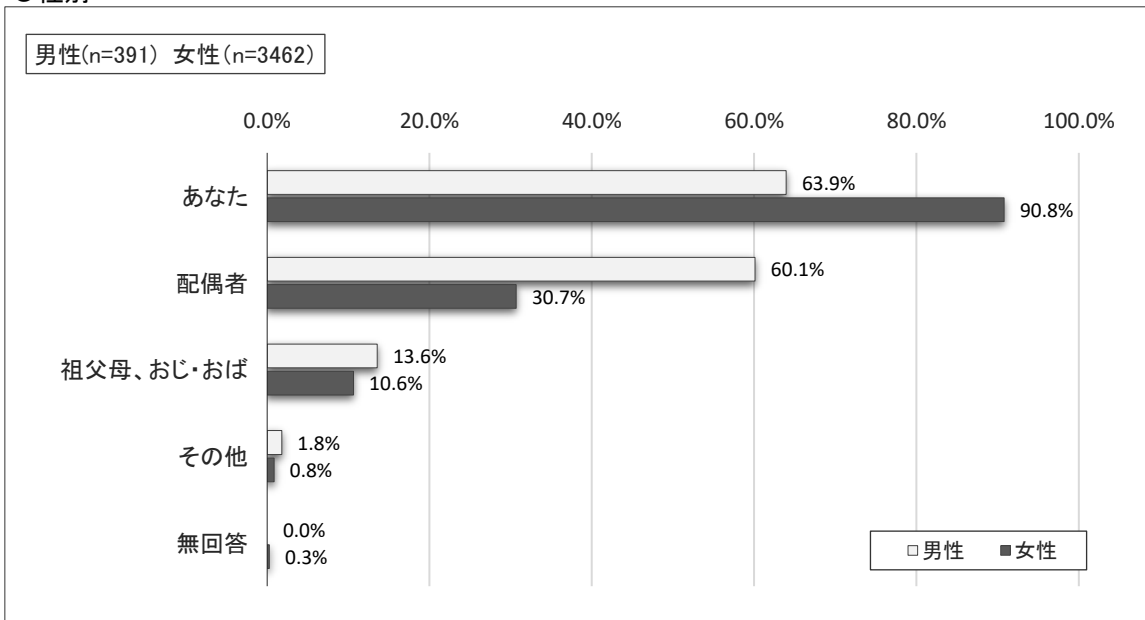
【休日】

○全体

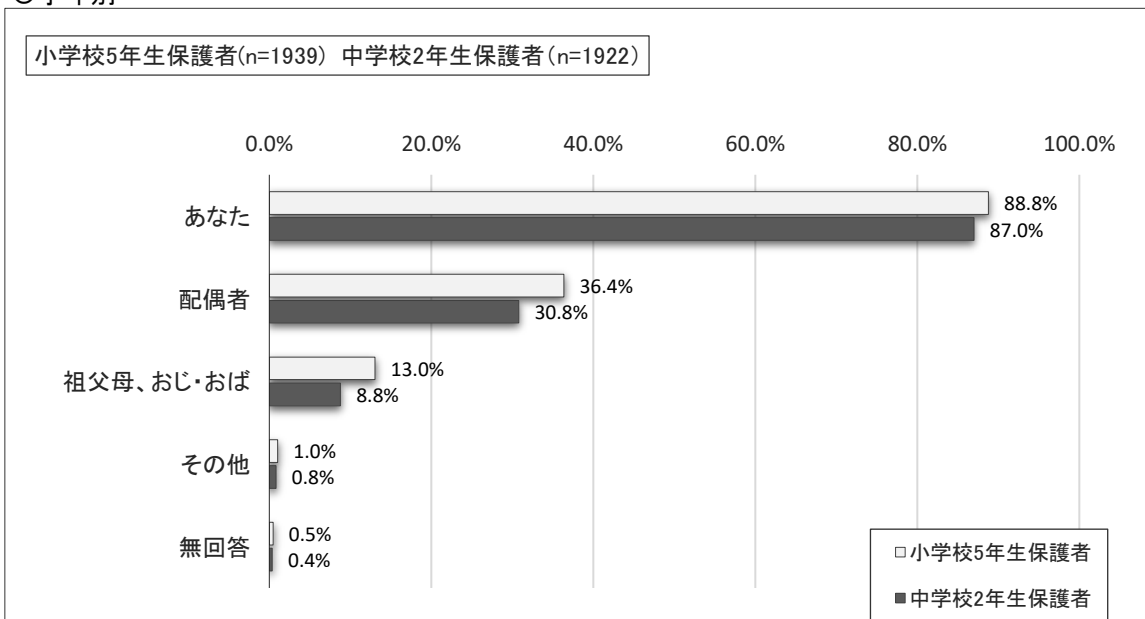


休日では、「あなた(ご自身、主に女性)」が87.9%と最も多く、平日との大きな違いは見られないが、「配偶者(主に男性)」が33.6%と増加し、「祖父母やおじ・おば」が10.9%に減少した。

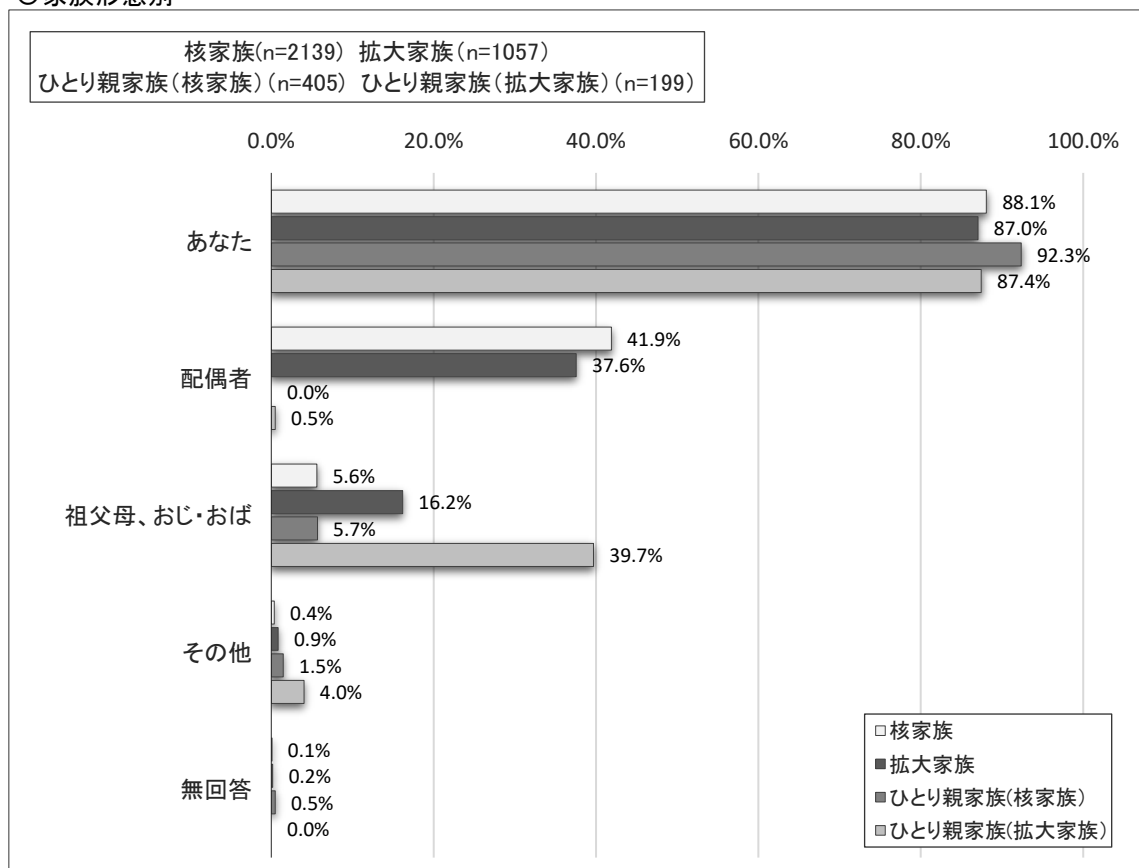
○性別



○学年別



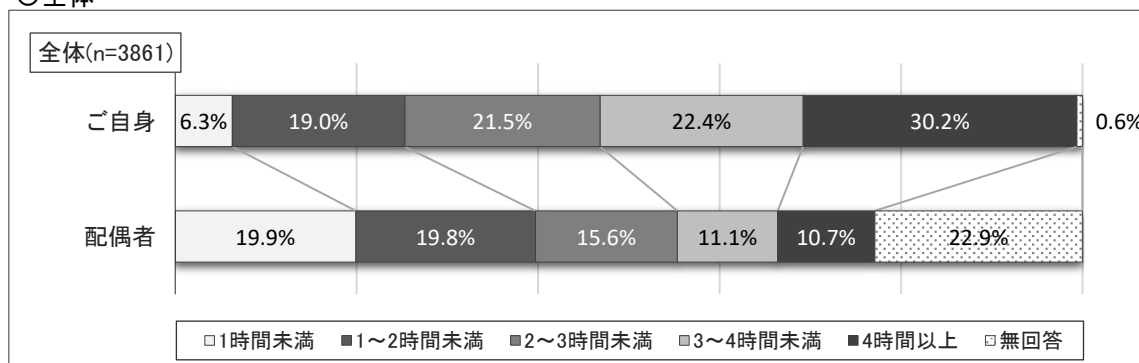
○家族形態別



問10 平日や休日に子どもとふれあう時間はどれくらいか

【平日】

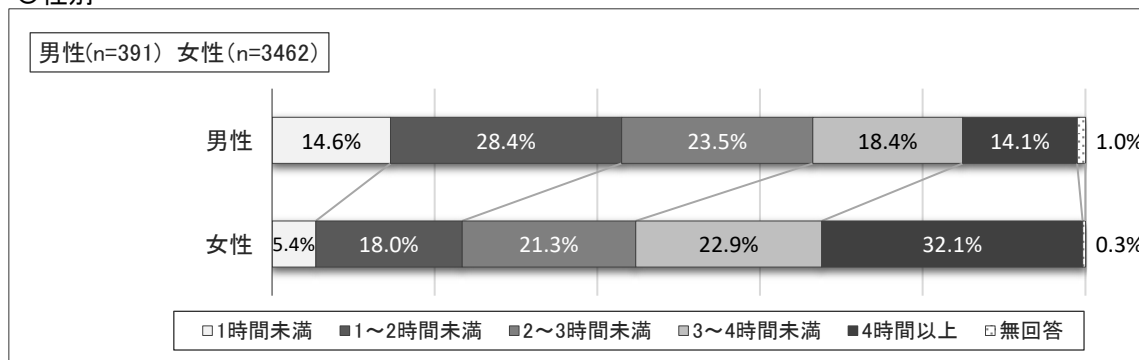
○全体



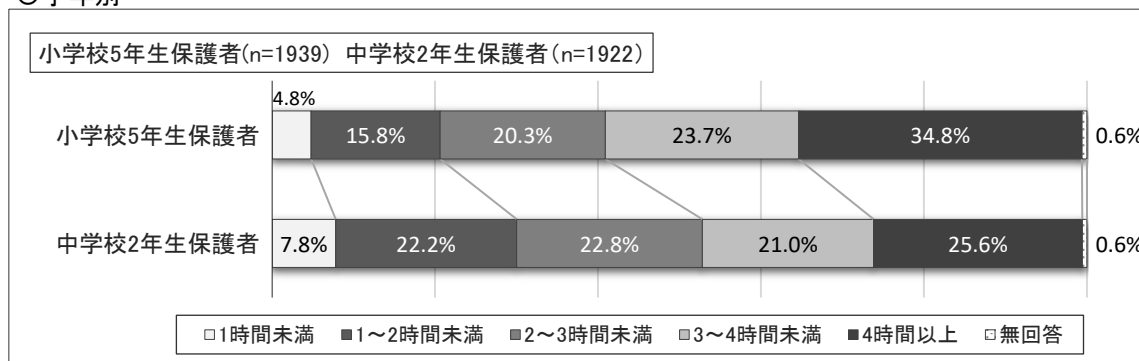
平日に子どもとふれあう時間は、「ご自身(主に女性)」では、「4時間以上」が30.2%と最も多く、次いで「3～4時間未満」が22.4%であった。「配偶者(主に男性)」では、「1時間未満」が19.9%、「1～2時間未満」が19.8%とほぼ同じ値で、次いで「2～3時間未満」が15.6%であった。

家族形態別の「ひとり親家族(拡大家族)」では、「2～3時間未満」が25.1%で最も多く、「ご自身」が子どもとふれあう時間が少なくなり、「祖父母やおじ・おば」が代わりを担っていると思われる。

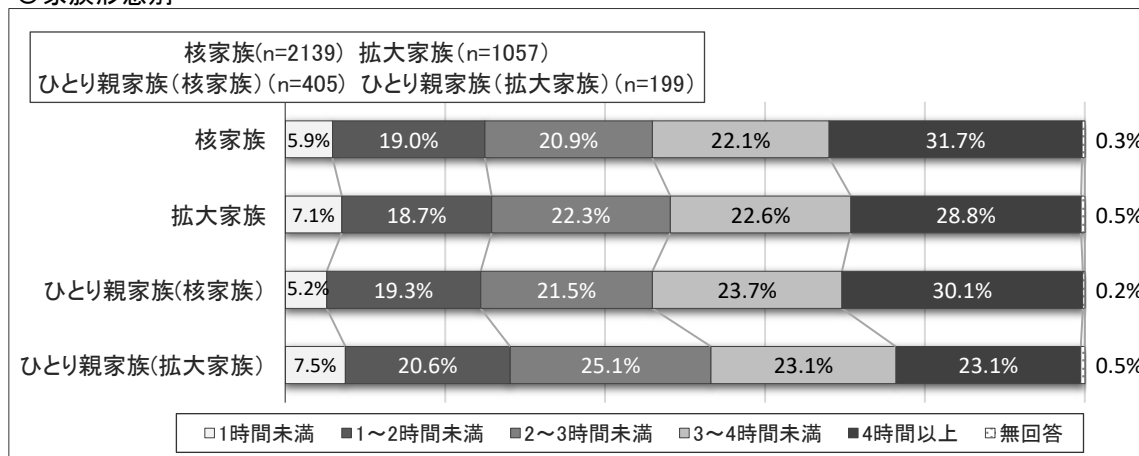
○性別



○学年別

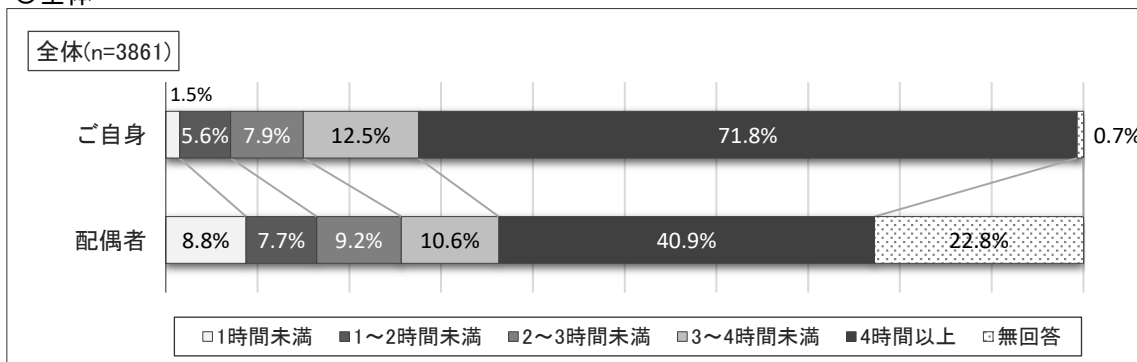


○家族形態別



【休日】

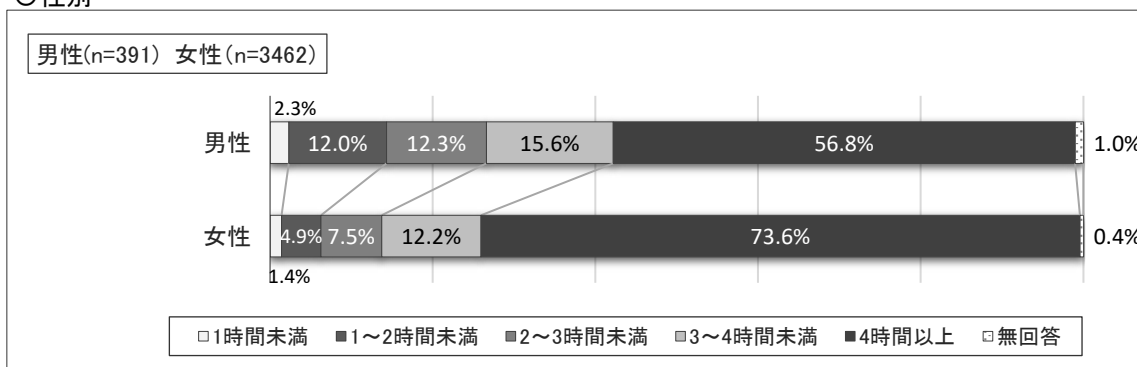
○全体



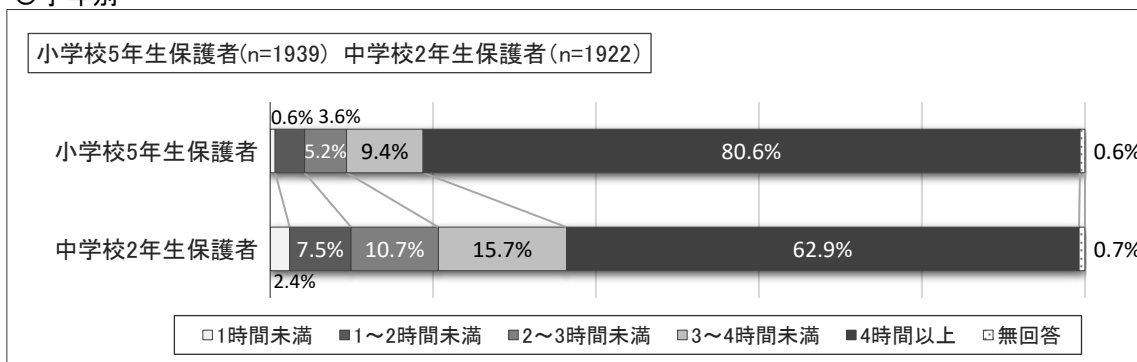
休日に子どもとふれあう時間は、「ご自身(主に女性)」では、「4時間以上」が71.8%となり、平日の30.2%と比べ、2.4倍となっている。「配偶者(主に男性)」では、「3~4時間未満」が40.9%と最も多くなり、平日の10.7%と比べ、3.8倍となっている。

家族形態別による違いは見られず、「4時間以上」という答えが、いずれにおいても7割以上であった。

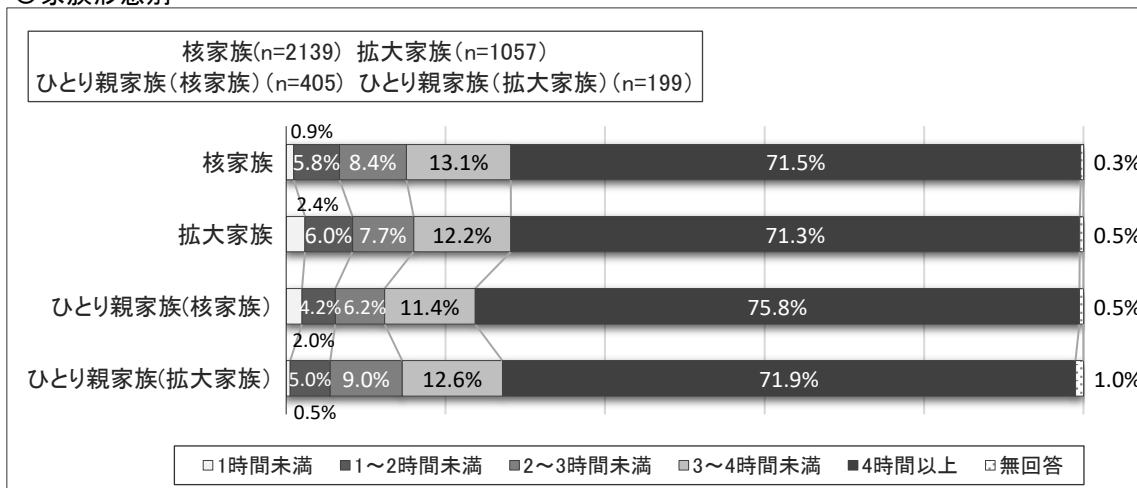
○性別



○学年別



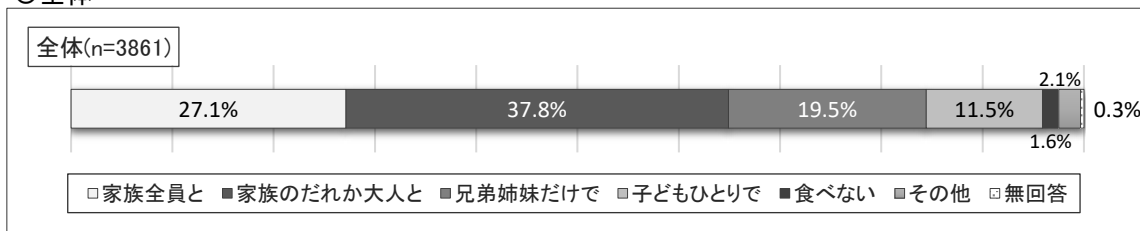
○家族形態別



問11 子どもは朝食や夕食を誰と一緒に食べるか

【朝食】

○全体

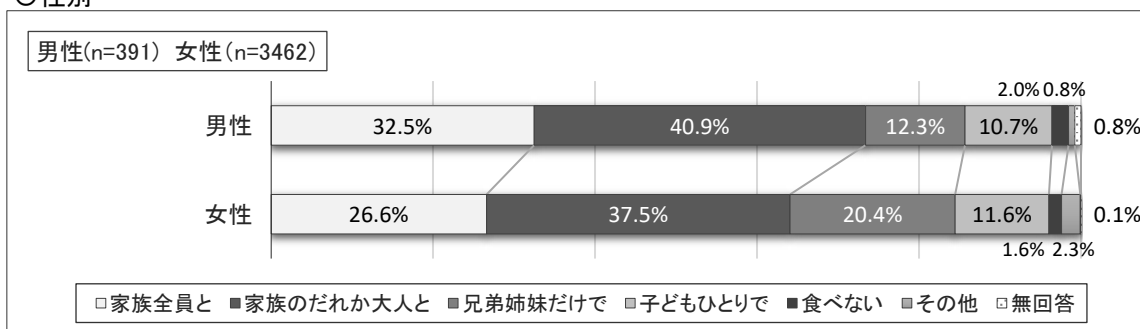


その他

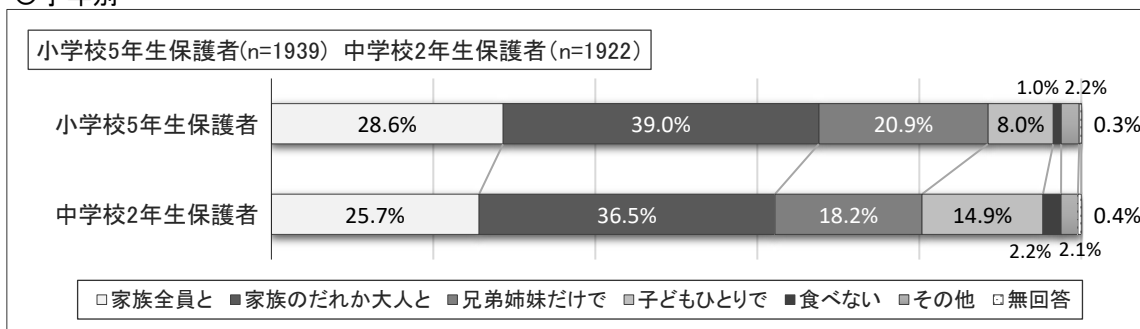
- 母と兄弟(27件) ●父以外の家族で(12件) ●家族のだれかと、全員ではない(7件)
- ひとりだが、母がそばにいる(7件) ●母(6件) ●平日、休日で異なる(4件) ●母以外の家族で(3件)
- 祖父母(3件) ●職場、施設内で(3件) ●父母と兄弟で(2件) ●個別に(2件)
- 兄弟姉妹だけか仕事によって一緒に食べる。 ●その日によりそれぞれ時間がずれるので2人の時もある。
- 一緒に食べたり、一緒に食べられなかったり。
- 基本的に兄弟姉妹だけで家族が家事をしながら見守ったり一緒に食べたり。
- 私の仕事のシフトでひとりの時もある。
- 主人は早くに食べる、子ども2人は一緒に。私は登校してから食べる。

朝食を誰と食べるかという問いには、「家族のだれか大人と」が37.8%と最も多く、次いで、「家族全員と」が27.1%であった。性別、学年別による違いは見られなかったが、家族形態別の「ひとり親家族(核家族)」では、「家族全員と」が45.7%と最も多い回答であった。

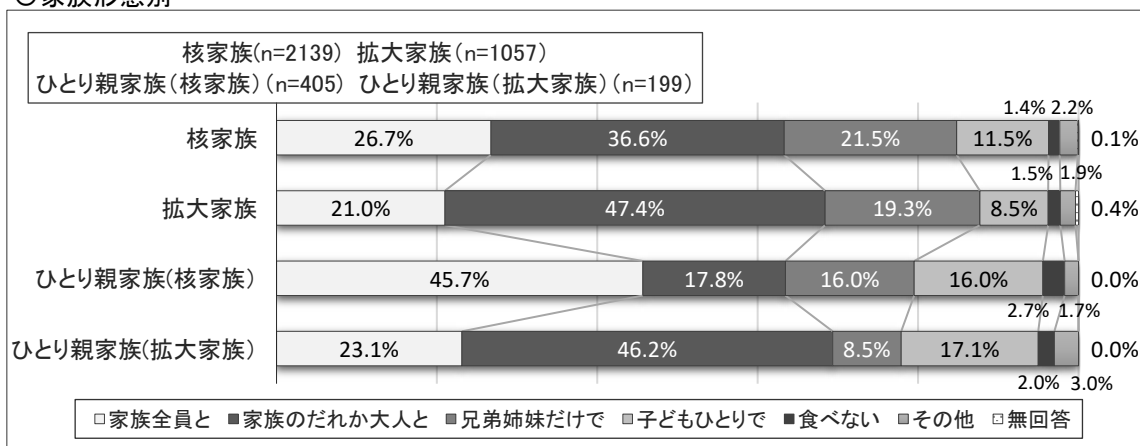
○性別



○学年別

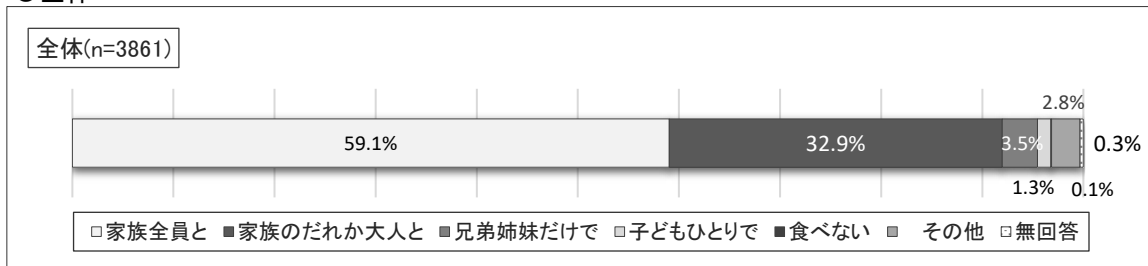


○家族形態別



【夕食】

○全体

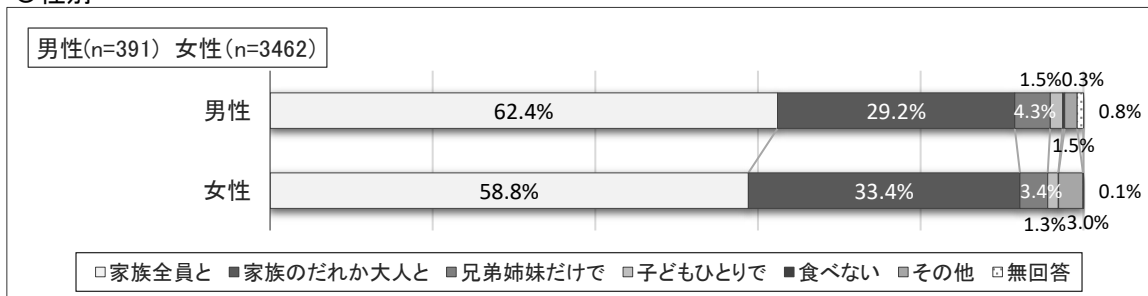


その他

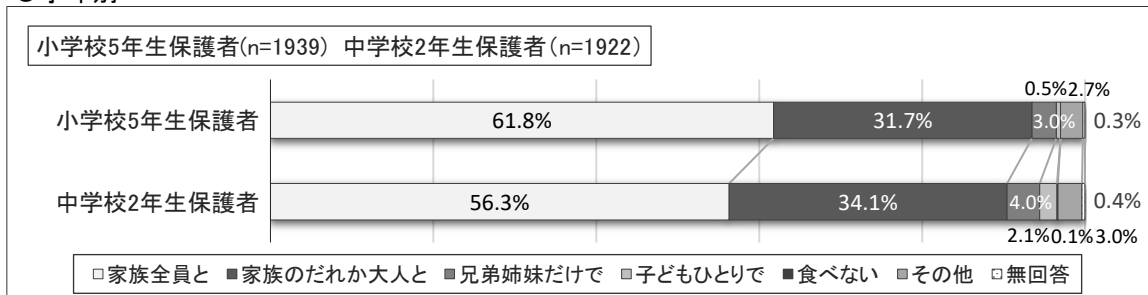
- 母と兄弟(27件) ●父以外の家族で(19件) ●家族の誰かと、全員ではない(13件)
- 部活、習い事等で異なる(8件) ●家族全員で(5件) ●父母と兄弟で(4件)
- その日にいる家族全員で(4件) ●平日は父以外の家族、休日は全員(4件) ●母(3件)
- 祖父母(3件) ●ひとりだが、母がそばにいる(3件) ●職場、施設内で(3件)
- 家族全員や家族のだれか大人との時もあれば、兄弟姉妹だけ、子どもひとりの時もある。
- その日によって家族全員や兄弟姉妹だけや子どもひとりで ●帰宅時間による。
- 仕事が終わる時間による。週3は一緒に食べられるようにしている。 ●私の仕事のシフトでひとりのときもある。
- 私、妹は必ずいるが私が座っている割合は半々。父親もいる時もある。
- 私の仕事が夜勤で家にいることが少ないため、家族みんなが難しい。 ●週2~3回ひとりで食べている。
- 週4日家族全員、週3日家族のだれか大人と ●大人が家事をしている場で兄弟姉妹で食べている。
- 同じ空間にはいるが、テーブルは別々。 ●母以外、全員(母は仕事のため)。 ●曜日によってまちまち。

夕食を誰と食べるかという問いには、「家族全員と」が59.1%と最も多く、次いで、「家族のだれか大人と」が32.9%で、朝食と比べ、「兄弟姉妹だけで」「子どもひとりで」という回答は少なかった。性別、学年別による違いは見られなかったが、家族形態別の「ひとり親家族(核家族)」では、「家族全員と」が73.6%と割合が高くなっている。

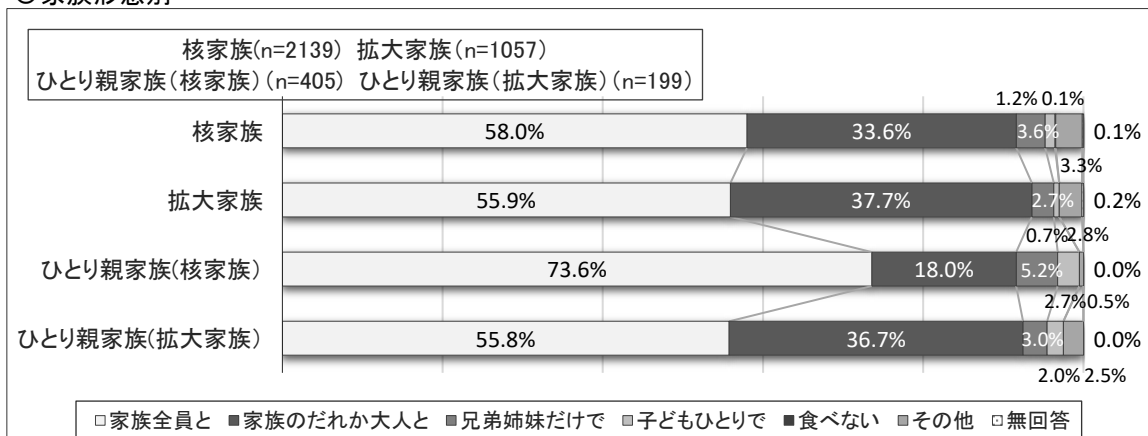
○性別



○学年別



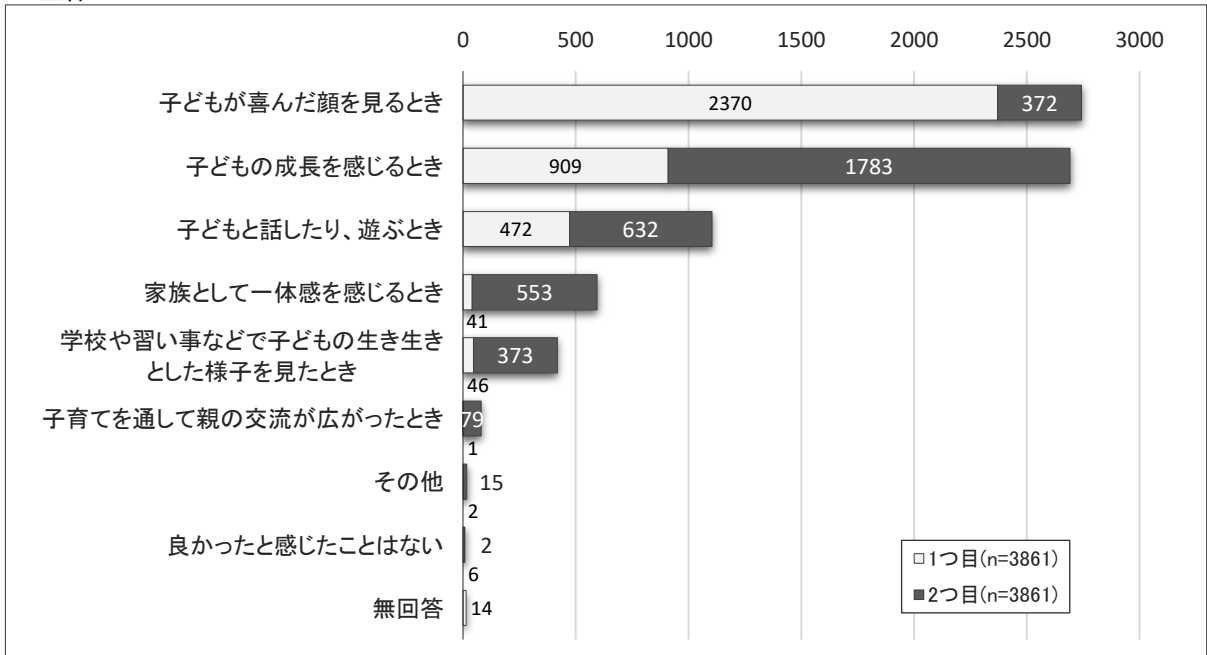
○家族形態別



4 子育ての状況について

問12 子育てをしていて、どのようなときに良かったと感じるか

○全体

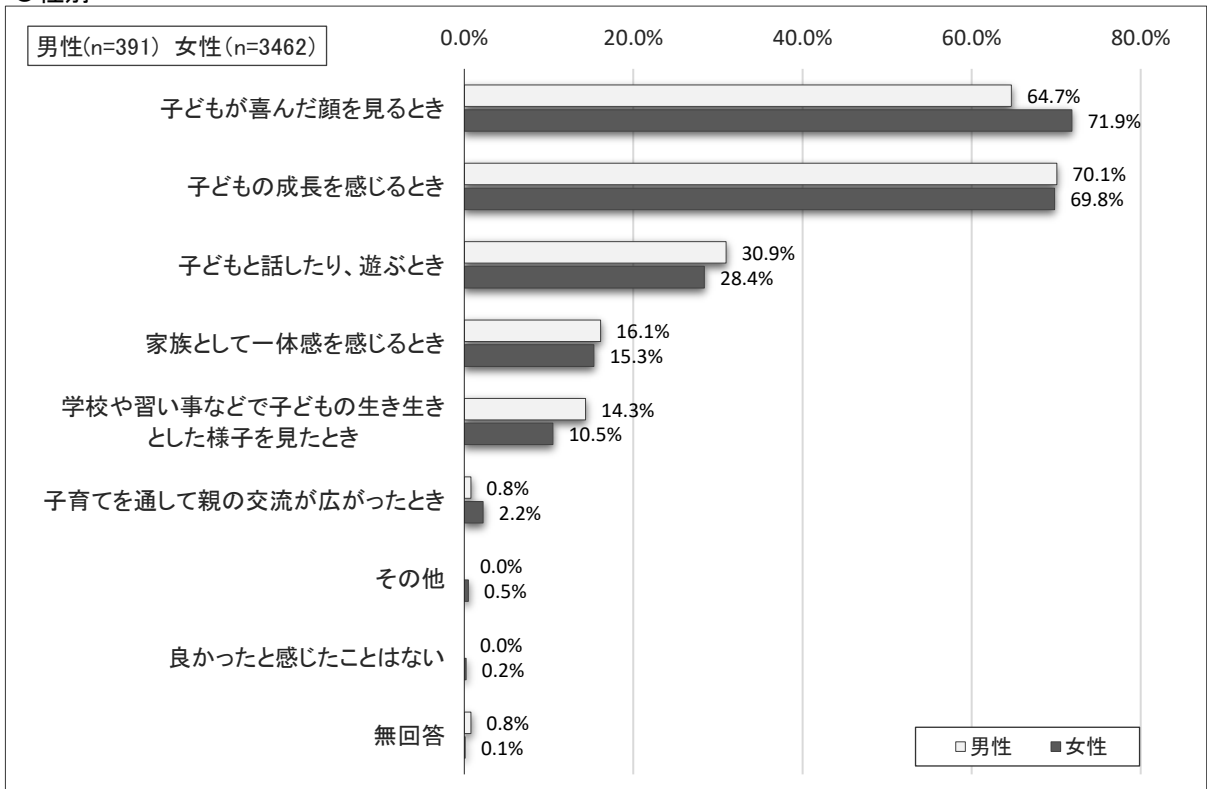


その他

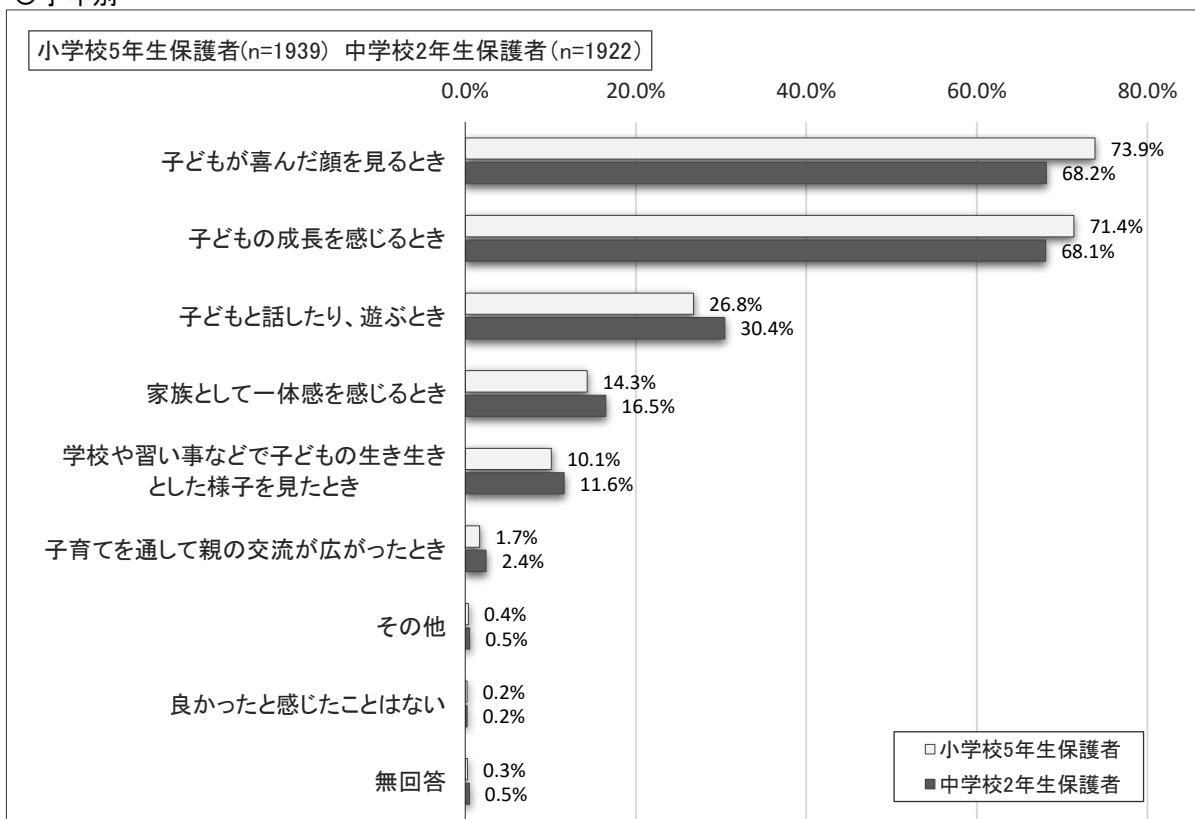
- 子どもを通して精神的に自分自身が成長できていること(4件) ●寝顔を見ている時(3件)
- ありがとう、おつかれさまと声をかけてくれる時。 ●いやだと思ったことは、ほぼない。
- 学校の行事が中止になった時。 ●学校の担任の先生からほめられた時。
- 子どもが周りの方にほめられたりした時。 ●好きなことで話をして、同感しながら内容を聞いている時。
- 体調が悪い時に気遣ってもらった時。 ●命があること、今ここにいてくれること。

子育てをしていて良かったと感じるときを聞いたところ、1つ目は「子どもが喜んだ顔を見るとき」が2,370人(61.4%)と最も多く、次いで、「子どもの成長を感じる時」が909人(23.5%)であった。2つ目の回答では、「成長を感じる時」が1,783人(46.2%)で最も多く、次いで、「子どもと話したり、遊ぶとき」が632人(16.4%)であった。

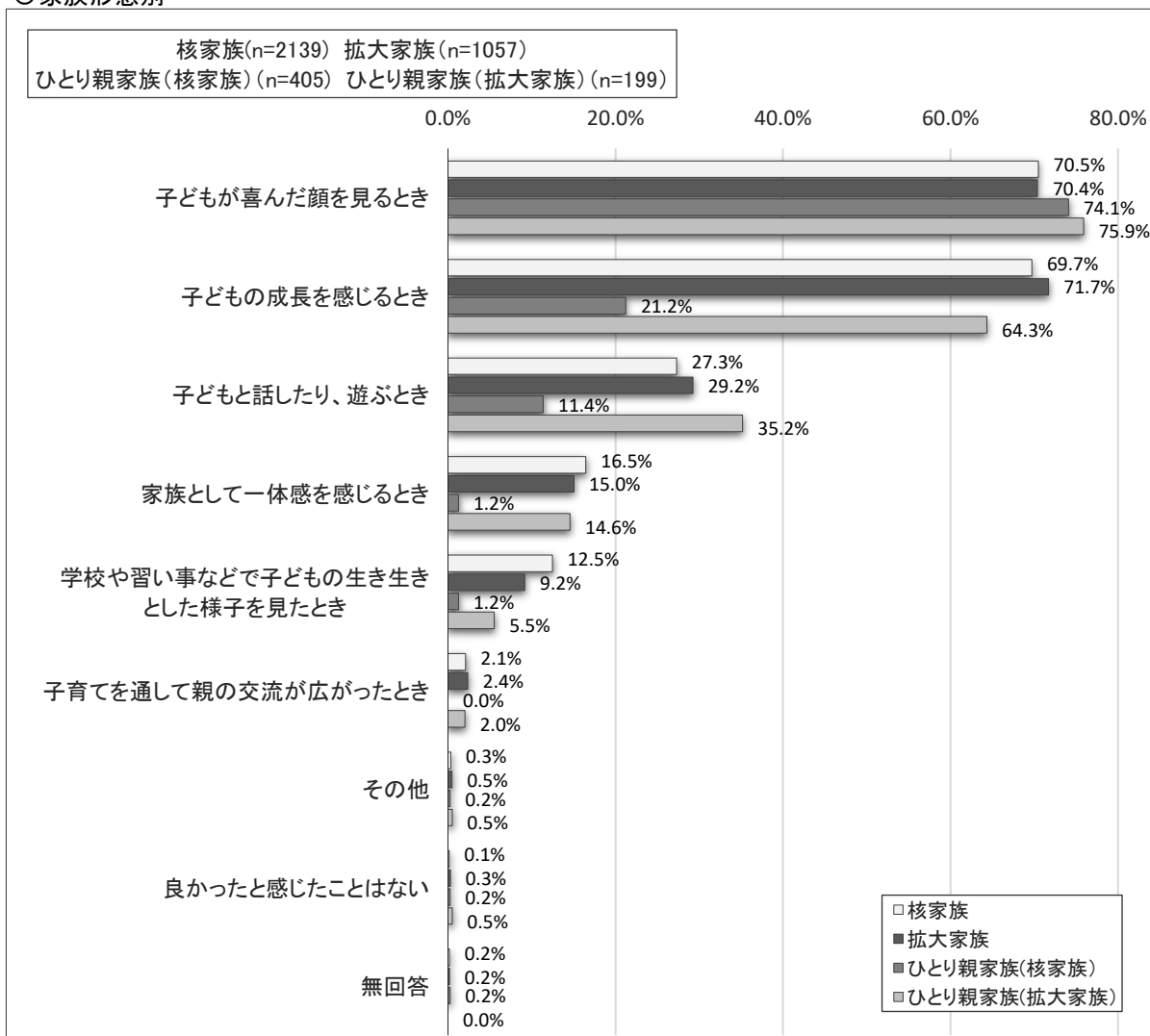
○性別



○学年別



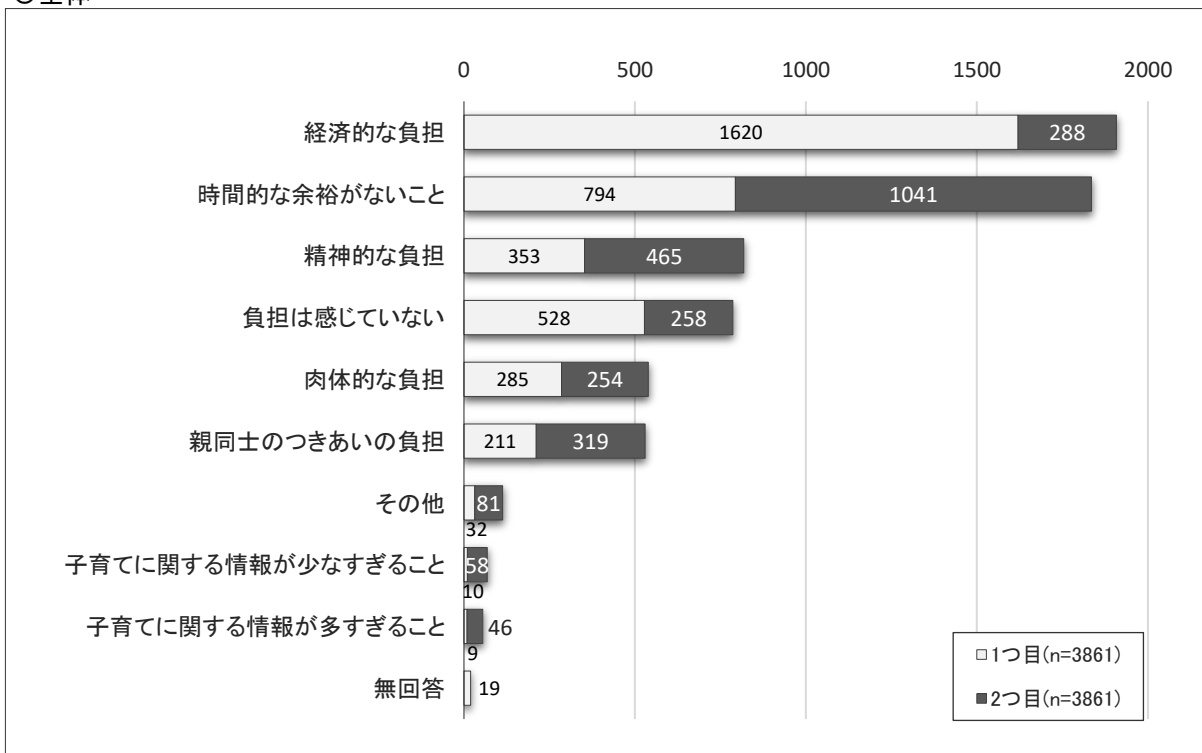
○家族形態別



性別、学年別、家族形態別の回答者数は、「1つ目」と「2つ目」を合わせたものである。

問13 子育てをしていて、どのようなことに負担を感じるか

○全体

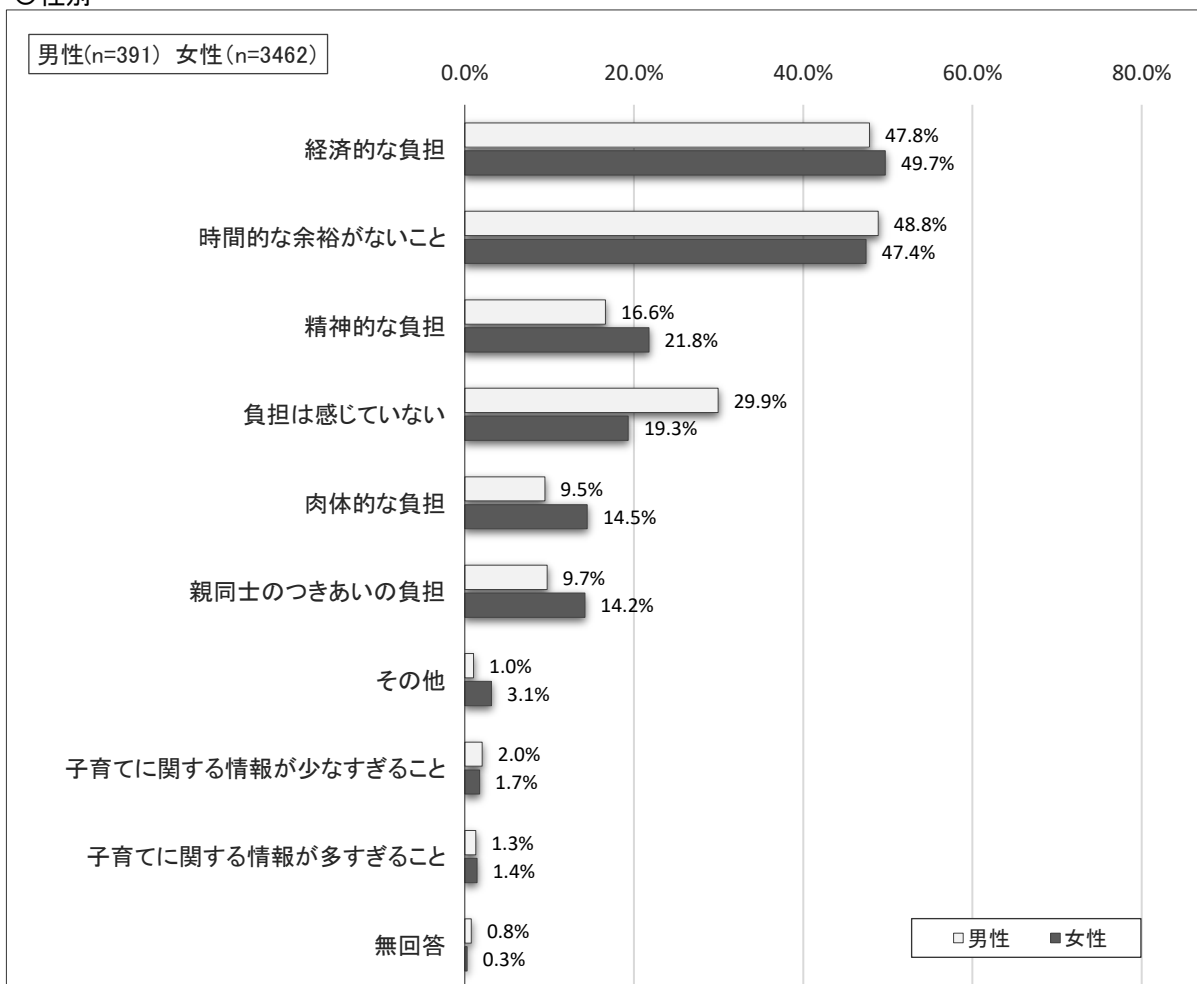


その他

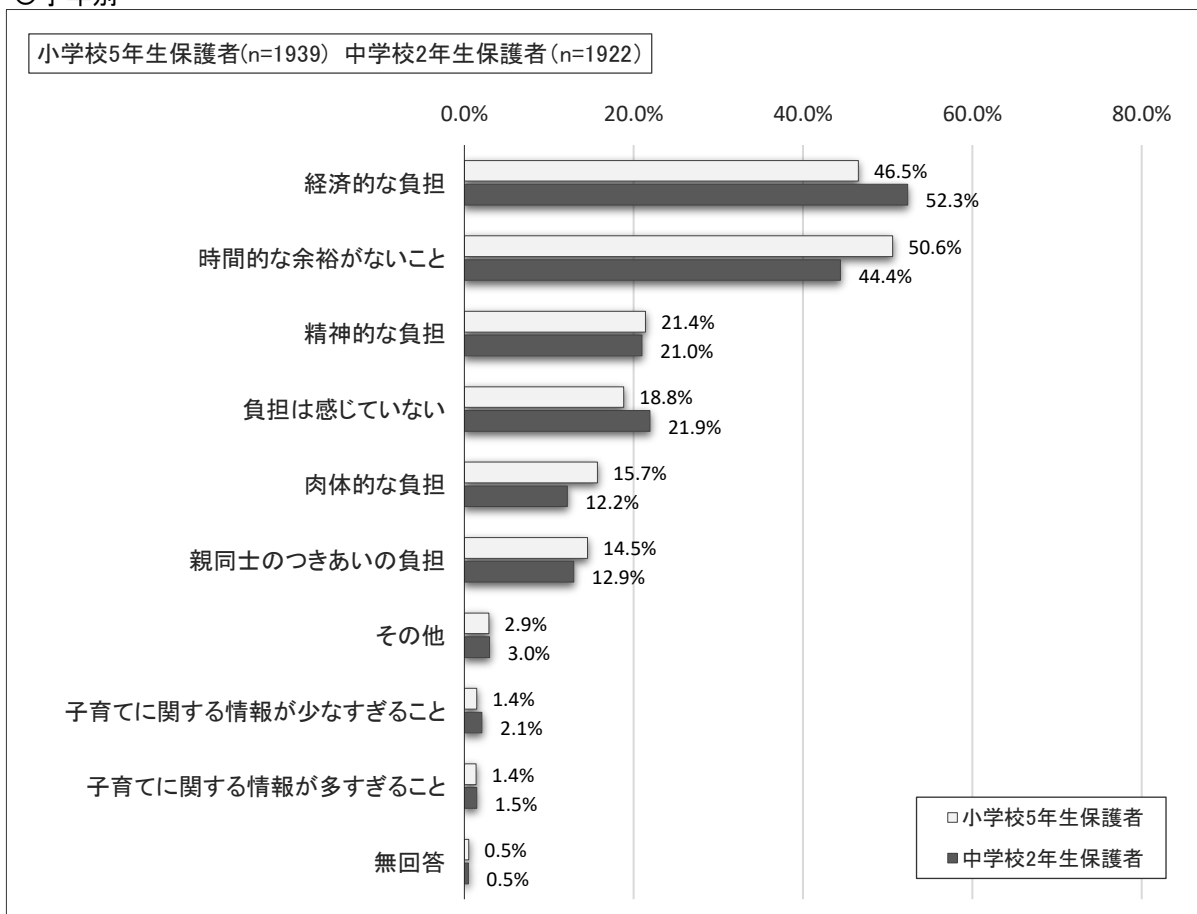
- PTA活動(10件) ●部活動、クラブ活動の送迎(10件) ●子育てと仕事の両立(7件)
- 子どもへの接し方について(5件) ●夫の協力がなく(4件) ●祖父母の干渉(4件)
- 学校に関すること(5件) ●反抗期や思春期について(3件)
- 子育てに対する考えの違いが頻発すること(2件) ●将来への不安(2件) ●周囲との協調性(2件)
- 夫の単身赴任による負担増(2件) ●ひとり親だと子どもに我慢させてしまっていることもあったと感じた時。
- PTA等、親が参加する行事、宿題等。昔は宿題は子どもがやるものだったが、親の負担が多すぎる。
- いじめの問題(学校での)。
- いじめやセクハラの情報を学校で教育していないこと。
- インターネットやゲームとのかわり。
- 家族の協力が得られず、ひとりで子どもの世話をしなければならないこと。
- 子どもの数に対して部屋が少なく、また夫の両親とも暮らしているので勝手に家を片付けられなくて、子ども部屋を作ってあげられていないこと。
- 学校(進学についての情報が限られていること)。
- 学校が子どもの問題に向き合ってくれない時 ●学校との信頼関係。
- 学校に行かない、今後を考えた時。
- 学校に行きたくないと言うこと。
- 学校の勉強だけだと不足しており、家庭での負担も大きい。
- 教育方針が違うこと。
- 兄弟喧嘩がひどいこと。
- 発達に遅れがあると感じる時(兄妹の中で)。
- 経済的余裕がなく、身体の調子が良くないこと。
- 国からの援助が少なすぎる
- 子どもを遊ばせる環境がなさすぎる。例)公園がない。あっても地域の苦情が多く使えない場所が多すぎる。
- 子どもがスマホ依存で日常生活や学業に支障をきたしているが、止めることができない。
- 子どもを優先して予定を作ること。
- 病気になった時。
- 自分が具合悪い時の子育て(メンタル面)。
- 子ども達がやるべきことをやらずして遊んでいること。ぐずった時、うるさくした時、周囲が迷惑と感じていないか気が気になる。
- 自分が体調をくずした時、子どもの面倒をみる人がいないこと。
- 身寄りが近くにいないため、いざという時預け先がないこと。
- 身の回りのことが親まかせで片付けが苦手。
- 専門医のいる病院が遠い。
- 病院がなく、教育、習い事などでも市内と格差を感じる。
- 地域の課題(子どもの学びに関する環境)を見てみないふり。子どものその時期、成長においてそれぞれ重要な時期に解決できずに過ぎてしまうことが辛い。
- 特にないですが、上が中学生、下が保育園なのでみんな生活リズムや行事等のスケジュール管理が大変。
- 配偶者と子育てに関して意見が合わない。
- 配偶者の理解が得られず自分が仕事をあきらめたり、趣味をあきらめたりしなくてはならない時。女はいつも損だと感じる。
- 部活、特に休日が無くなる時。
- 部活じゃなく愛好会になったこと。
- 部活動の父母会。
- 勉強が苦手なので教えてあげようと思ってやるけど、子どもが分からないから。
- 勉強のさせ方、部屋の片付けを自らさせる方法。
- 勉強の仕方について何度も注意していること。
- 両親の育った環境が違くと、価値観が違うので相手への説明が難しい。
- 良いこと、悪いことを教える時に子どもの納得のいく話をする。
- 老人もいるので、デイサービス等の準備や家事も一緒にやっている。それに仕事もしているのでもついで。子育てと介護が一緒なのが辛い。
- いちばん下の子でも小5なので、そんなに手がかかることがなくなってきたから?かな・・・。

子育てをしていて負担を感じていることを聞いたところ、1つ目は「経済的な負担」が1,620人(42.0%)と最も多く、次いで、「時間的な余裕がないこと」が794人(20.6%)であった。2つ目の回答では、「時間的な余裕がないこと」が1,041人(27.0%)で最も多く、次いで、「精神的な負担」が465人(12.0%)であった。

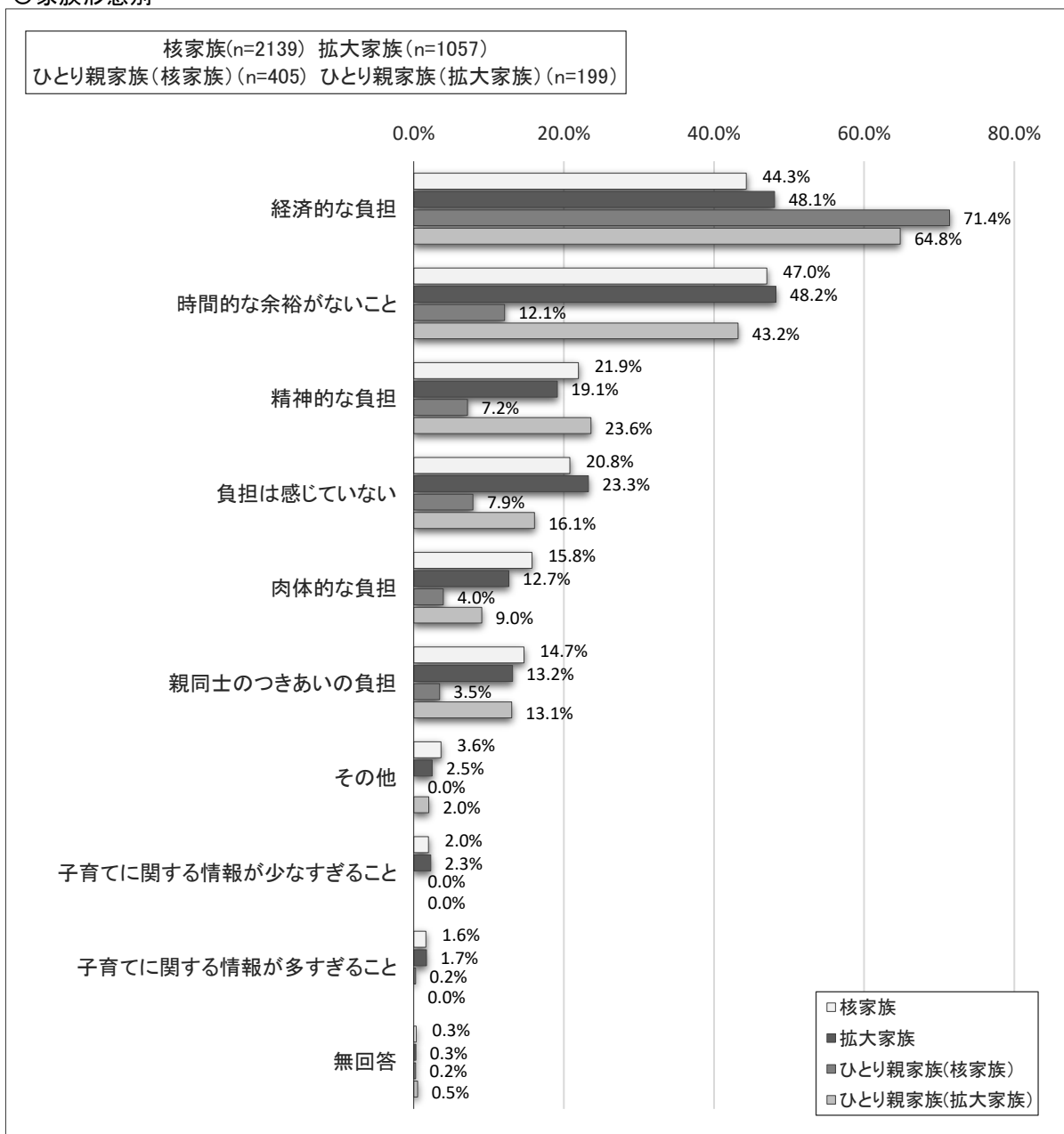
○性別



○学年別



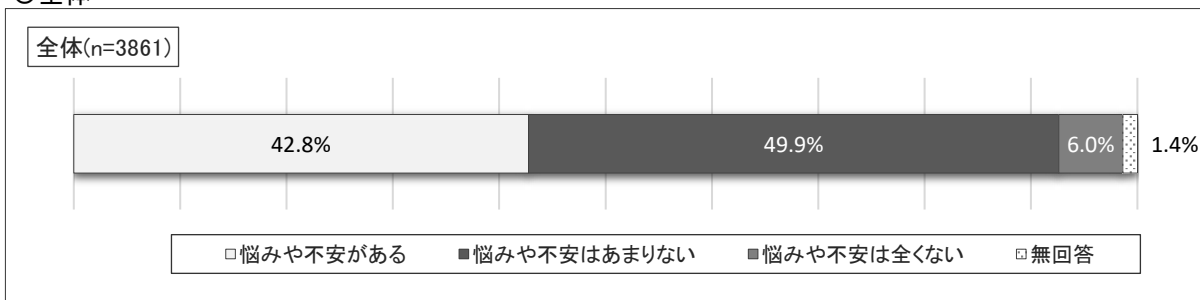
○家族形態別



性別、学年別、家族形態別の回答者数は、「1つ目」と「2つ目」を合わせたものである。

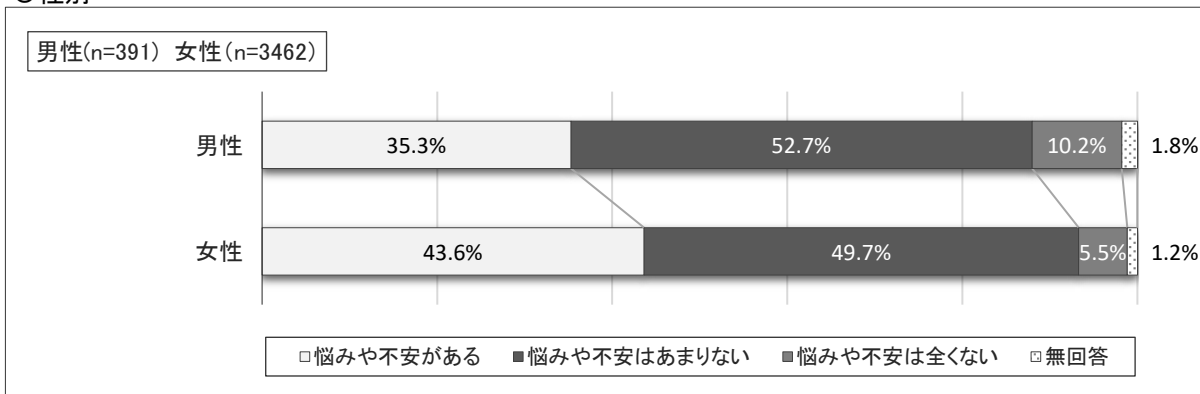
問14 子育てについて、悩みや不安があるか

○全体

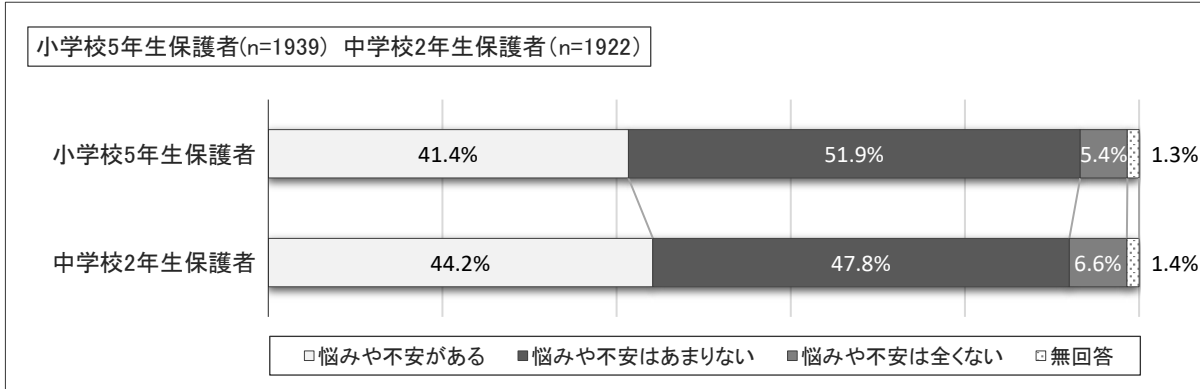


子育てについて、「悩みや不安があまりない」が49.9%、「悩みや不安がある」が42.8%と割れた。性別、学年別による違いが見られなかったが、家族形態別の「ひとり親家族(核家族)」では49.9%、「ひとり親家族(拡大家族)」では51.8%と、「悩みや不安がある」の割合が増えている。

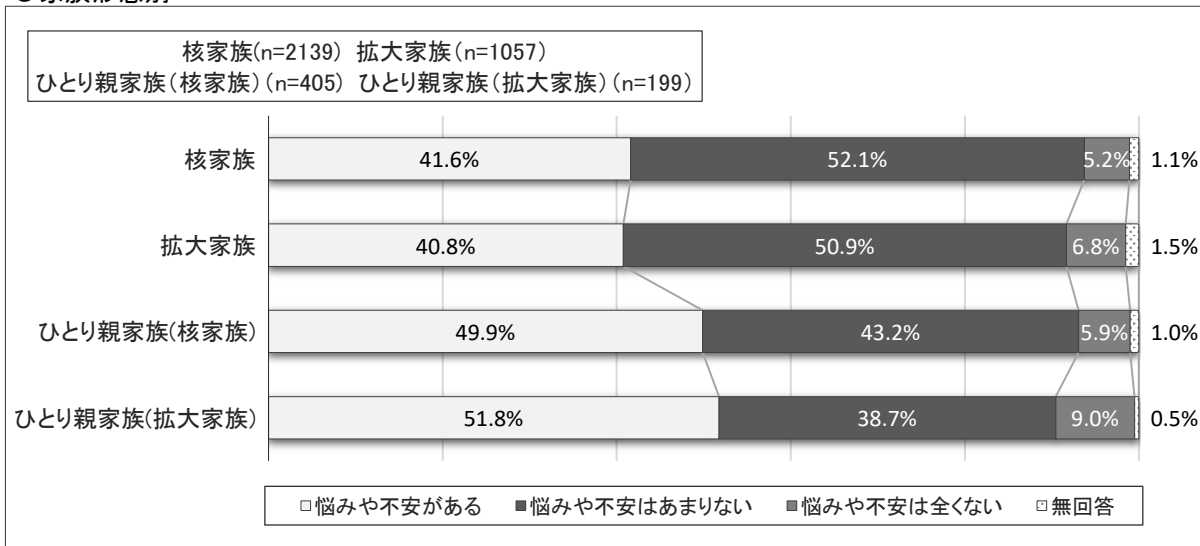
○性別



○学年別

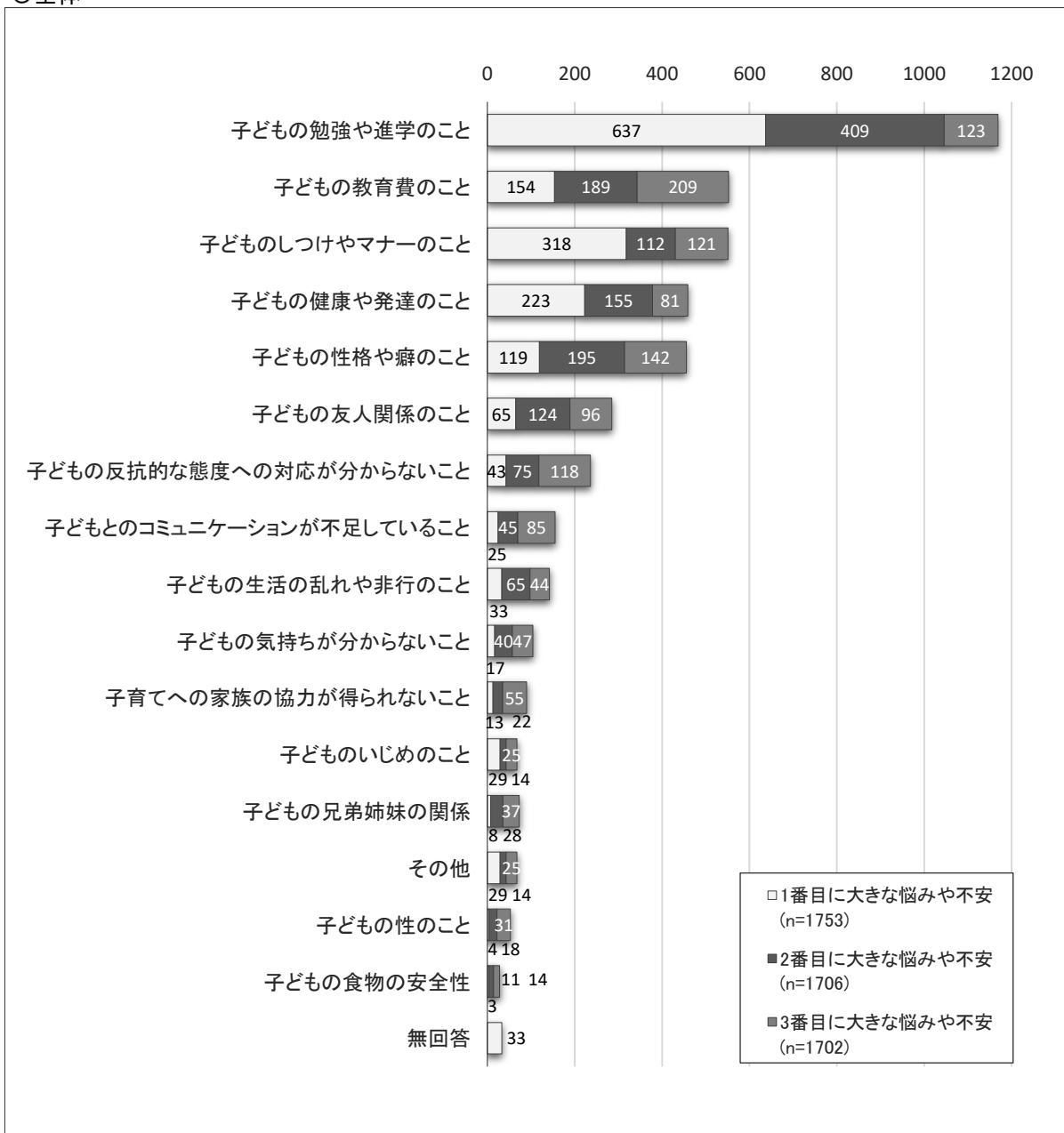


○家族形態別



問15 子育てについてどのような悩みや不安があるか

○全体



その他

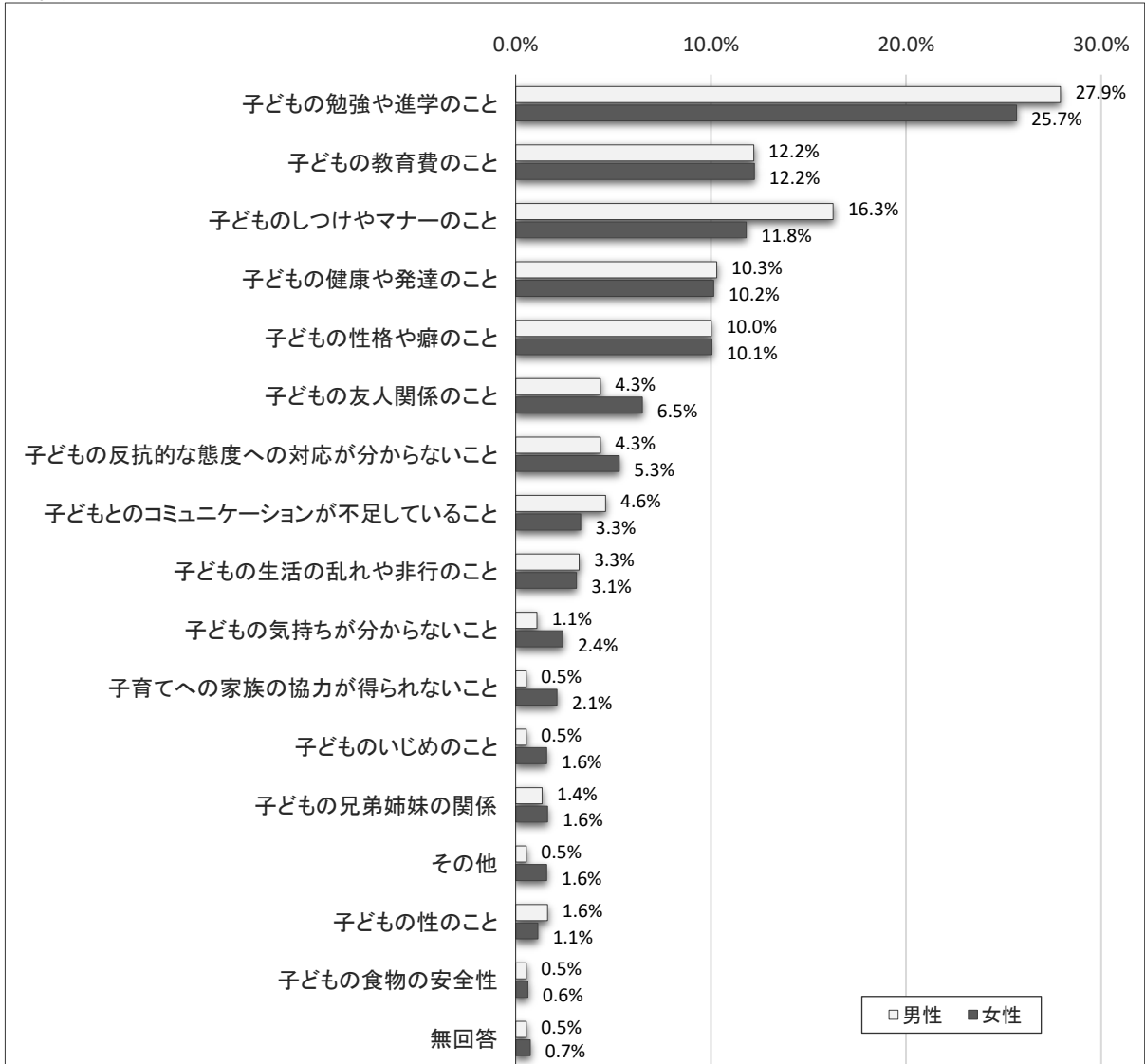
- 将来についての不安(7件) ● インターネット、ゲームとのかかわり(7件)
- 子どもの友人、部活動の親との付き合い(4件) ● コロナでいろいろ制限がかかること(2件) ● 経済的負担(3件)
- SNSとの関わり方。 ● スマホの利用について。 ● 社会人として役にたつことができるのか。
- コロナがこのまま続き、大学に行ってもリモートでの大学生活になるのか。就職先があるのか。
- 社会のこと、安全性など(コロナによる)。 ● 社会の急激な変化に親が対応しきれない。
- 家庭が健全に機能しているのか、子がどう思い、どのように成長していくのか、希望と不安が等しくある。
- 時間の余裕がなくひとりひとりと接する機会が少ない。もっとしっかりと話を聞いてあげたい。
- 自身の仕事量が多く、一緒に過ごす時間が少ないのではないかと感じる。 ● 子どもの部活動のこと。
- やりたいことがあっても、やらせてあげることがなかなかできない。 ● 進路に関すること。
- 生活環境。子どもの数に対して部屋が少なく、夫の両親は片付けしないので家の荷物がかかり多く子ども部屋を作れないこと。 ● 子どもにひとり部屋を与えられないこと(経済的な理由)。 ● 自分の体調、母子家庭のため。
- 家族のもつ教育に対する考えが違いすぎて、子どもに接する時、意思統一を図れないこと。義父のしつけに一貫性がない。 ● 学校にいる時間が長すぎて、習い事やその他の行動の時間が少ない。
- 配偶者もとてもよく子育てをしていますが、それ以上にひとりである子どもたちの面倒をみなければ、なので疲れる。協力者が欲しい。 ● 担任との関係が悪い(子どもが)。 ● 学校や行事で使う物などの用意に時々困る。
- 子どもの学校生活について。自分の体調不良時の子どもの生活について。 ● 不登校。
- 学校に行きたくないと言い、部活動に全く行かなくなり休部していて心の病にかかり、病院に行って薬を飲んでる。
- 部活の時の送迎、休校の時はスクールバスがないので通信簿や内申に響く為。 ● 障害があるため。
- 自分に持病があり、思うように子育てができていないこと。 ● 障害があり夫婦で意見が合わないことがある。
- 夫(男手)がいないため、生活していく中で、不便さを常に感じる。 ● 子どもがひとりになってしまった時のこと。
- 自分(母)“もしもの時”の子どもの将来。 ● 自傷行為。 ● 母である私にべったりで依存的なこと。
- 特別支援クラス在籍なので、将来の職業、高校進学について。(ADHD)(学習障害)→読みづらい、書きづらい。

問14で「悩みや不安がある」と回答された方に対し、具体的な悩みや不安要素を聞いたところ、1番目は「子どもの勉強や進学のこと」が637人(36.3%)と最も多く、次いで、「子どものしつけやマナーのこと」が318人(18.1%)であった。2番目、3番目の回答を合わせると、「勉強や進学のこと」が1,169人(66.7%)で最も多いのに変わりはないが、「教育費のこと」が552人(31.5%)、「しつけやマナーのこと」が551人(31.4%)と、ほぼ同じ値で次いだ。

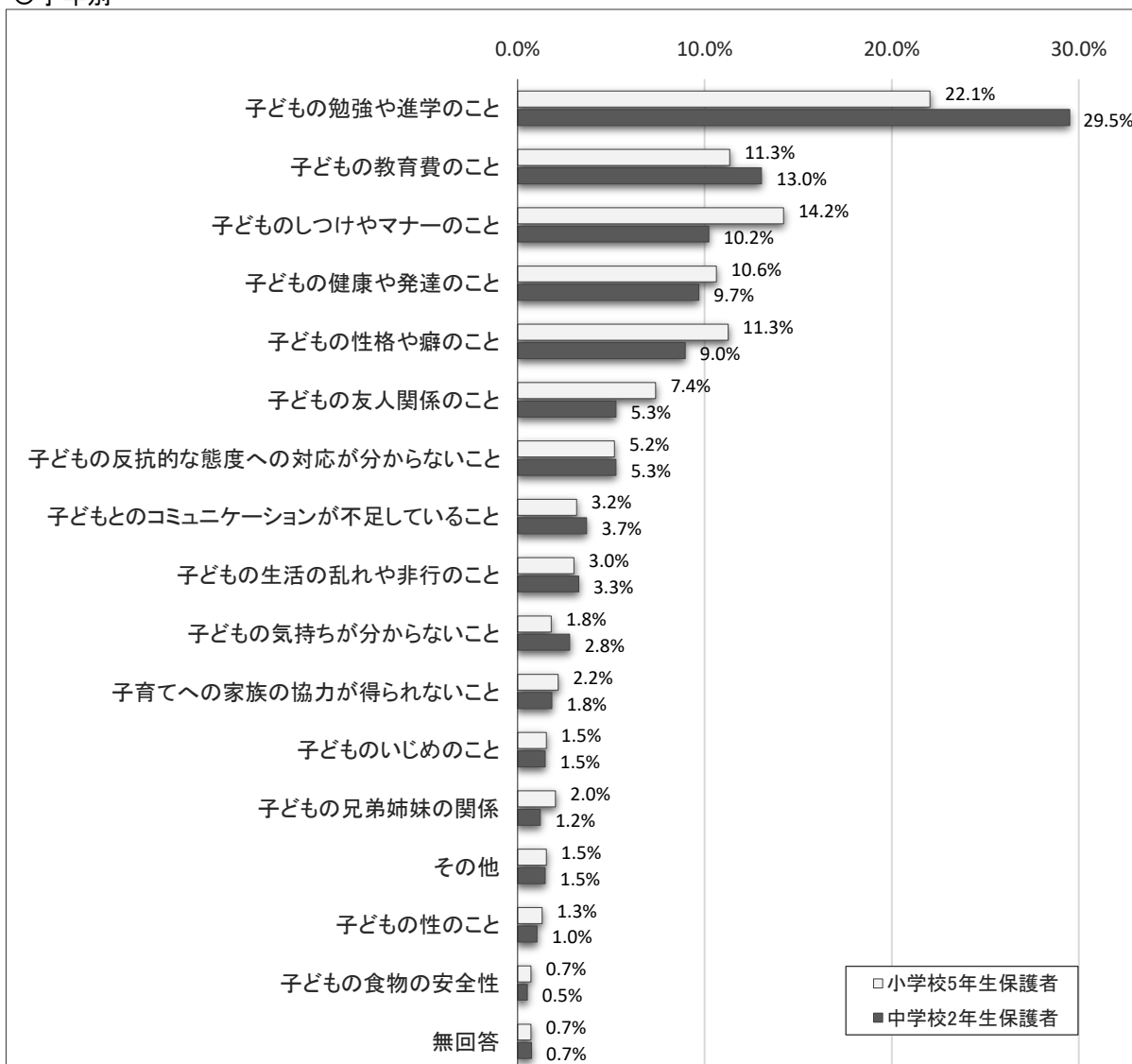
学年別の小学校5年生保護者では、「勉強や進学のこと」の22.1%に次いで、「しつけやマナーのこと」が14.2%であったが、中学校2年生保護者では、「勉強や進学のこと」が29.5%、「教育費のこと」が13.0%と次いだ。

家族形態別の「ひとり親家族」では、「勉強や進学のこと」に次いで、「教育費のこと」の回答が多くなっている。

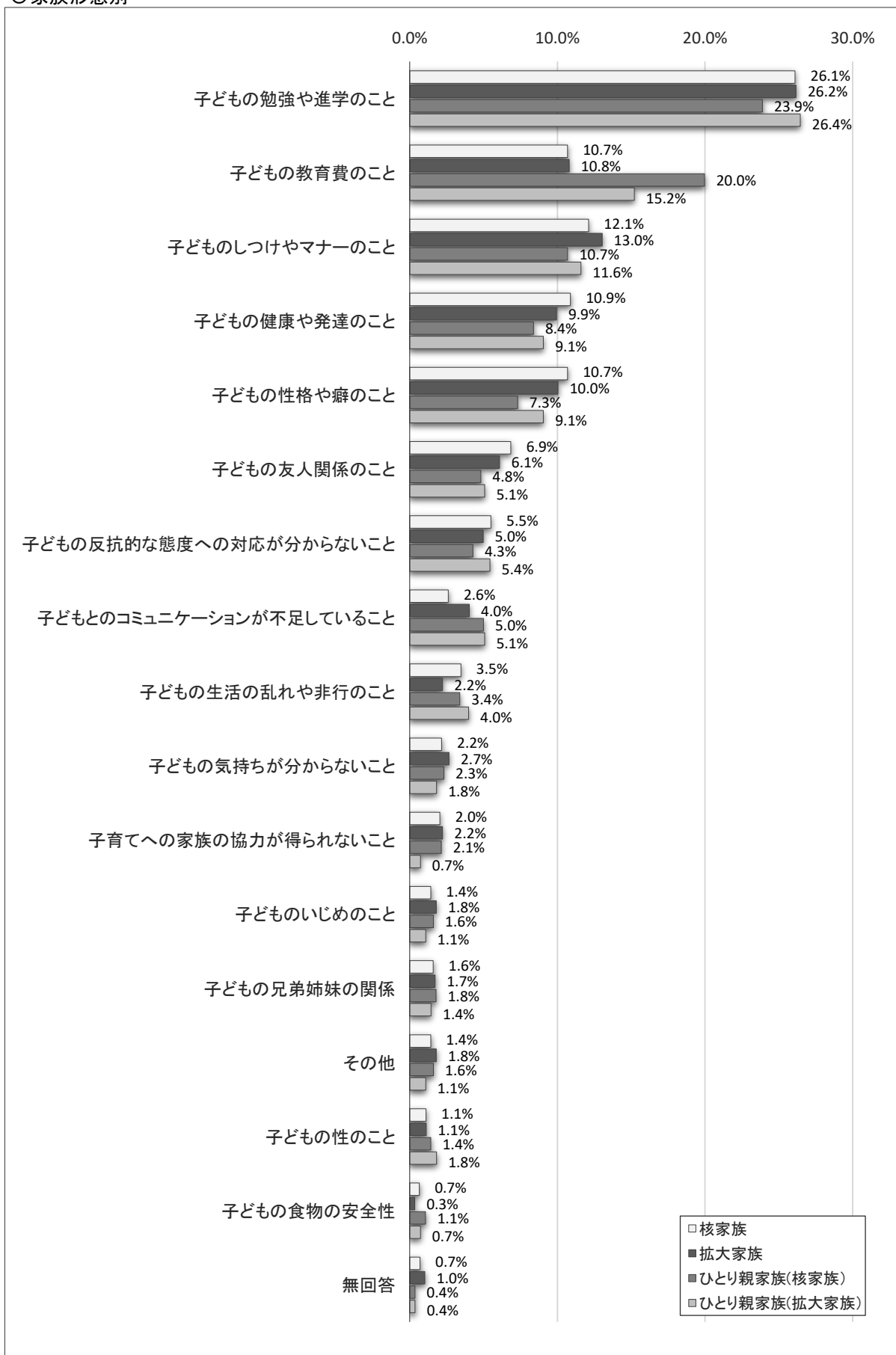
○性別



○学年別



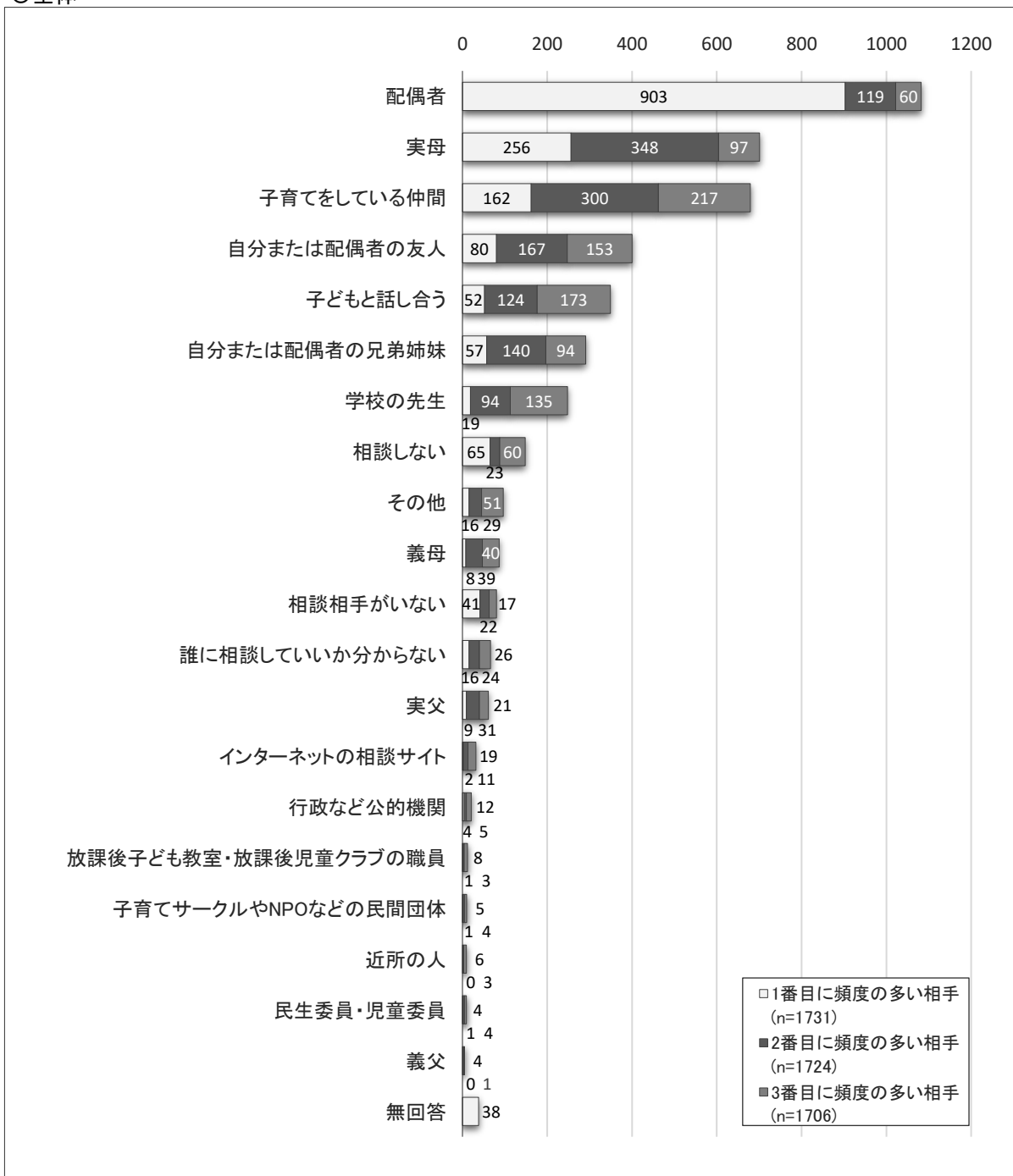
○家族形態別



性別及び学年別、家族形態別の回答者数は、「1番目」と「2番目」と「3番目」を合わせたものである。

問16 子育てについて悩みや不安があるとき、誰に相談するか

○全体

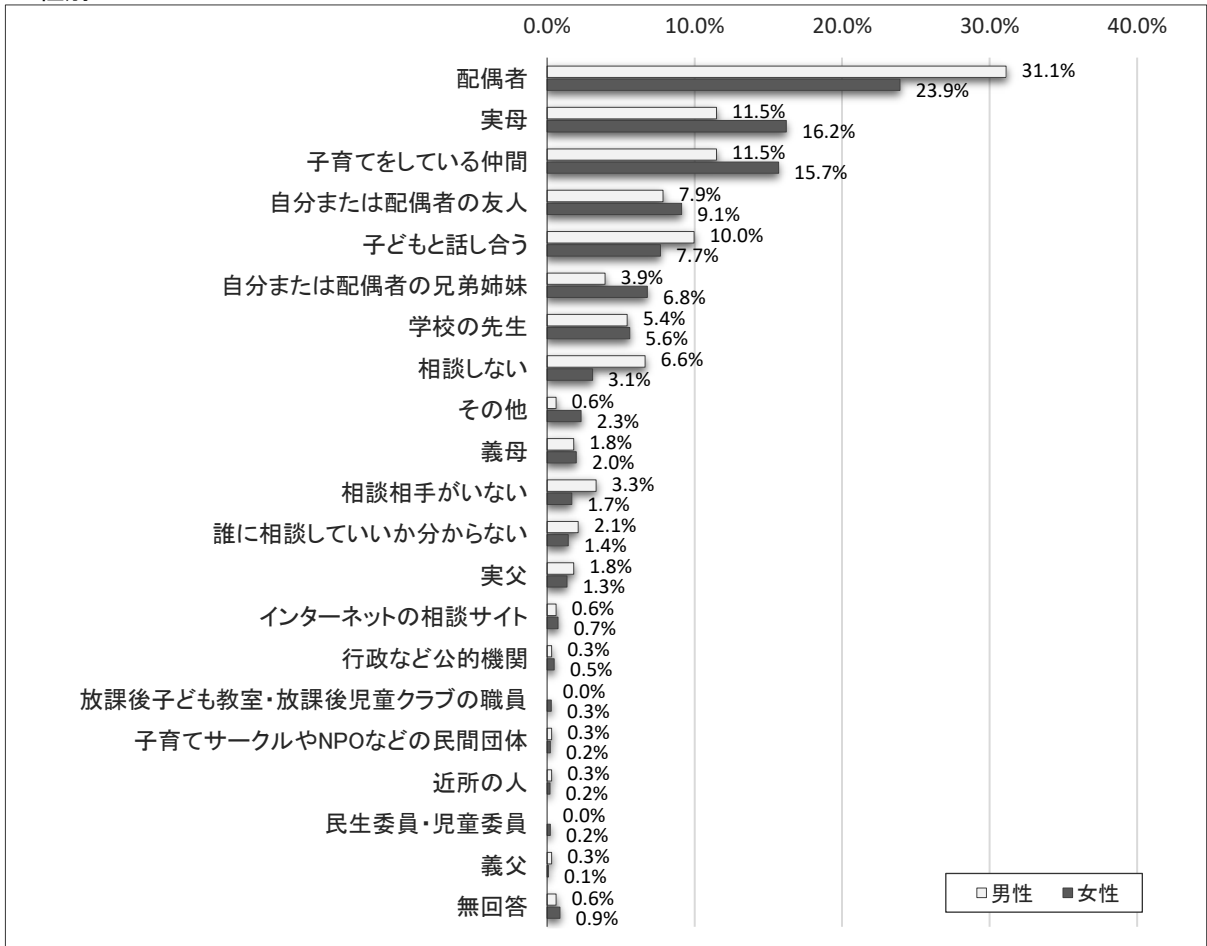


その他

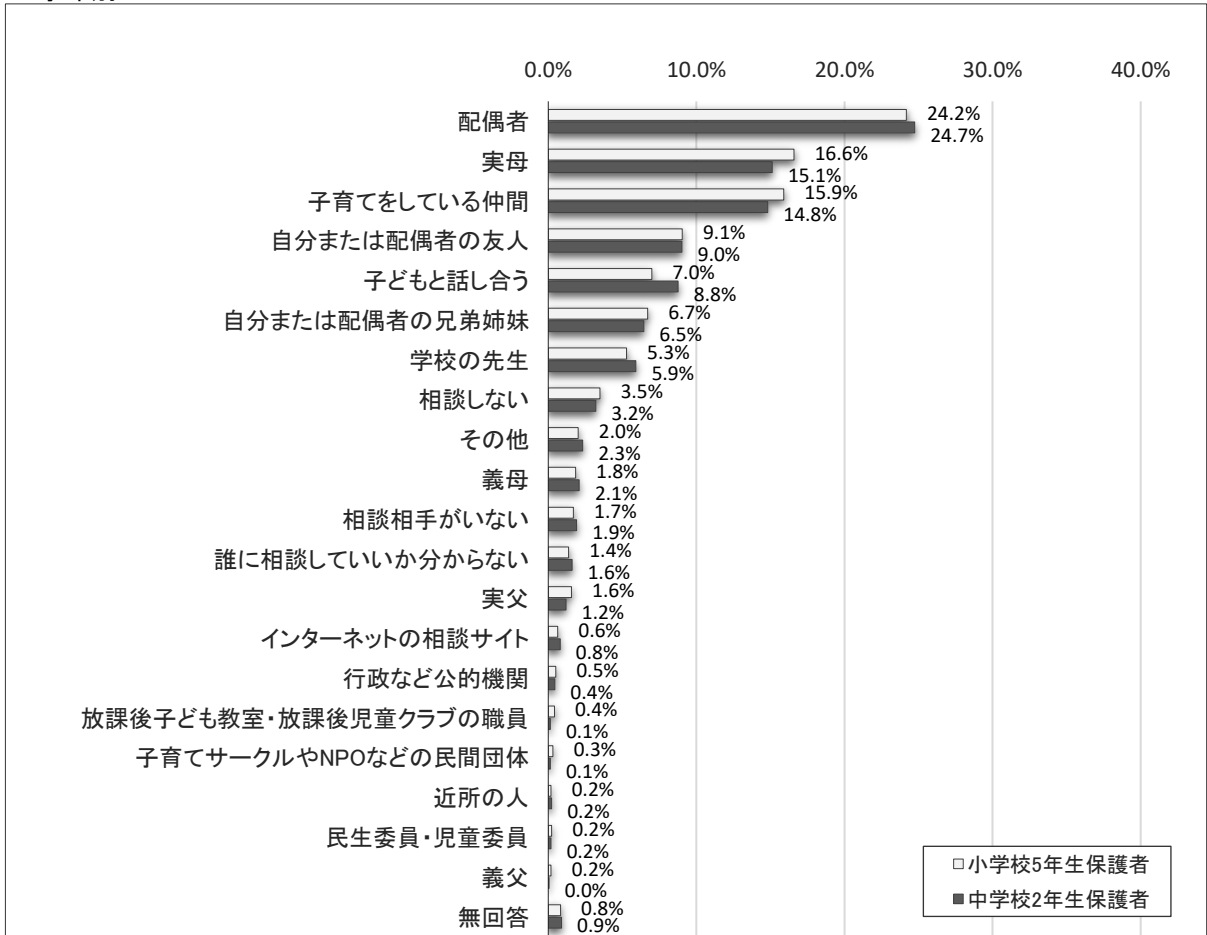
- 職場関係(37件) ●病院の先生(7件) ●友人(6件) ●自分の娘(4件) ●年上の子ども(4件)
- 放課後等デイサービス事業所(2件) ●病院のカウンセラー(2件) ●児相、警察、病院。
- SNSで直接の知人から解答をもらう(フェイスブックなど)。
- サイトで相談はしないけれど近い情報を探す。
- 読んで参考にする。 ●スクールカウンセラー。 ●スポ少を運営している町の協会員(バレーボール)。
- 兄弟。 ●親戚。 ●自分の姉、妹。 ●子どもの実母(娘)や実父(義息子)。

誰に相談する頻度が多いか聞いたところ、1番目は「配偶者」が903人(52.2%)で最も多く、「実母」が256人(14.8%)であった。2番目、3番目の回答を合わせると、「配偶者」が1,082人(62.5%)で最も多いのに変わりはないが、「実母」が701人(40.5%)、「子育てをしている仲間」が679人(39.2%)と、「実母」「子育てをしている仲間」に相談する割合が増えている。

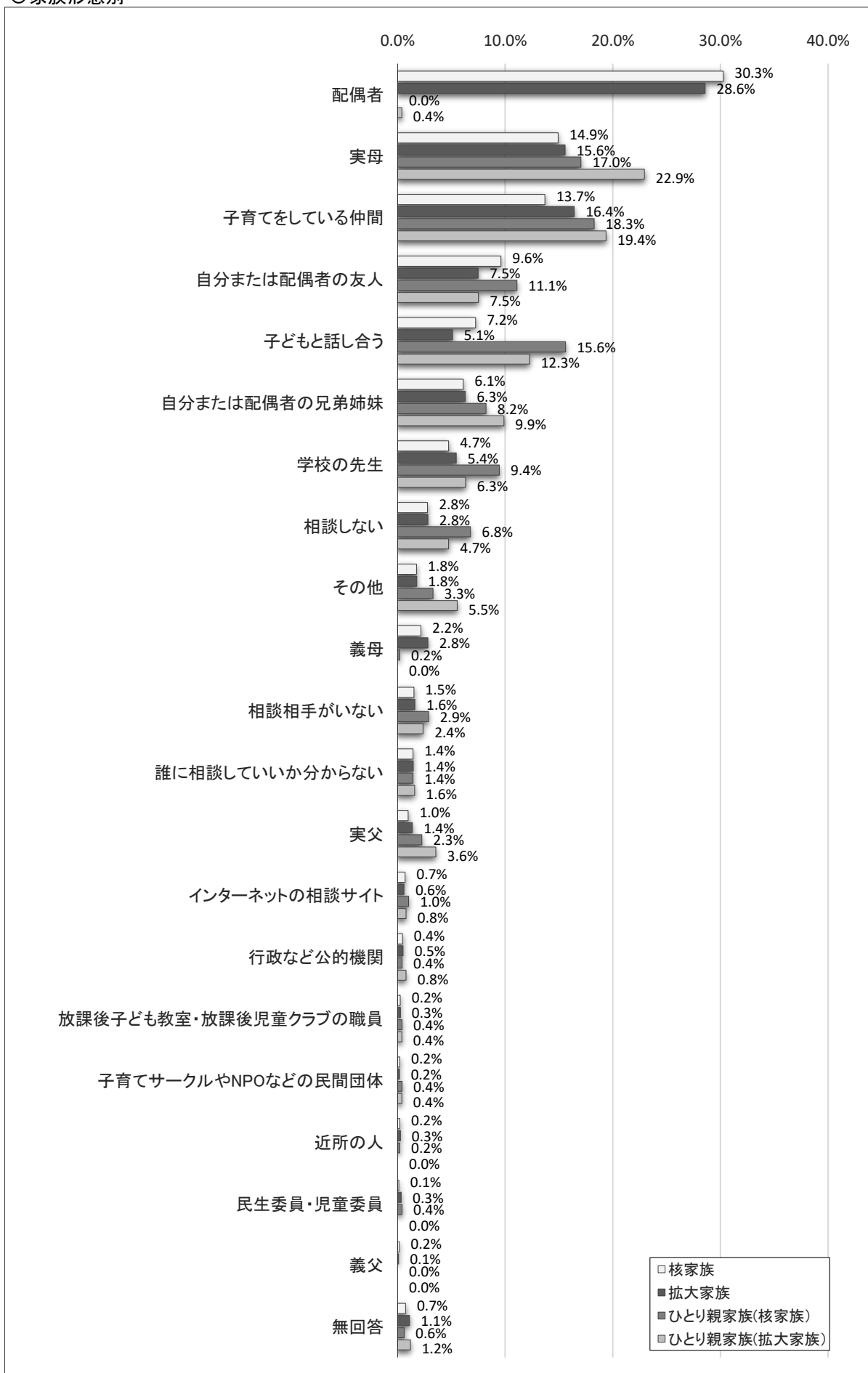
○性別



○学年別



○家族形態別

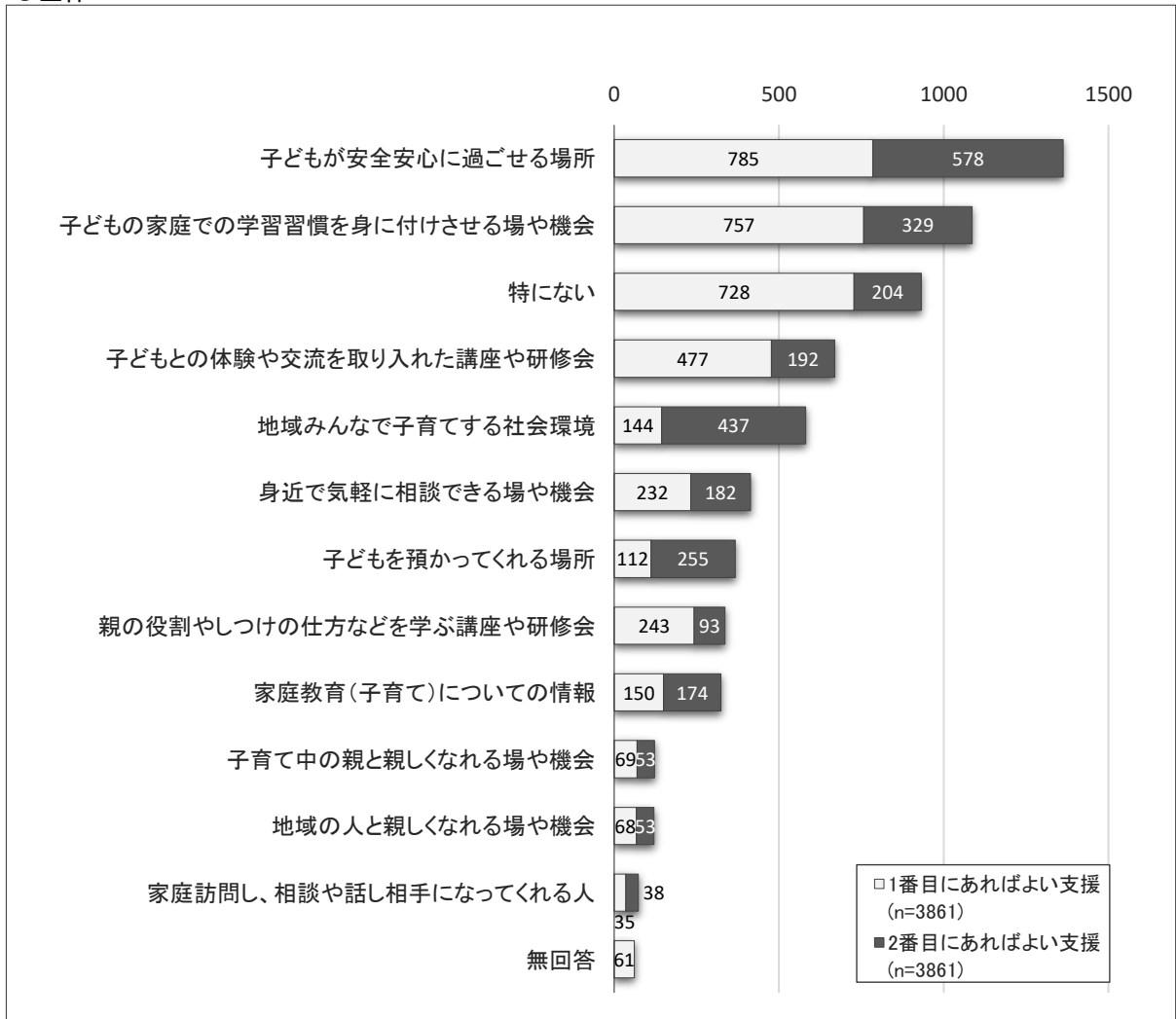


性別及び学年別、家族形態別の回答者数は、「1番目」と「2番目」と「3番目」を合わせたものである。

5 家庭教育(子育て)について

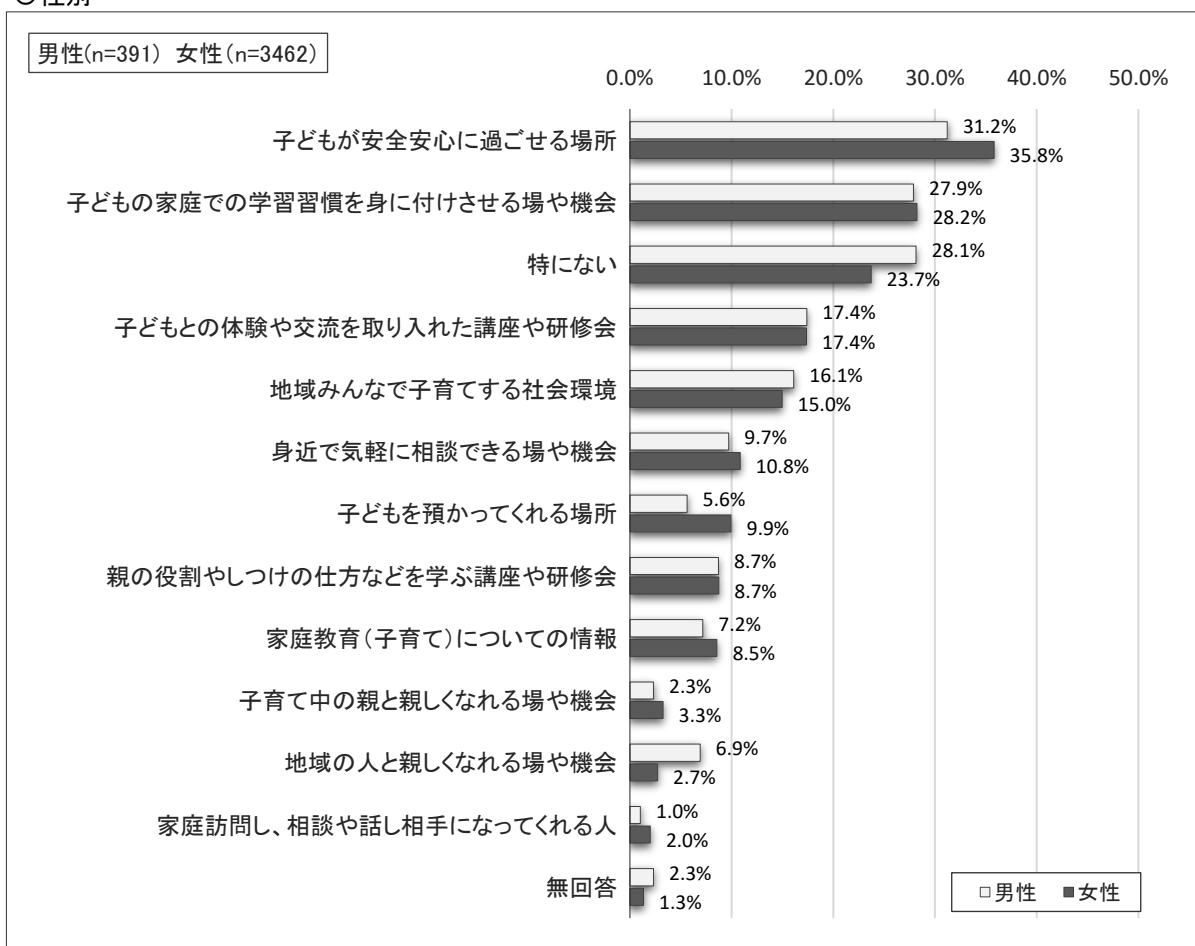
問17 どのような家庭教育(子育て)支援があればよいと思うか

○全体

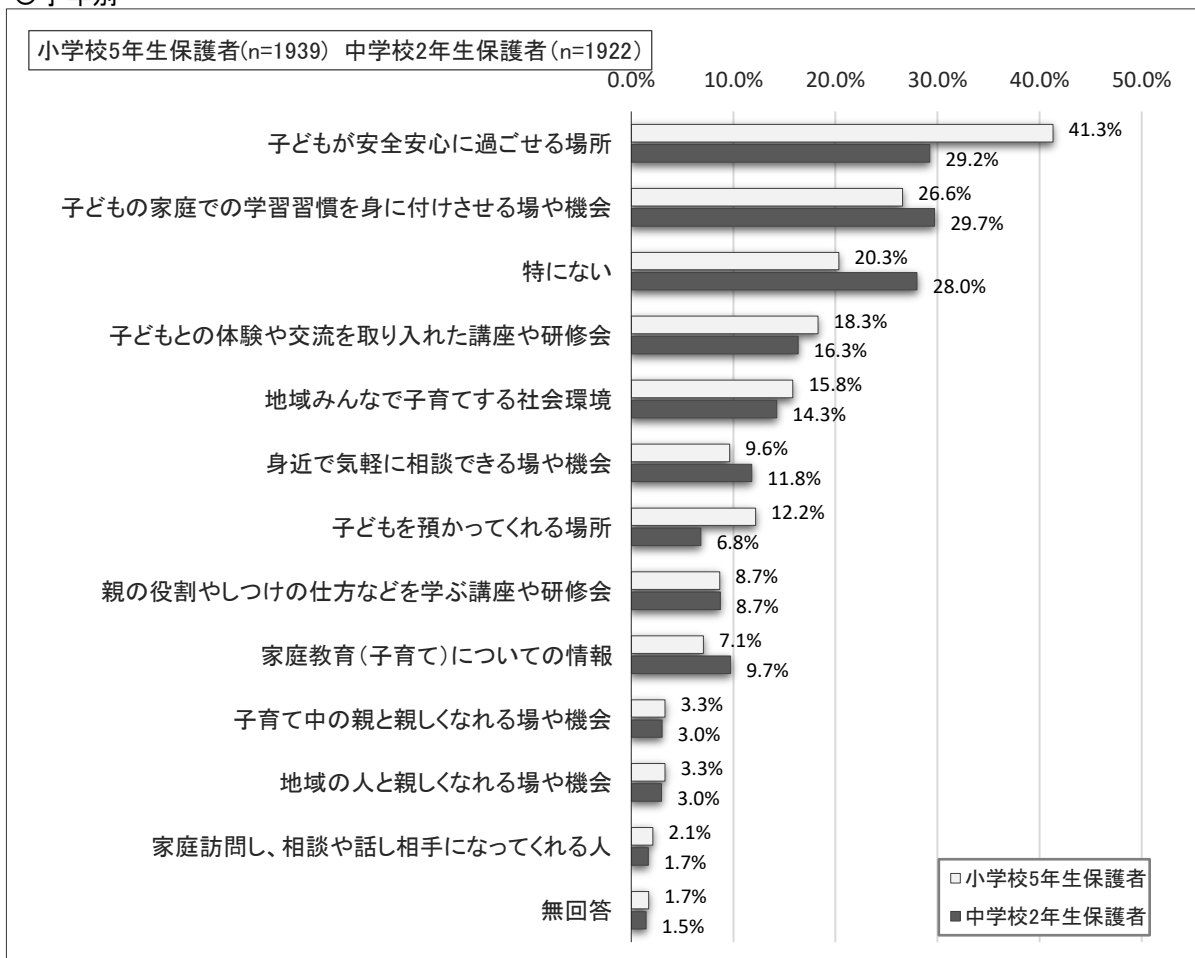


希望する家庭教育支援について聞いたところ、1番目は「子どもが安全安心に過ごせる場所」が785人(20.3%)で最も多く、次いで「子どもの家庭での学習習慣を身につけさせる場や機会」が757人(19.6%)であった。2番目を合わせても、違いは見られない。「特にない」という回答も2割強あった。

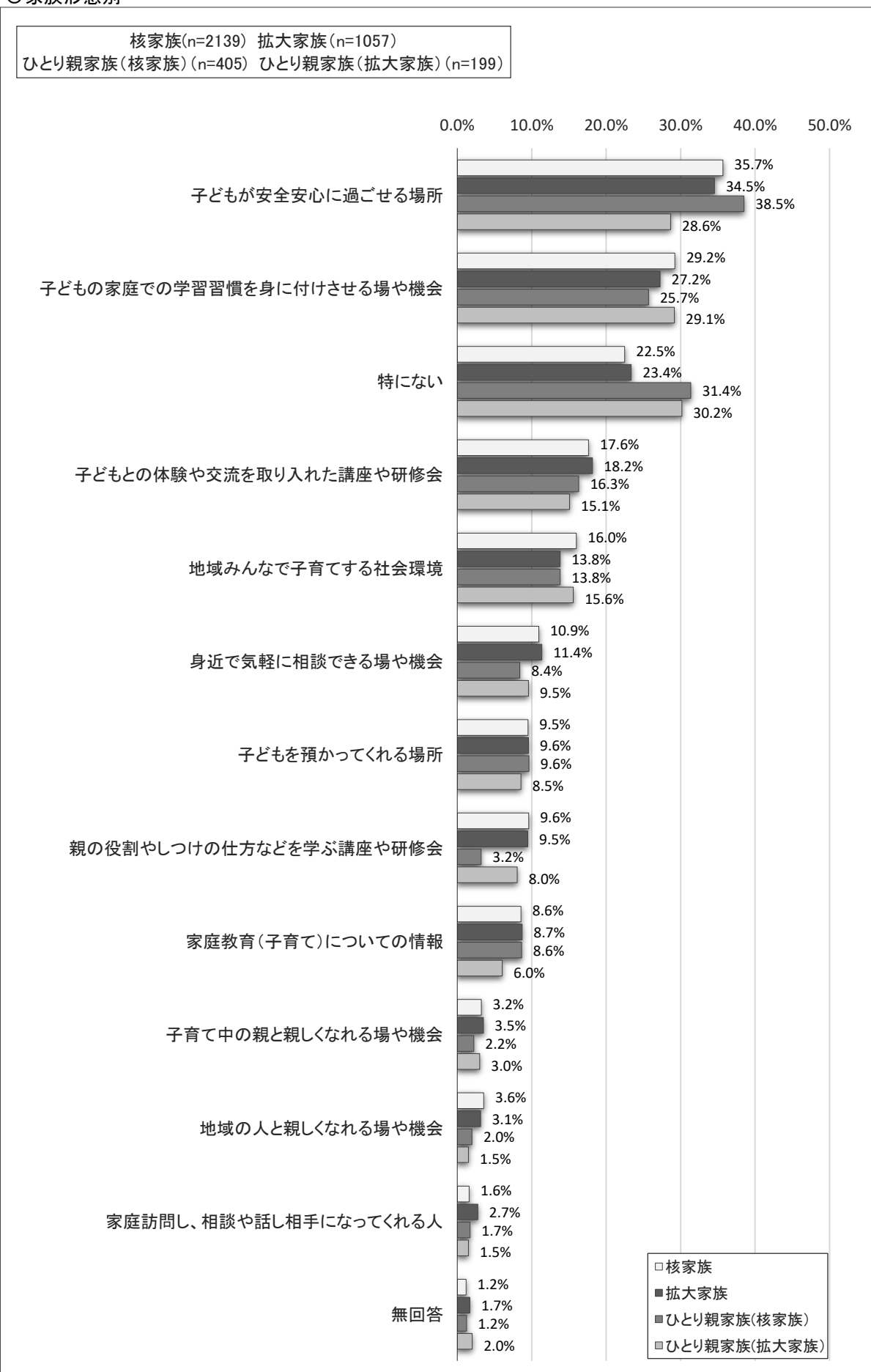
○性別



○学年別



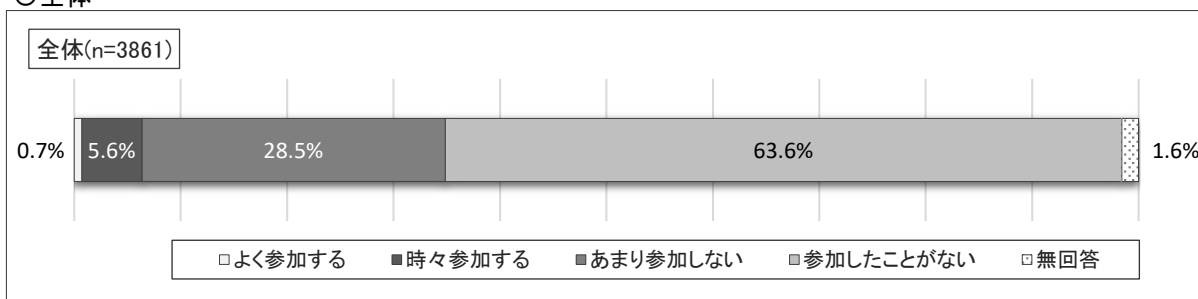
○家族形態別



性別及び学年別、家族形態別の回答者数は、「1番目」と「2番目」を合わせたものである。

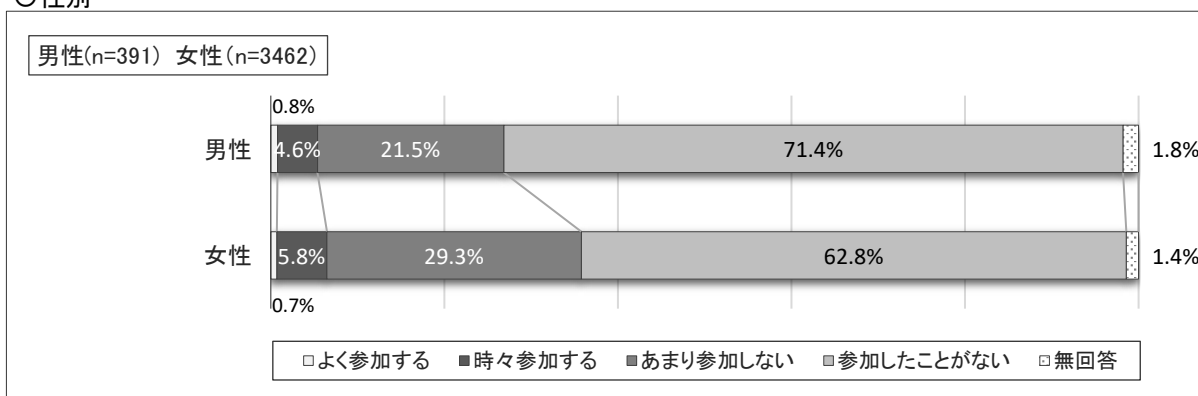
問18 家庭教育(子育て)に関する講座や研修会などに参加しているか

○全体

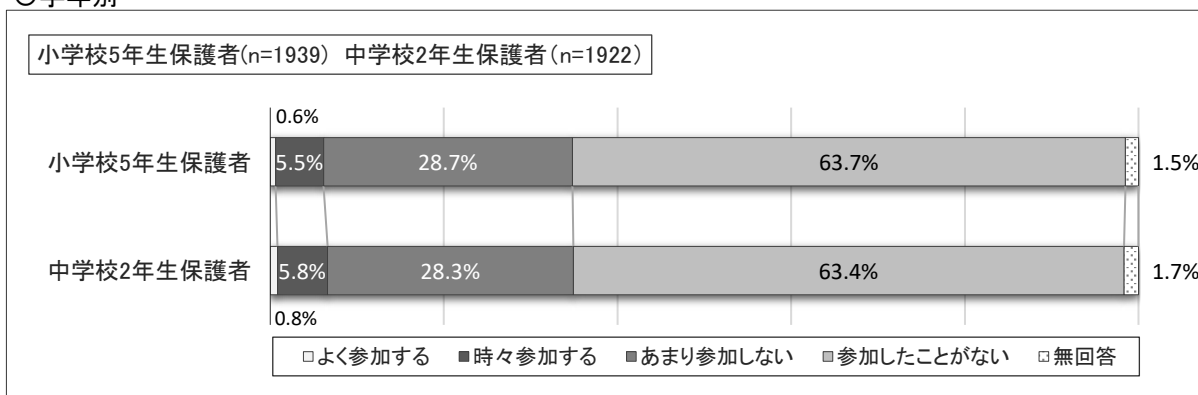


家庭教育に関する講座や研修会への参加を聞いたところ、「参加したことがない」が63.6%と最も多く、次いで、「あまり参加しない」が28.5%であった。

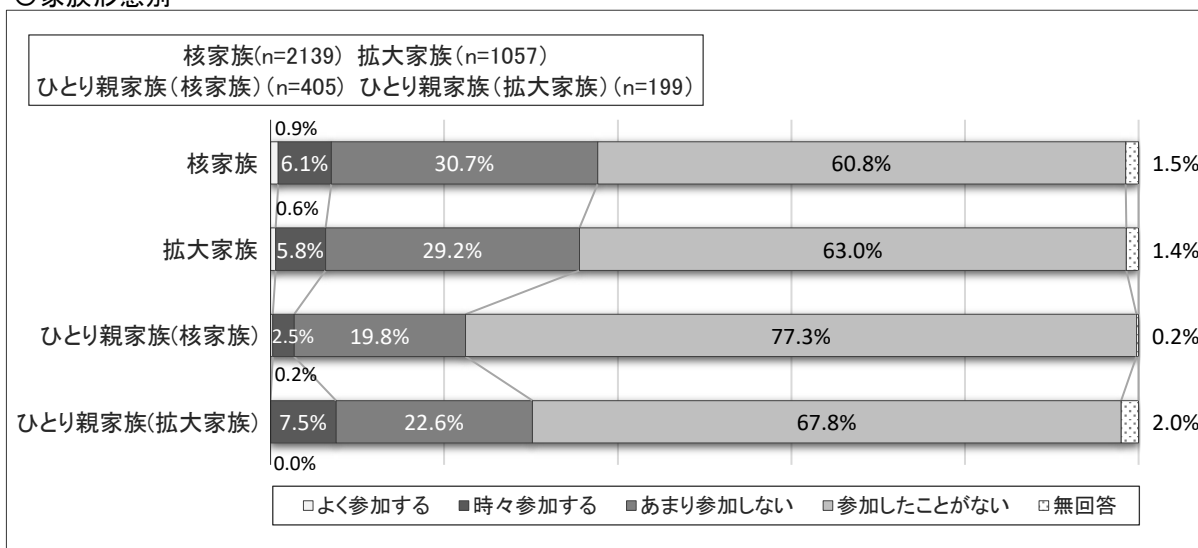
○性別



○学年別

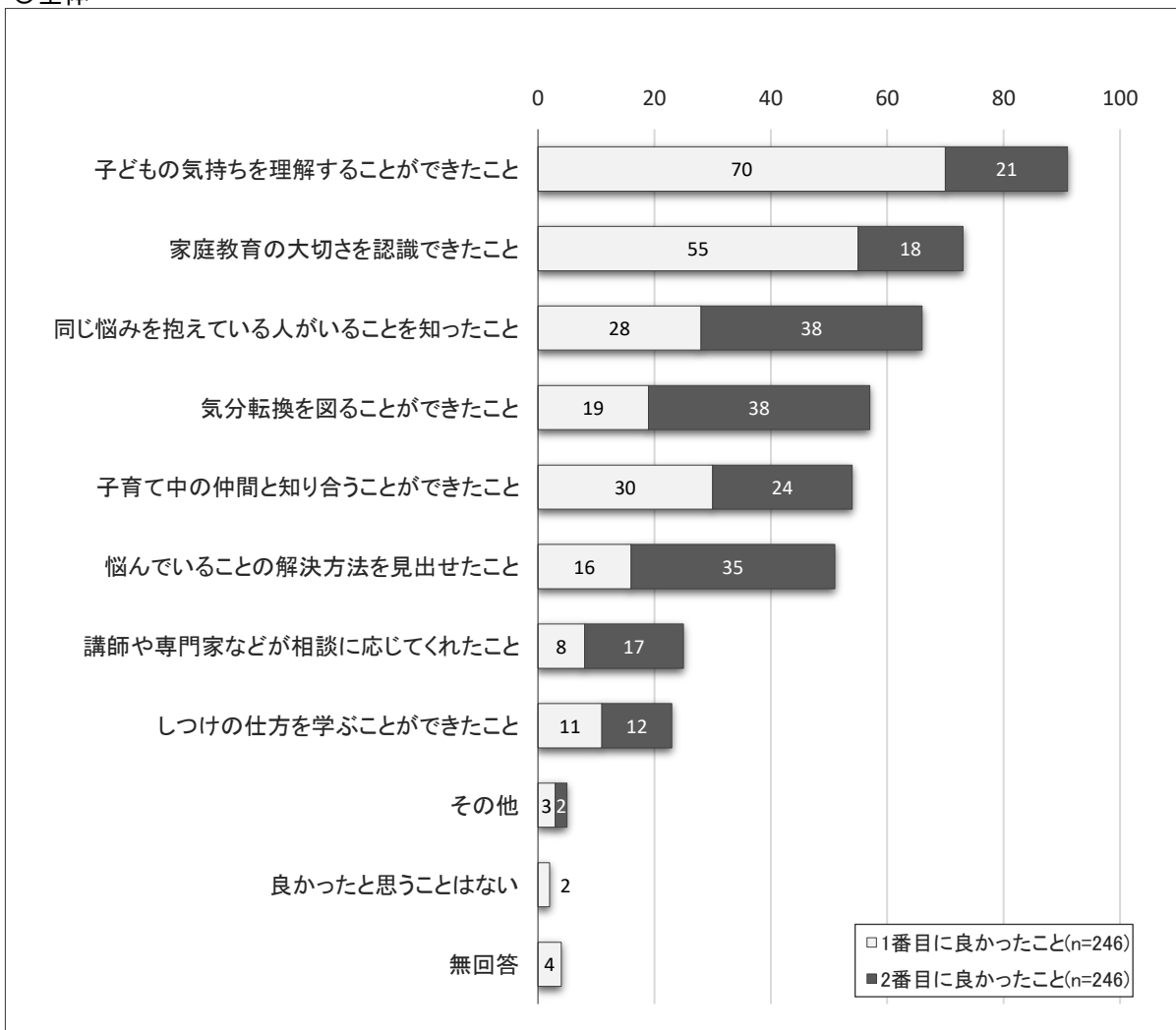


○家族形態別



問19 家庭教育(子育て)に関する講座や研修会などに参加してどのようなことが良かったか

○全体

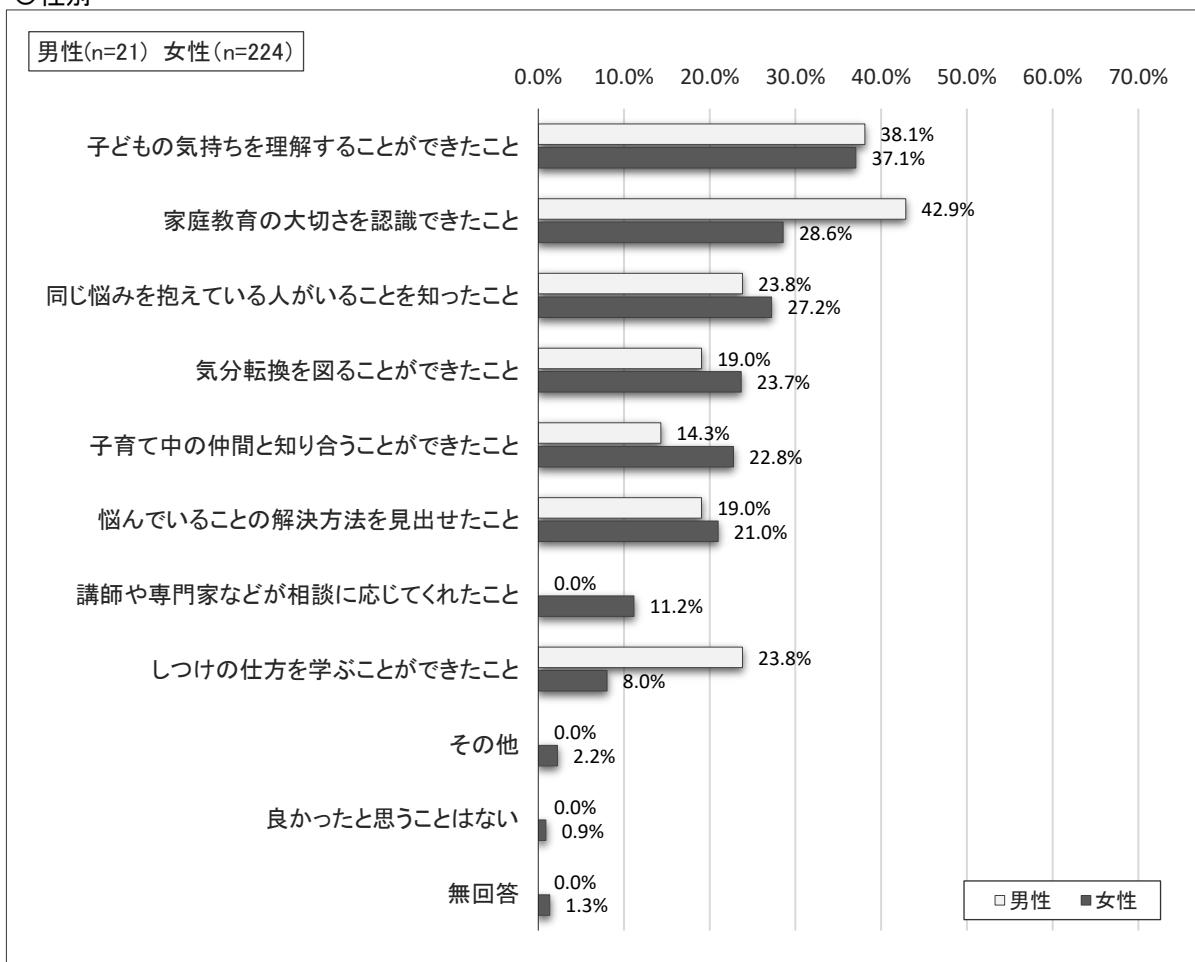


その他

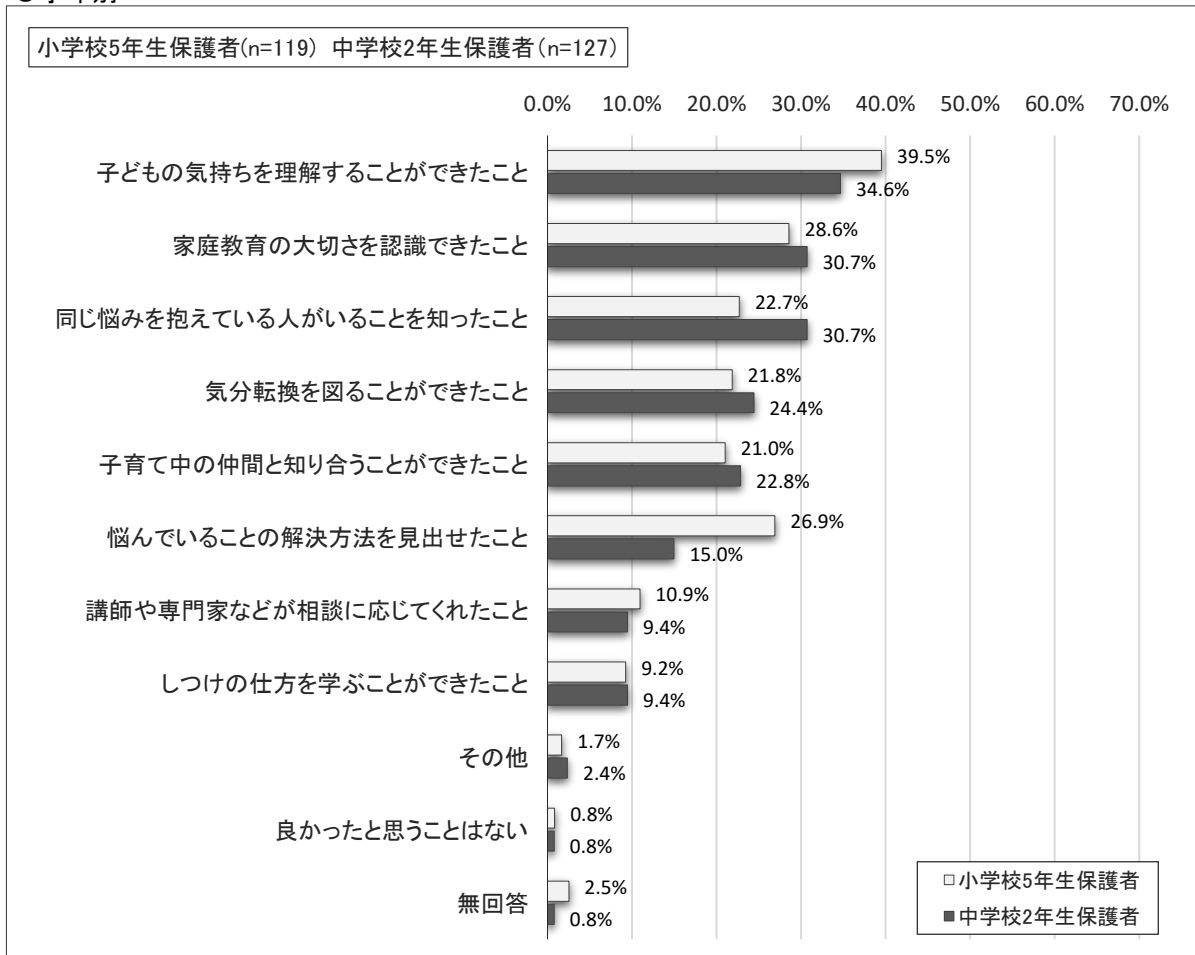
●選択肢が増えた。考えが広がった。 ●色々な考え方があると知れた。
 ●自分が思っていることと同じ教育だったこと。 ●その時は良かったが、今それをいかせないのが残念。
 ●その研修で得たものを教育に役立てている。しかし、その考えが学校の先生と合わないこともあり、良かったとは言いきれない。 ●県内の講師の方の話では、役に立たないことが多いため、県外の研修を受けることが多い。

問18で「よく参加する」「時々参加する」と回答された方に対し、参加して良かったことを聞いたところ、1番目は「子どもの気持ちを理解することができたこと」が70人(28.5%)で最も多く、次いで、「家庭教育の大切さを認識できたこと」が55人(22.4%)であった。2番目の回答を合わせると、「同じ悩みを抱えている人がいることを知ったこと」が続いた。

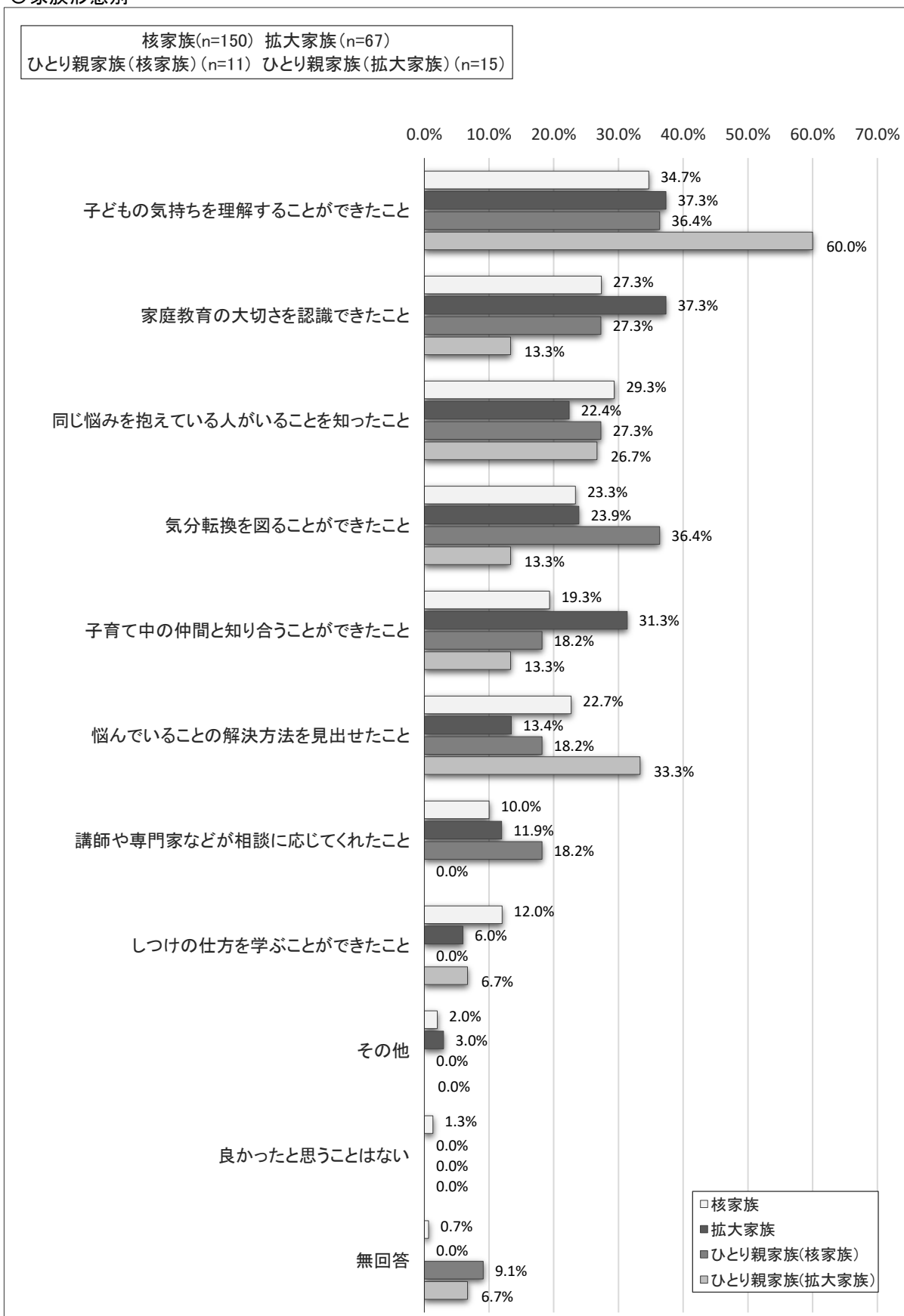
○性別



○学年別



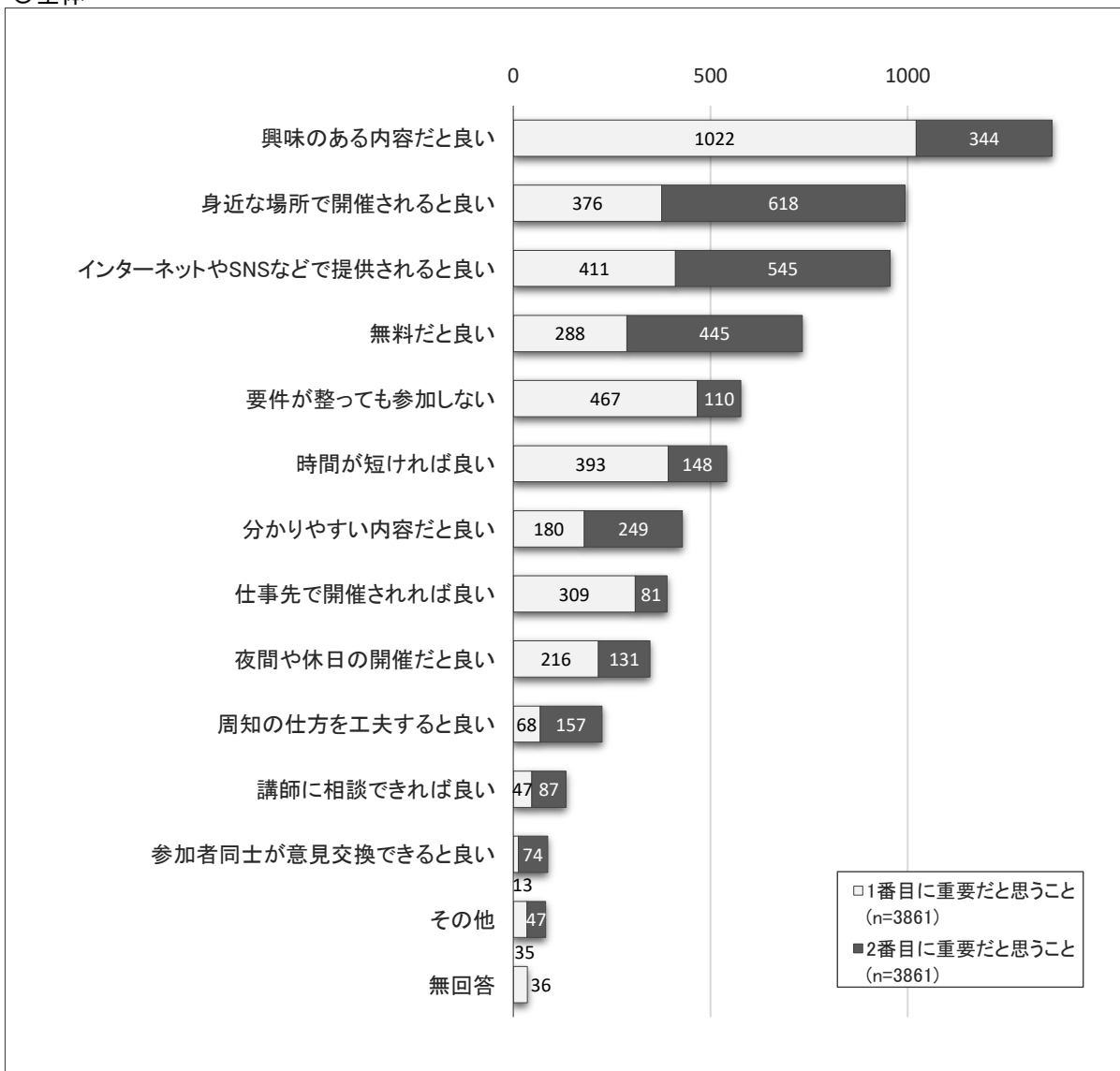
○家族形態別



性別及び学年別、家族形態別の回答者数は、「1番目」と「2番目」を合わせたものである。

問20 家庭教育(子育て)に関する講座や研修会などに参加しやすくなるため、どのようなことが重要か。

○全体

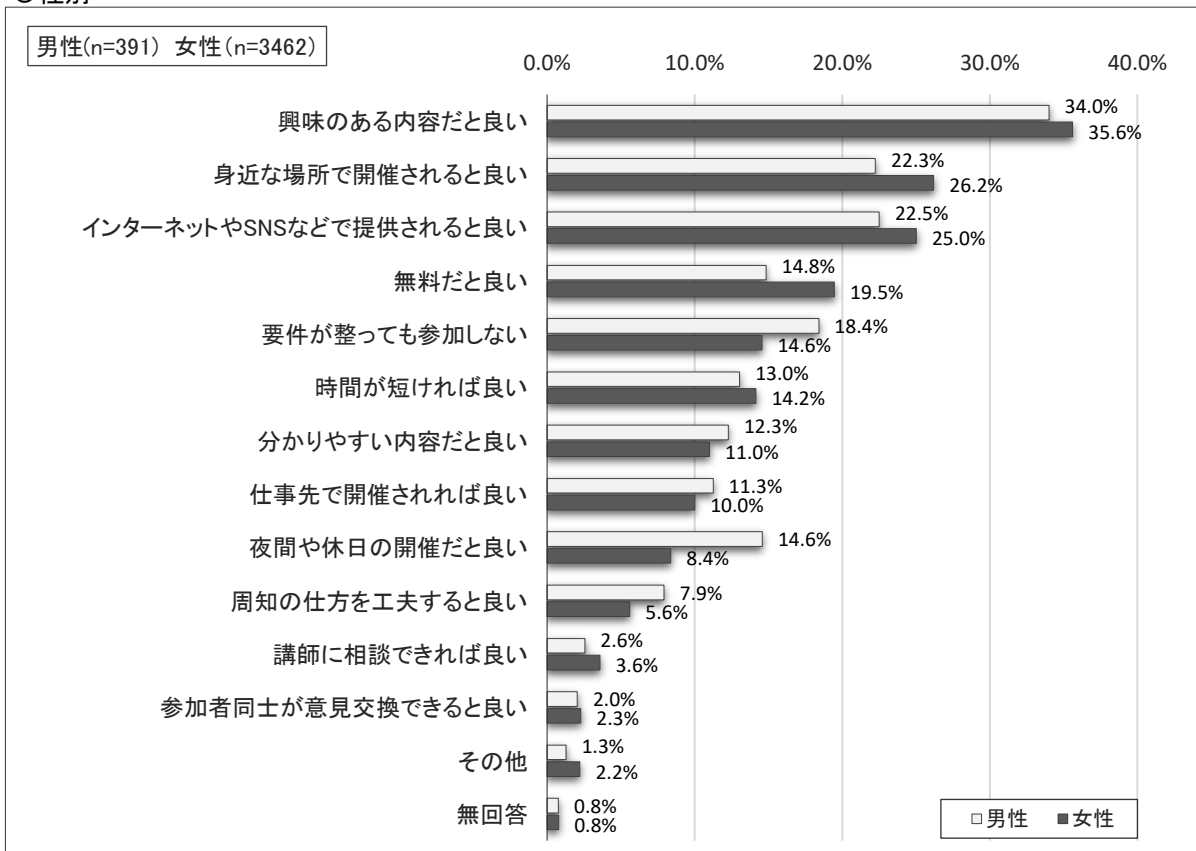


その他

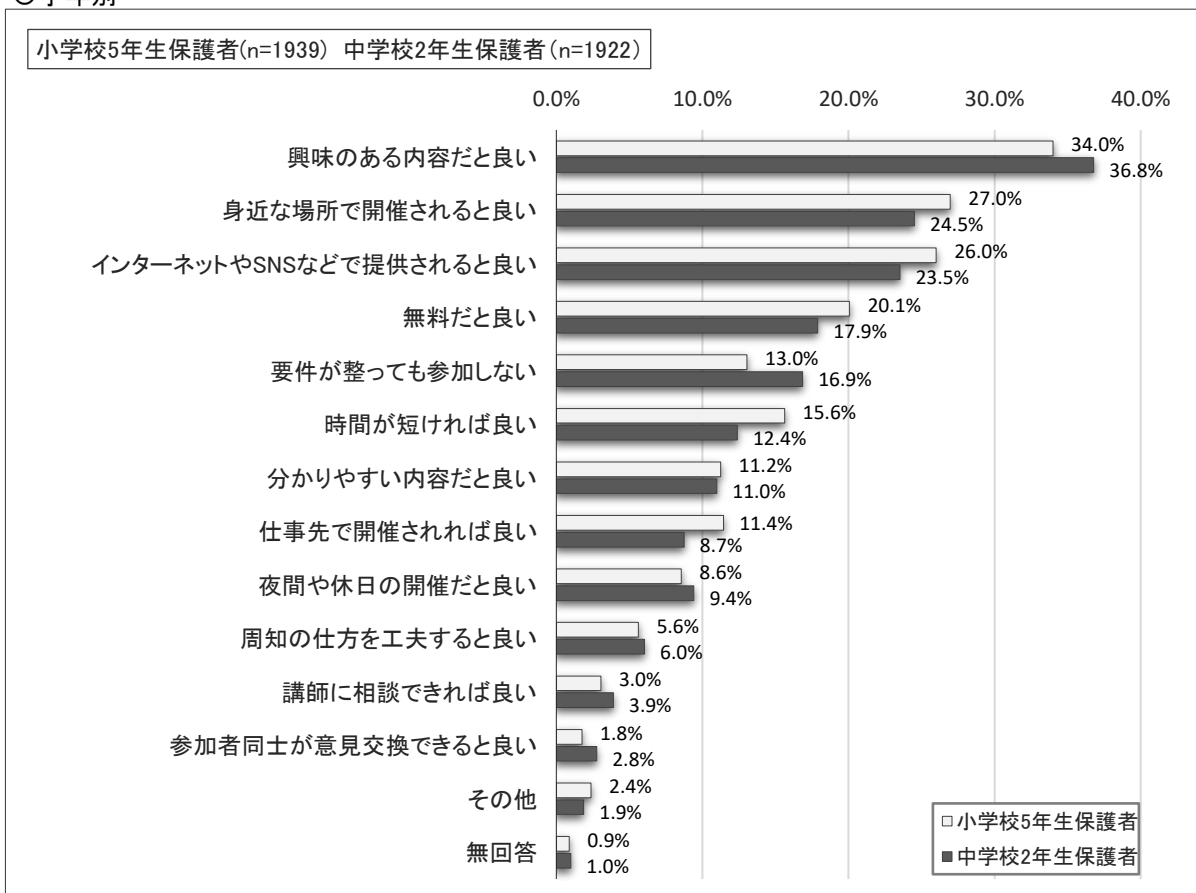
- 仕事、家事などで時間が確保できない(8件) ●子どもと一緒に参加(6件)
- 小さな子どもを預かって欲しい(5件) ●参観日などの学校行事の時にやって欲しい(3件)
- 講座や研修会があるのが分からない(2件) ●仕事を休むと減給されるため参加しにくいです。
- 大勢ではなくひとりひとり家庭で話ができるシステム。いろいろな人がいる中で自分の意見を言うのは難しい。
- リモートにしてもらうととても助かる。 ●自由な時間にどこでも見られる。
- よっぽど魅力的な講師でなければ興味がわかないかもしれません。 ●コロナなので参加はできない。
- 講座などはきれいごとばかりなので、違う形で子育ての支援して欲しいです。
- 参加したいと思った方がされたいと思ったから。子育ては親が思うようにはなかなか・・・。
- 私はシフト制の仕事なので急な予定は変更しにくい。そのため、1ヶ月以上前からの告知があればよい
- 開催日時が、早く分かるようになると助かります。休みがいただけないので。 ●参加しやすい環境。
- 開催日が複数(曜日違い)があると参加できる日があるかも。 ●自分の仕事が休みの平日だと良い。
- 職場で開催することで子育てに対して周囲の人々も理解できて、仕事がしやすくなる。仕事と子育ての両立に協力できる環境作りがあってのものだと思う。 ●農家なので参加しやすいように義両親の理解。
- 上の子達の時に参加して来たのでもう余り参加しなくても良いと思っています。
- なかなか、研修のために仕事を休むことは難しいので、社会全体が子育て中の親が休日取得しやすかったりしないといけない。 ●仕事を休んでも気負うことなく参加できるように、子どもの年齢で、10才の子どものいる保護者は義務参加みたいな・・・雇用者は仕事を休ませて参加させなければいけないみたいな、対象者は義務的に参加するような仕組みになればいいと思う。 ●講座、研修会に行くと子どもとの時間がさらになくなる。
- 送迎して欲しい。またはバスの時間に合わせて欲しい。 ●とつきやすさ、参加に対する敷居が下がると良い。
- 子育てに関心がない親が子育てに対して自覚を持つような呼び掛けがもっと必要と考える。
- 自分で図書館に行き情報を集めたり、友達と話せているので講習会への参加は不要だった。
- 心の余裕、時間の余裕、金銭的な余裕が無いため、何かに参加して他人に気を遣おうとは思えない。
- 「子育ては女がするもの」という男の気持ちを改善するもの。
- 産院での母親教室のように男性にも父親教室を義務化するべき。協力して分担して・・・とは思わないが何が起きて何が起ころのか知らない父親ばかりだと思う。 ●行政等のしがらみのない講師選定をして欲しい。
- ネットで分かる内容や誰でも分かっているような内容を、パワーポイントの資料でただ読んで話すだけの講座は必要ないと思う。大体、誰でもわかることを言っているだけのような気がする。 ●興味なし。 ●ない。

参加しやすくなるために重要なことを聞いたところ、1番目は「興味のある内容だと良い」が1,022人(26.5%)、次いで、「要件が整っても参加しない」が467人(12.1%)であった。2番目の回答を合わせると、「興味のある内容だと良い」が1,366人(35.4%)で最も多いのに変わりはないが、次いで、「身近な場所で開催されると良い」が994人(25.7%)、「インターネットやSNSで提供されると良い」が956人(24.8%)であった。

○性別

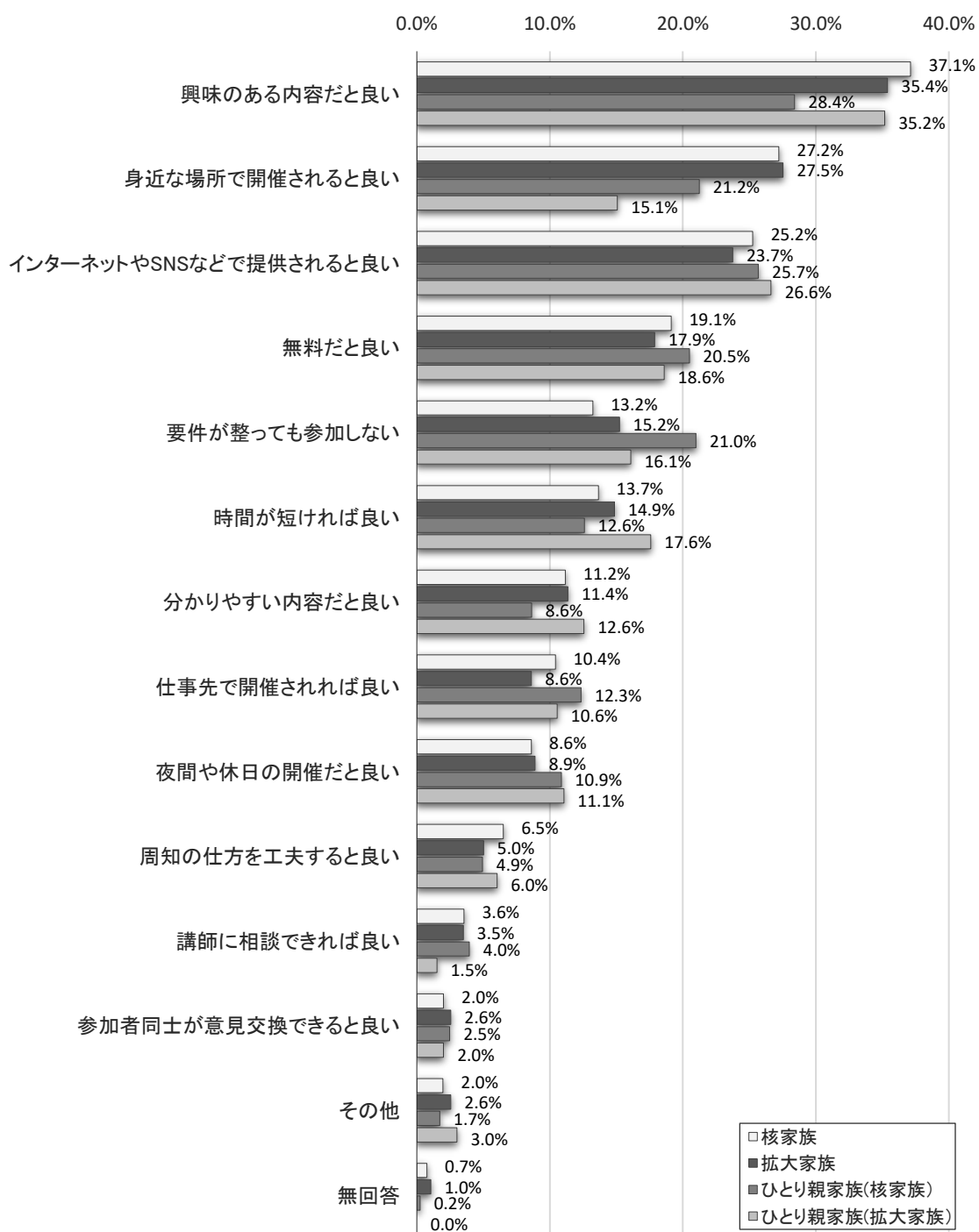


○学年別



○家族形態別

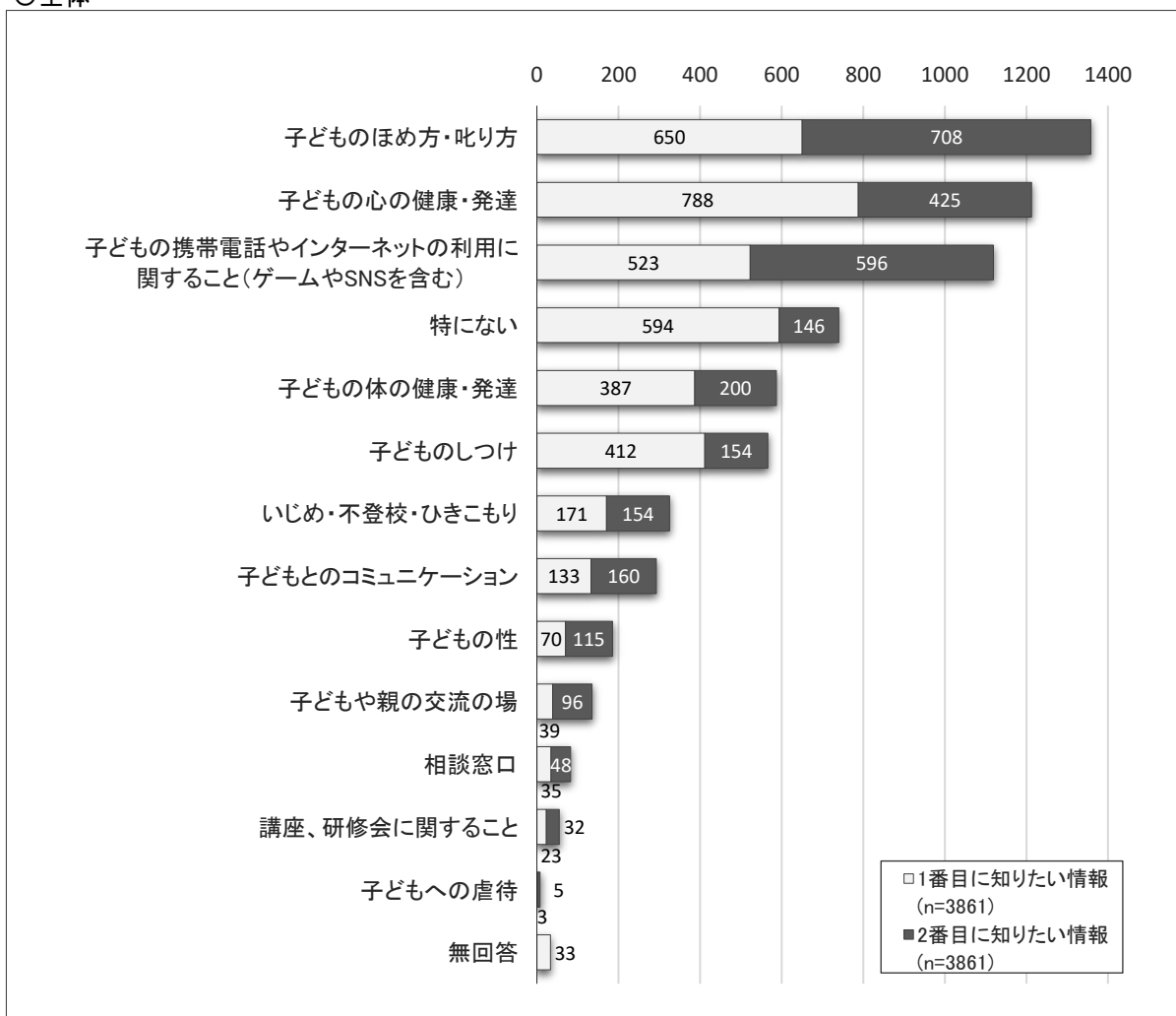
核家族(n=2139) 拡大家族(n=1057)
ひとり親家族(核家族)(n=405) ひとり親家族(拡大家族)(n=199)



性別及び学年別、家族形態別の回答者数は、「1番目」と「2番目」を合わせたものである。

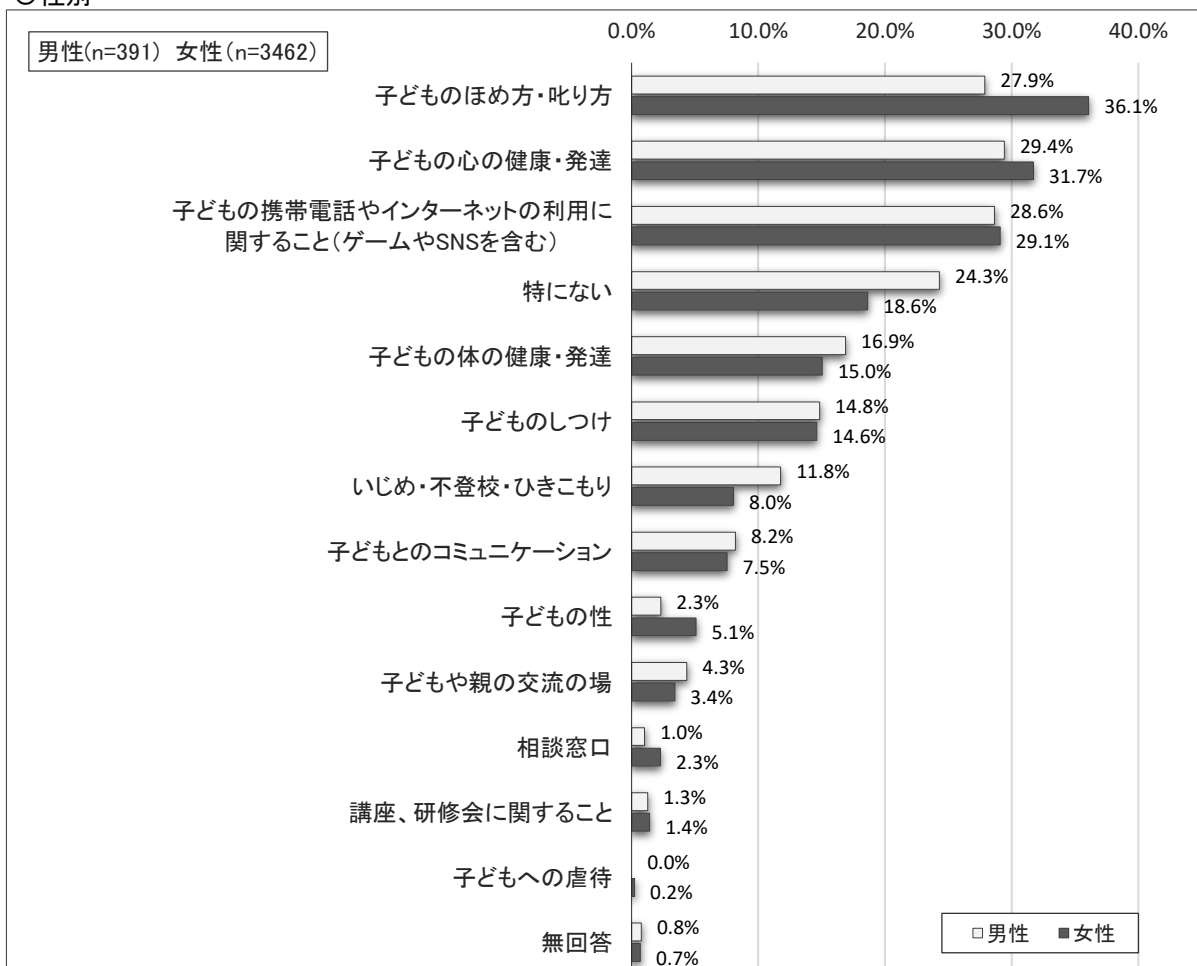
問21 家庭教育(子育て)について、知りたい情報はどんなことか。

○全体

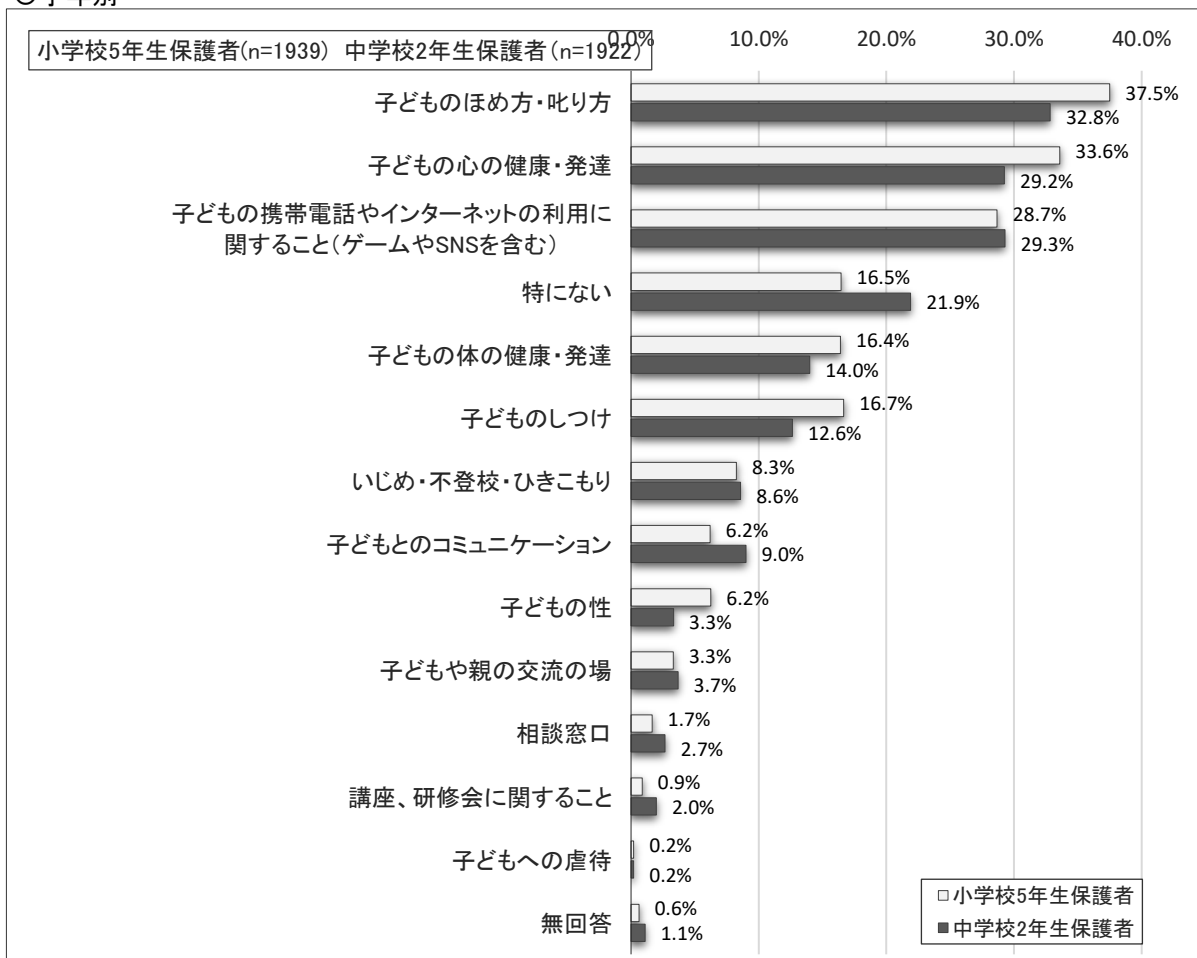


家庭教育について知りたい情報を聞いたところ、1番目では「子どもの心の健康・発達」が788人(20.4%)で最も多く、次いで、「子どものほめ方・叱り方」が650人(16.8%)であった。2番目の回答を合わせると順位が入れ替わり、「ほめ方・叱り方」が1,358人(35.2%)、「心の健康・発達」が1,213人(31.4%)であった。

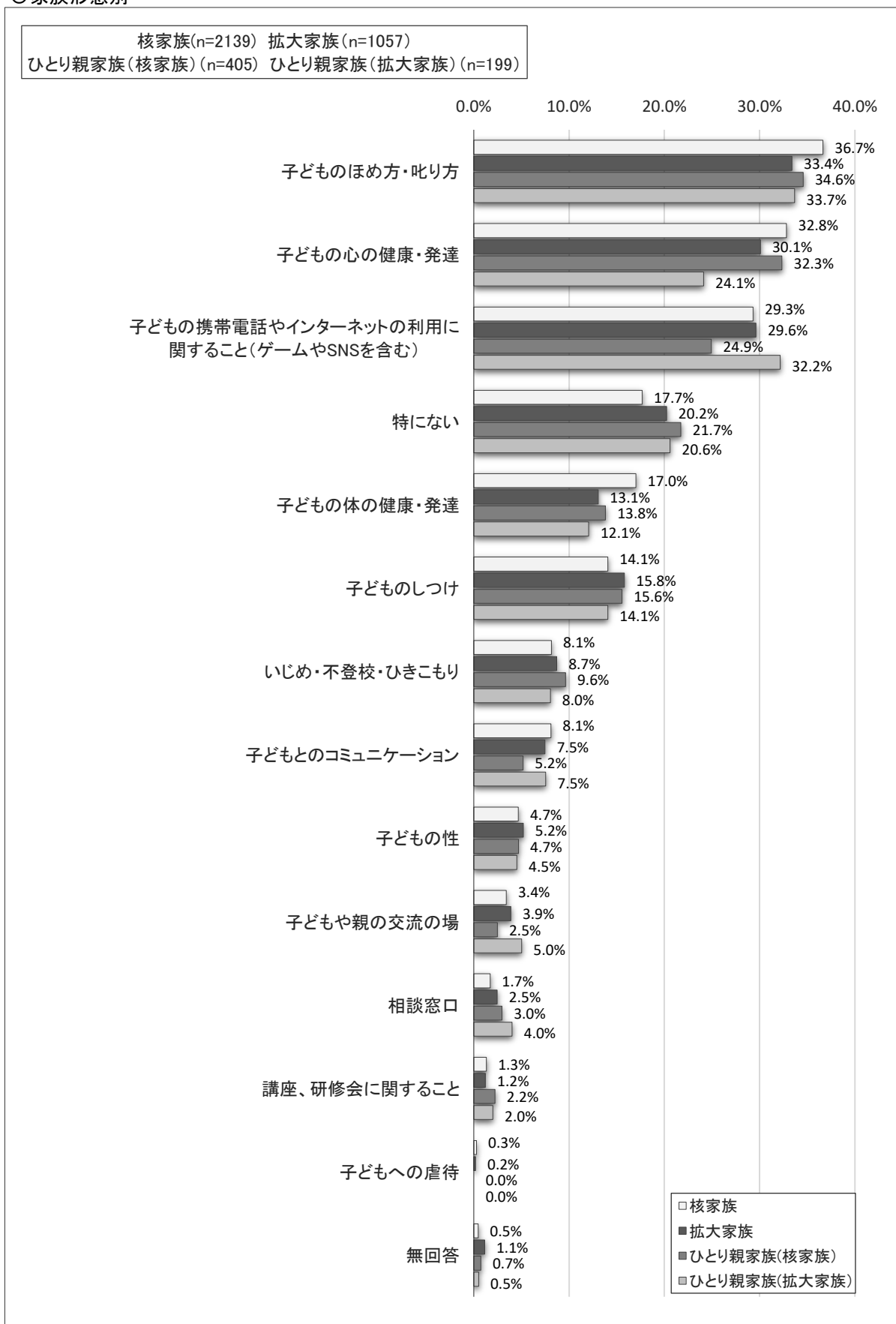
○性別



○学年別



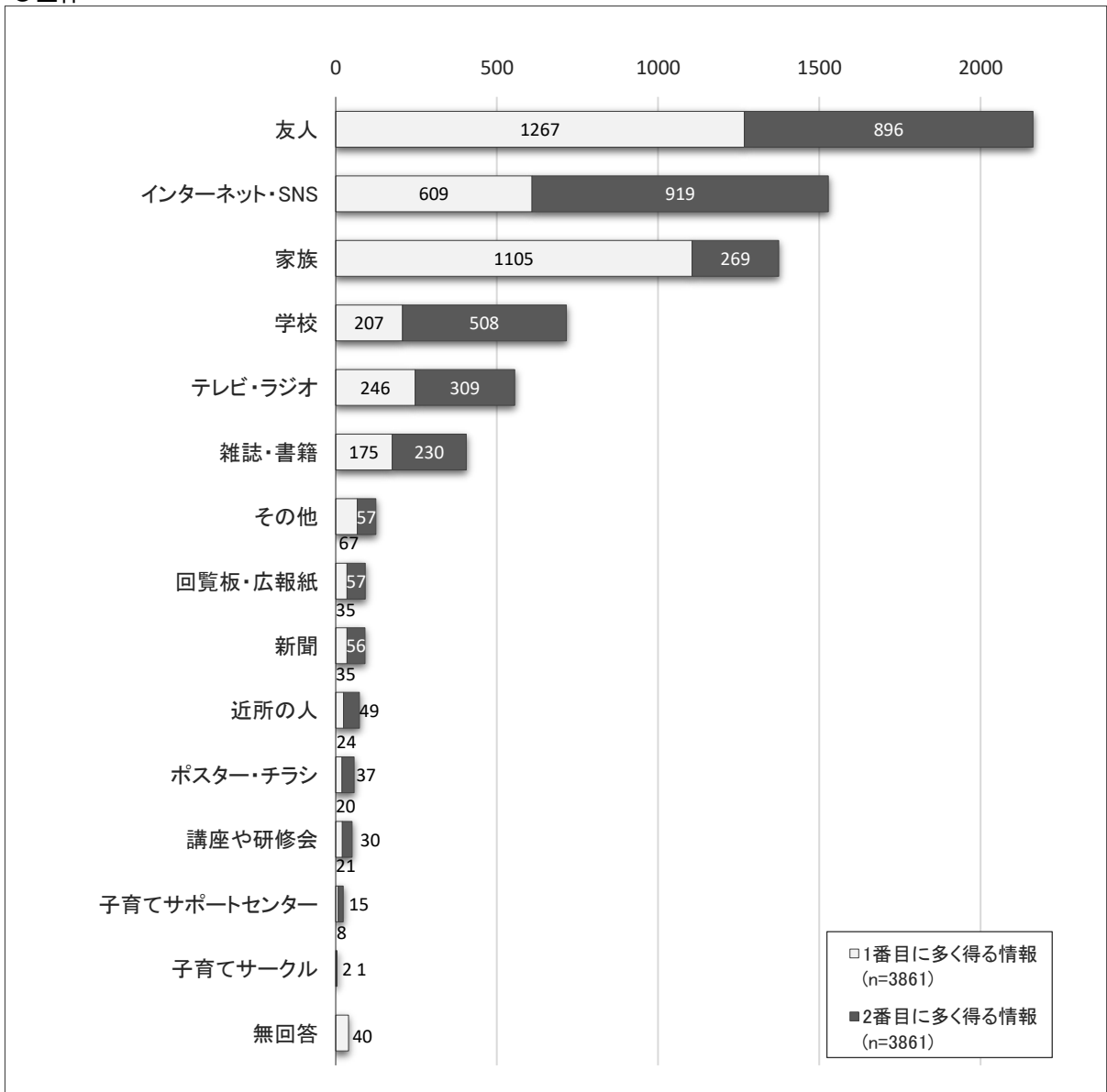
○家族形態別



性別及び学年別、家族形態別の回答者数は、「1番目」と「2番目」を合わせたものである。

問22 家庭教育(子育て)について、知りたい情報は誰から得ているか

○全体

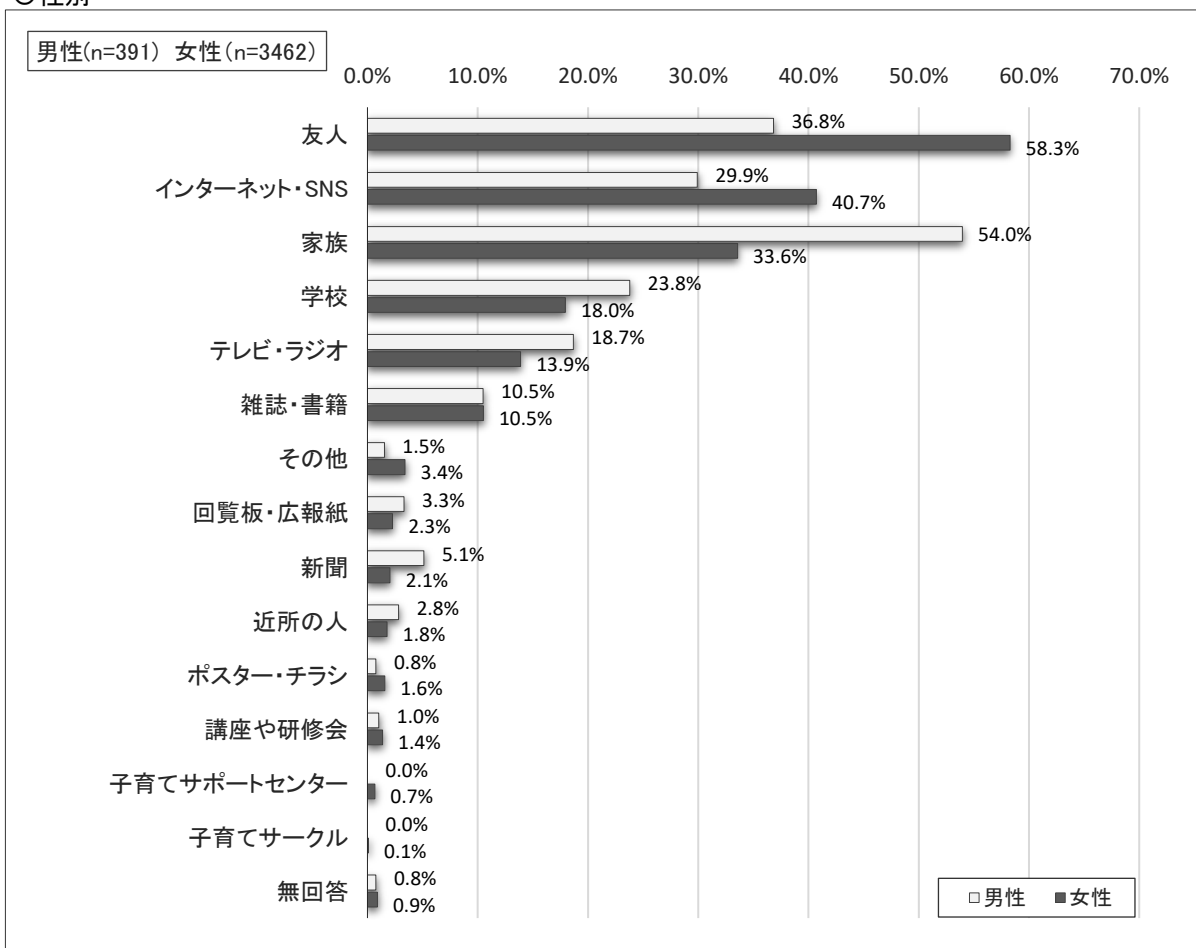


その他

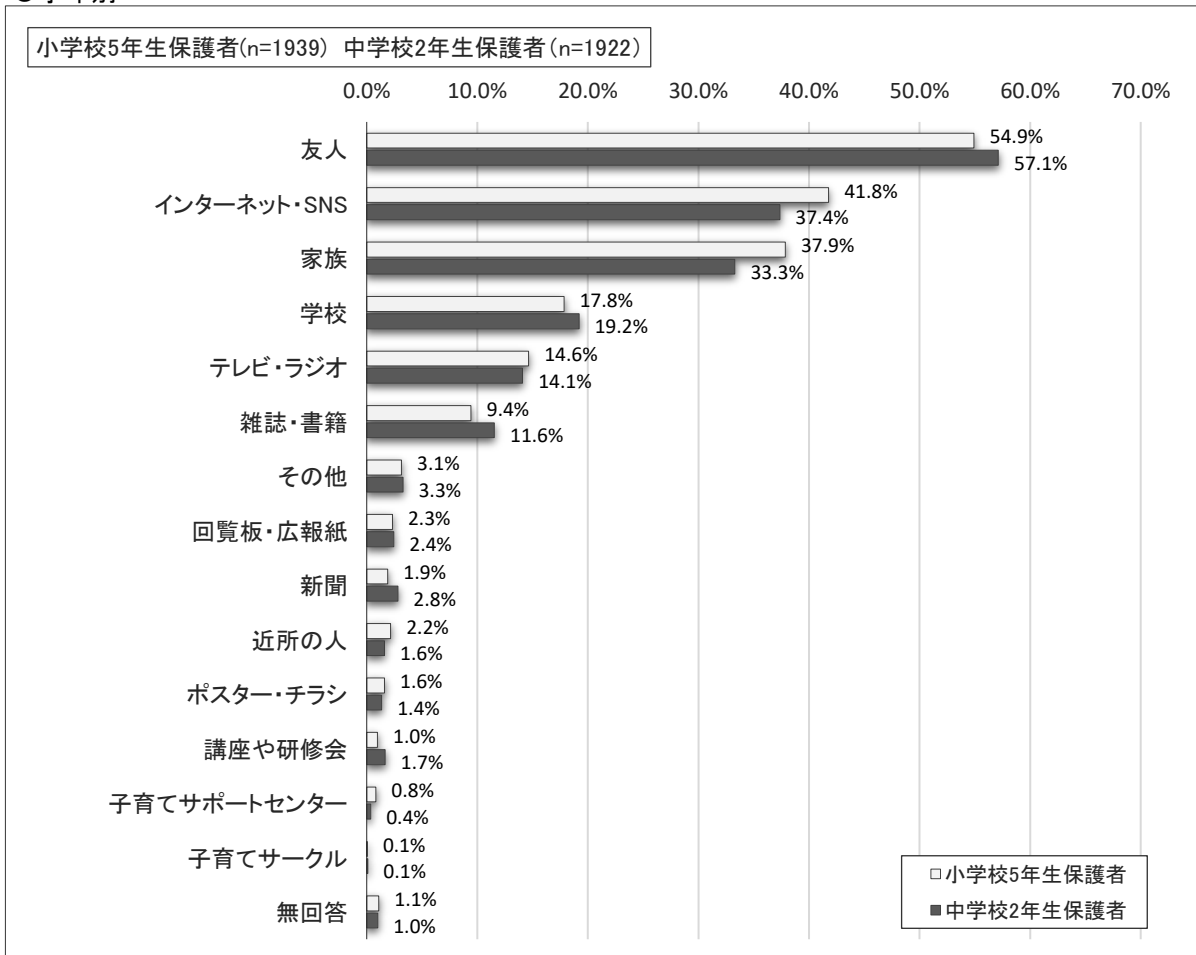
- 職場関係(24件) ●職場で学んだこと(3件) ●兄弟姉妹(2件) ●スクールカウンセラー。
- 子どものカウンセラー。 ●ベネッセ・中学講座。 ●放課後等デイサービス。 ●県立学校。
- 小学校や保育園。 ●長男の保育園。 ●子どもの同級生ママ友、先輩ママ友。
- 子どもの同じ学年のお母さん(部活が一緒に、上のお子さんがいるお母さんなど)。
- 自分の両親。 ●近くに住んでいる実母。 ●兄弟姉妹。 ●今までの経験。 ●仕事から子育ては専門なので。
- 子どもがお友達の様子を話してくれたりすることにより。
- 子育ては家庭環境によって異なるので、多情報はあてにならないし、いらぬ。 ●自分で考える。
- 得ることはない。 ●特に調べようと思う事はない。 ●特にない(2件)

家庭教育についての情報を誰(何)から得ているか聞いたところ、1番目は「友人」が1,267人(32.8%)と最も多く、次いで、「家族」が1,105人(28.6%)であった。2番目の回答で最も多いのは、「インターネット・SNS」が919人(23.8%)で、1番目と2番目を合わせると、「友人」「インターネット・SNS」「家族」の順であった。

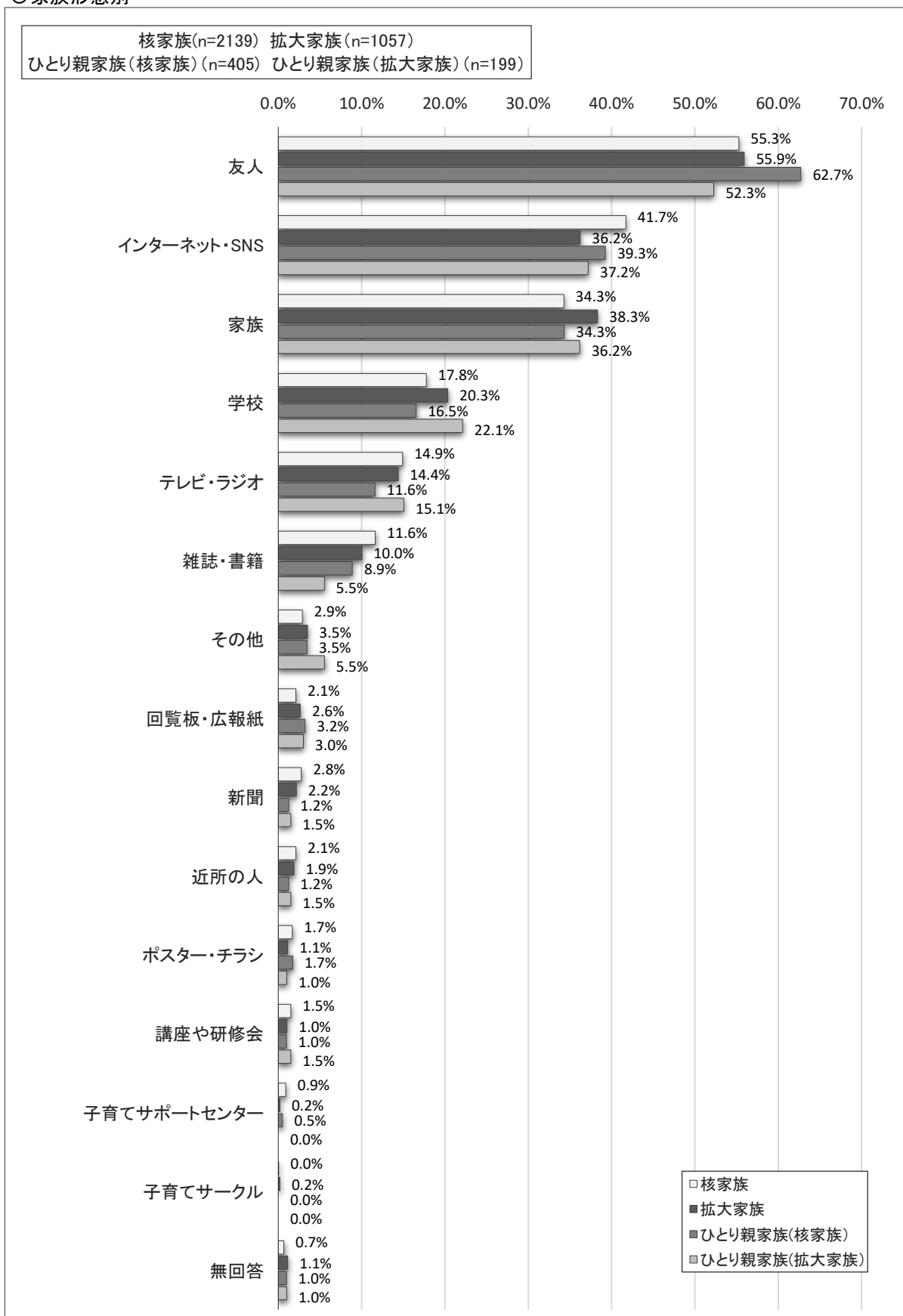
○性別



○学年別



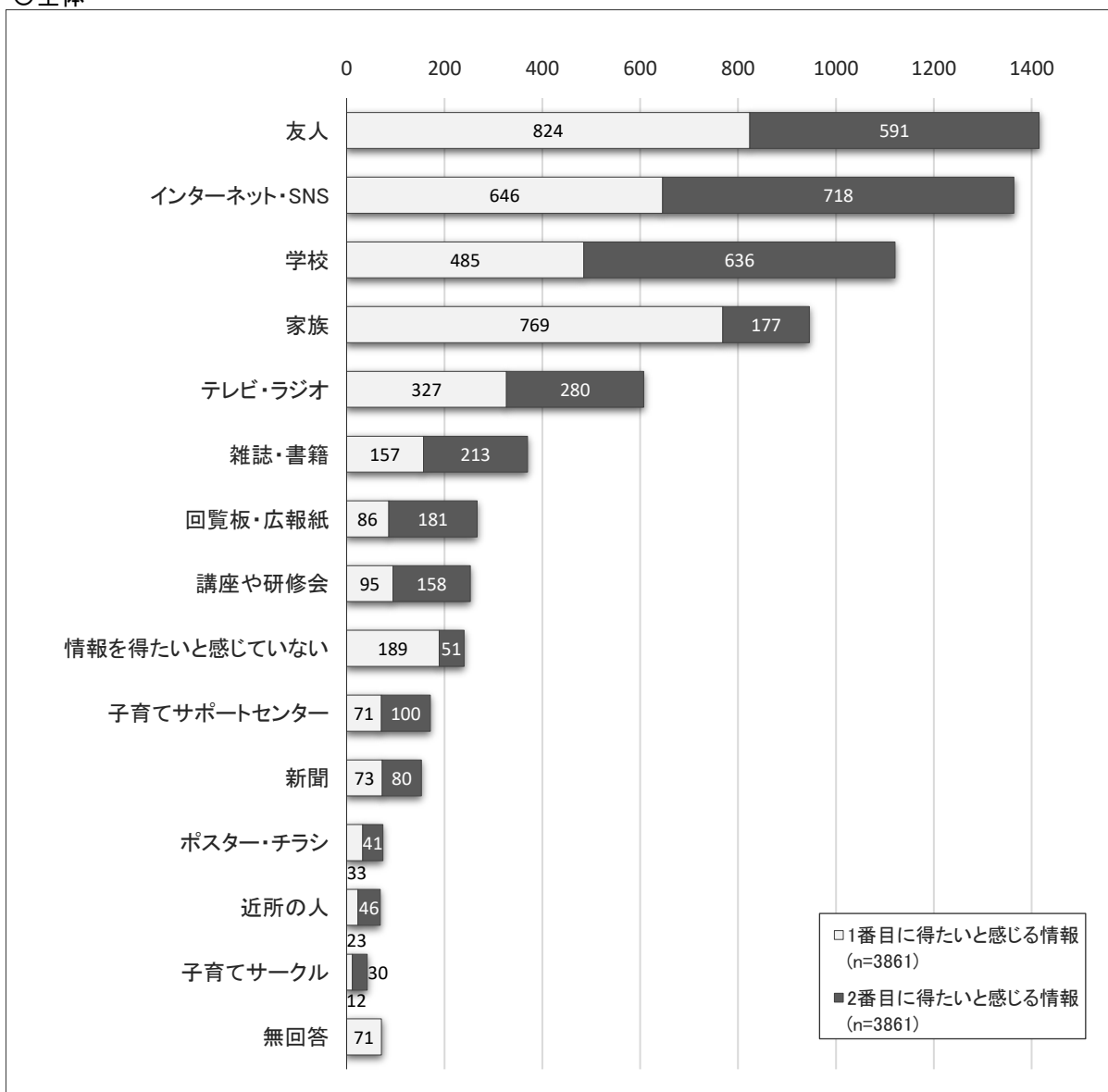
○家族形態別



性別及び学年別、家族形態別の回答者数は、「1番目」と「2番目」を合わせたものである。

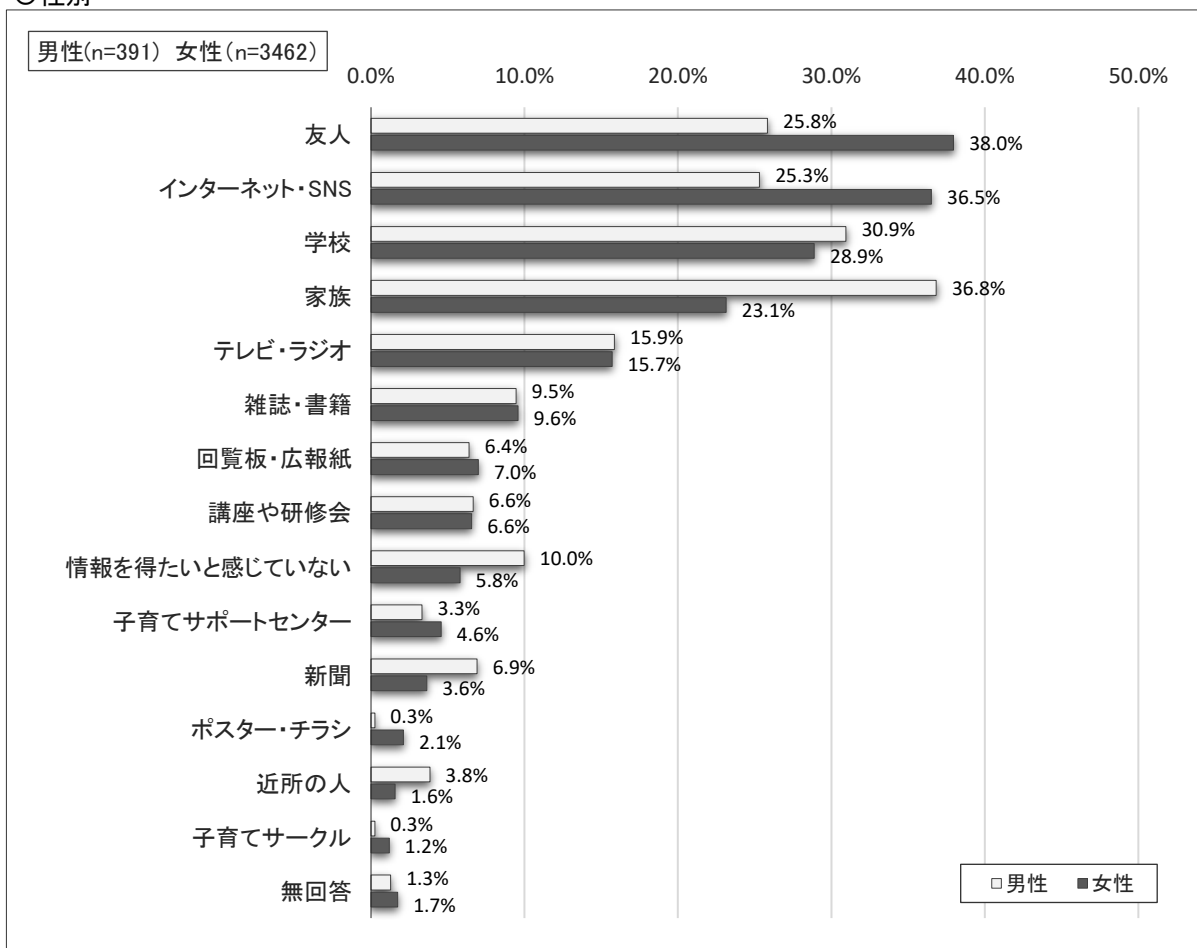
問23 家庭教育(子育て)について情報を誰(何)から得たいか

○全体

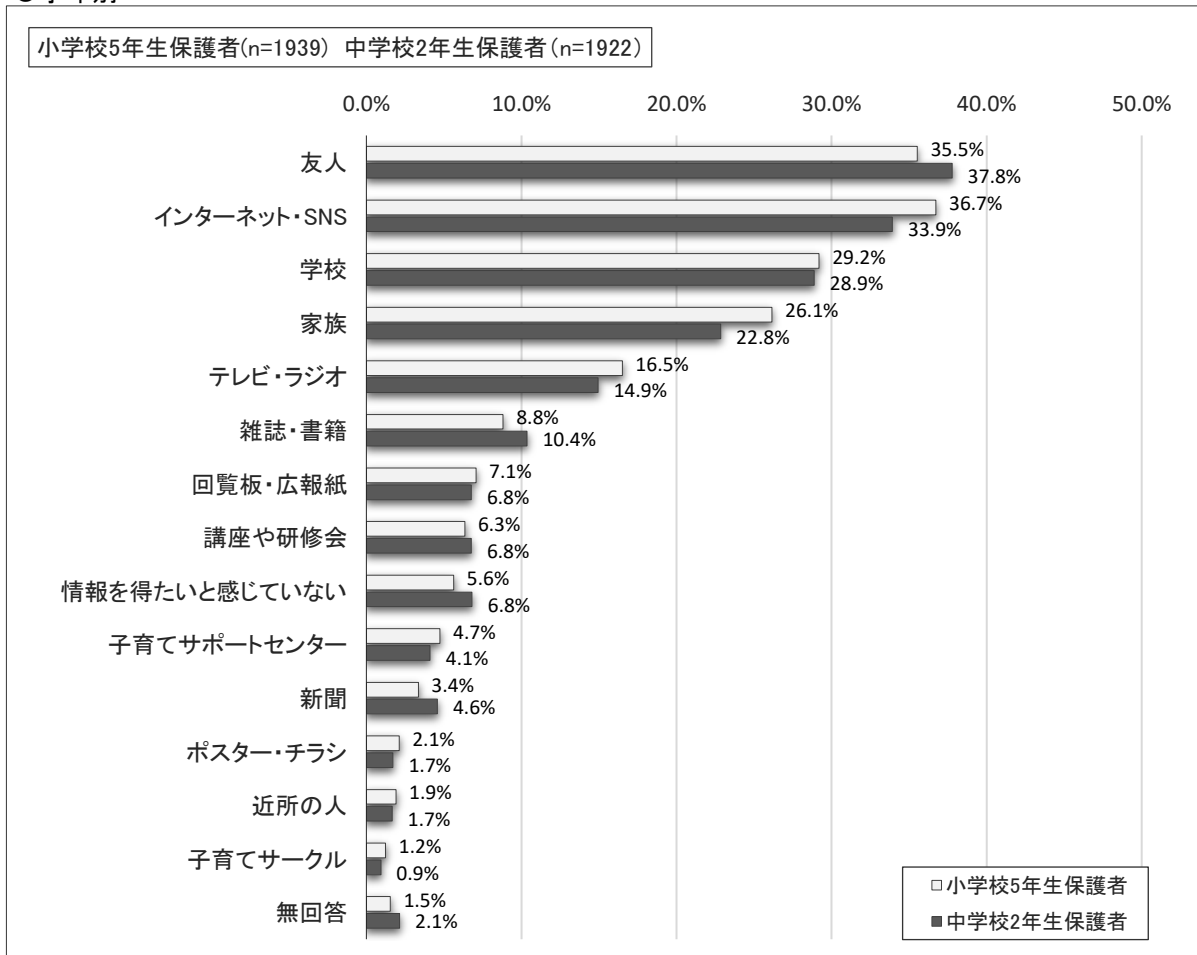


家庭教育についての情報を誰(何)から得たいと感じているか聞いたところ、1番目は「友人」が824人(21.3%)で最も多く、次いで、「家族」が769人(19.9%)であった。2番目では、「インターネット・SNS」が718人(18.6%)で最も多く、次いで、「学校」が636人(16.5%)であった。1番目と2番目を合わせると、「友人」「インターネット・SNS」「学校」の順であった。

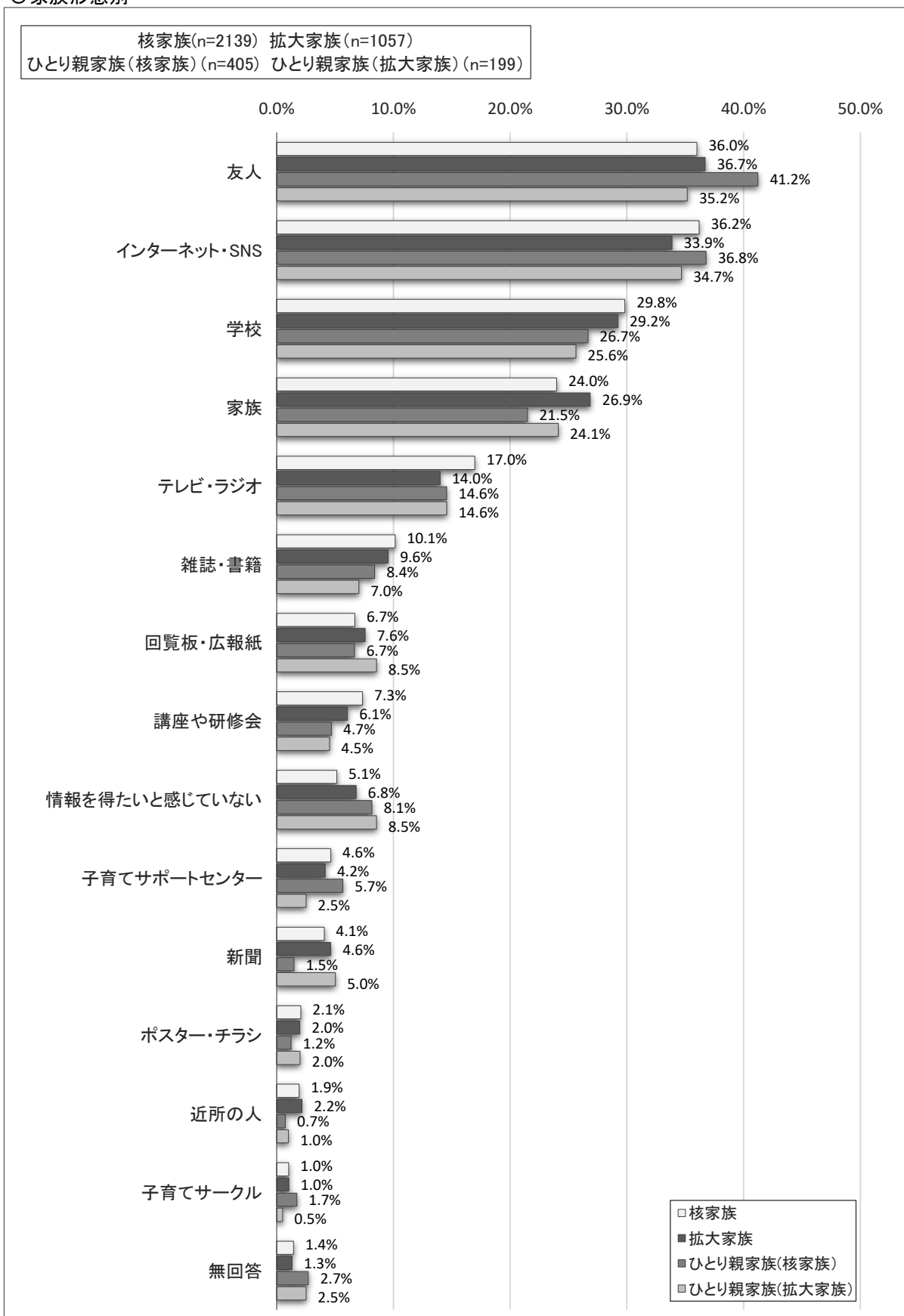
○性別



○学年別

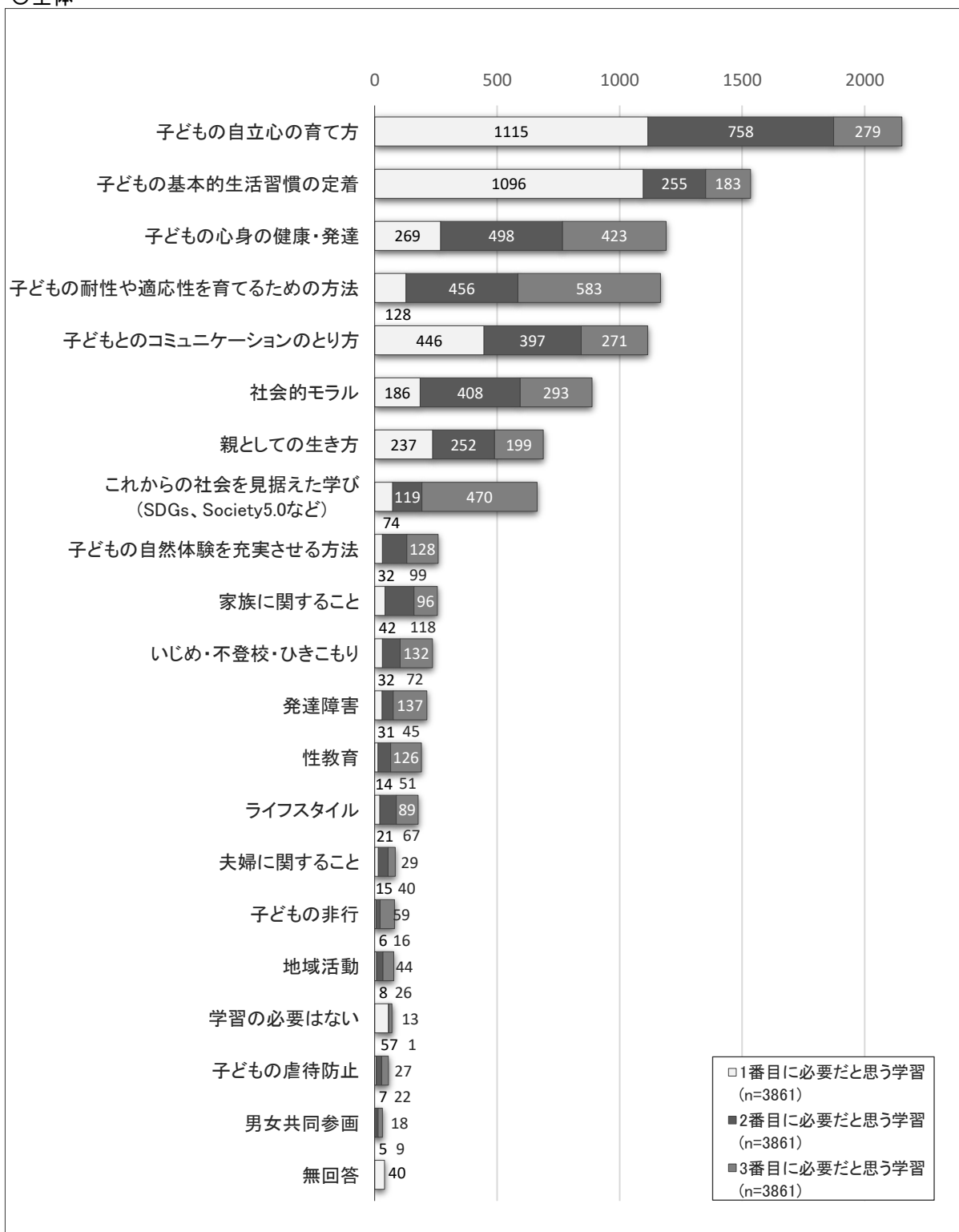


○家族形態別



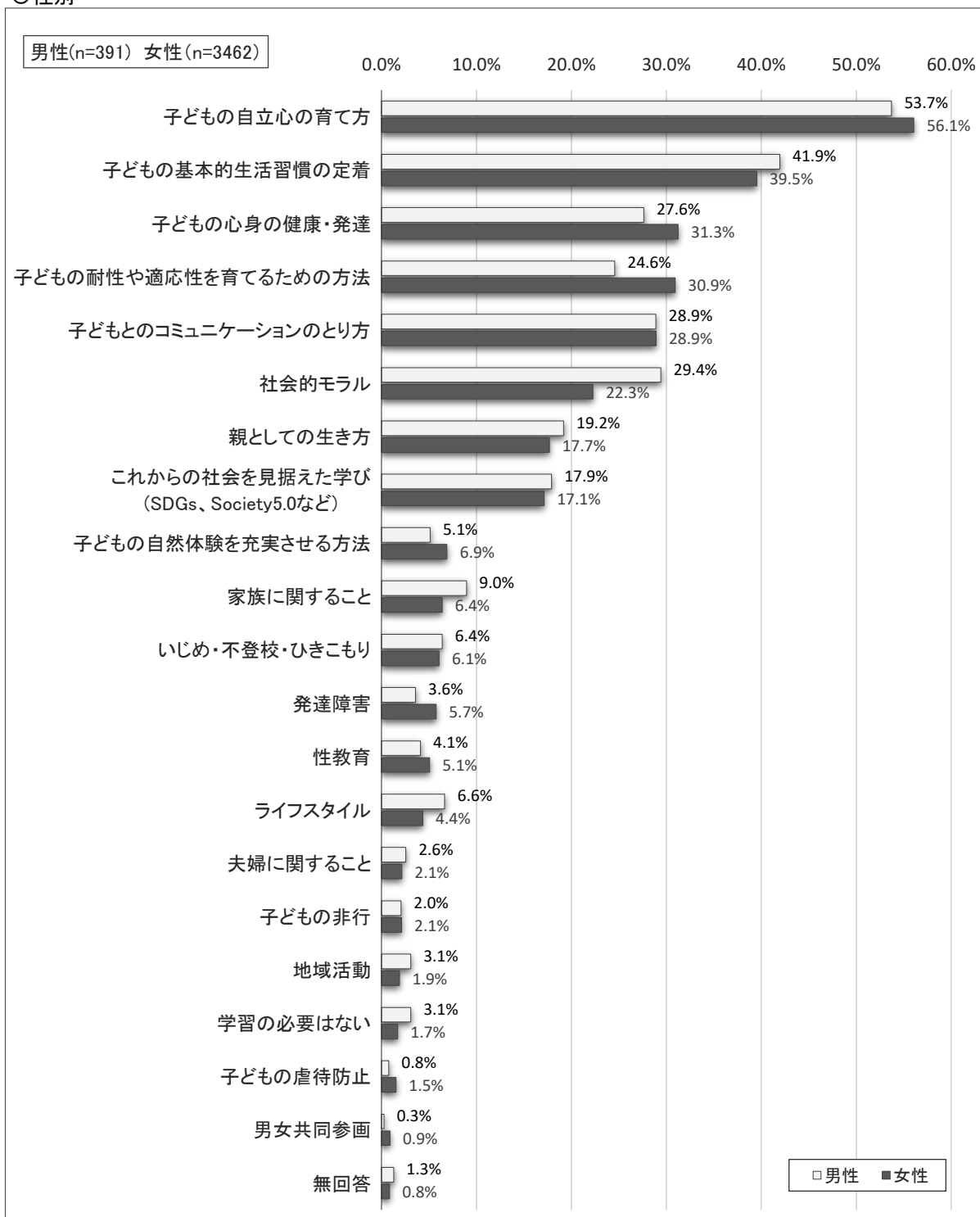
性別及び学年別、家族形態別の回答者数は、「1番目」と「2番目」を合わせたものである。

問24 子どもを育てるうえで、親の学習に大切だと思う内容は何か
○全体

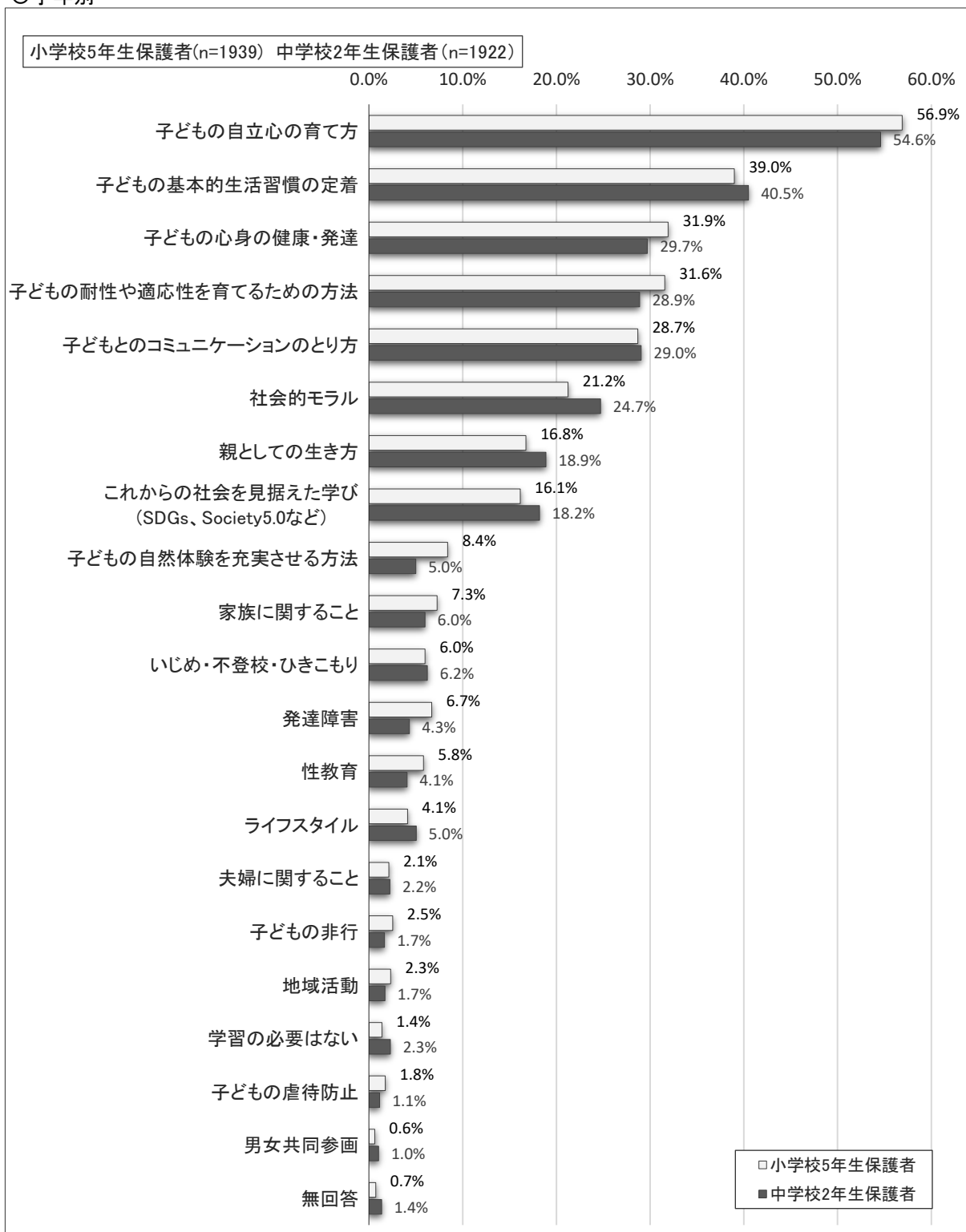


親の学習に大切だと思う内容を聞いたところ、1番目は「子どもの自立心の育て方」が1,115人(28.9%)で最も多く、次いで、「子どもの基本的生活習慣の定着」が1,096人(28.4%)であった。2番目の回答では、「自立心の育て方」が758人(19.6%)と最も多く、次いで、「心身の健康・発達」が498人(12.9%)であった。

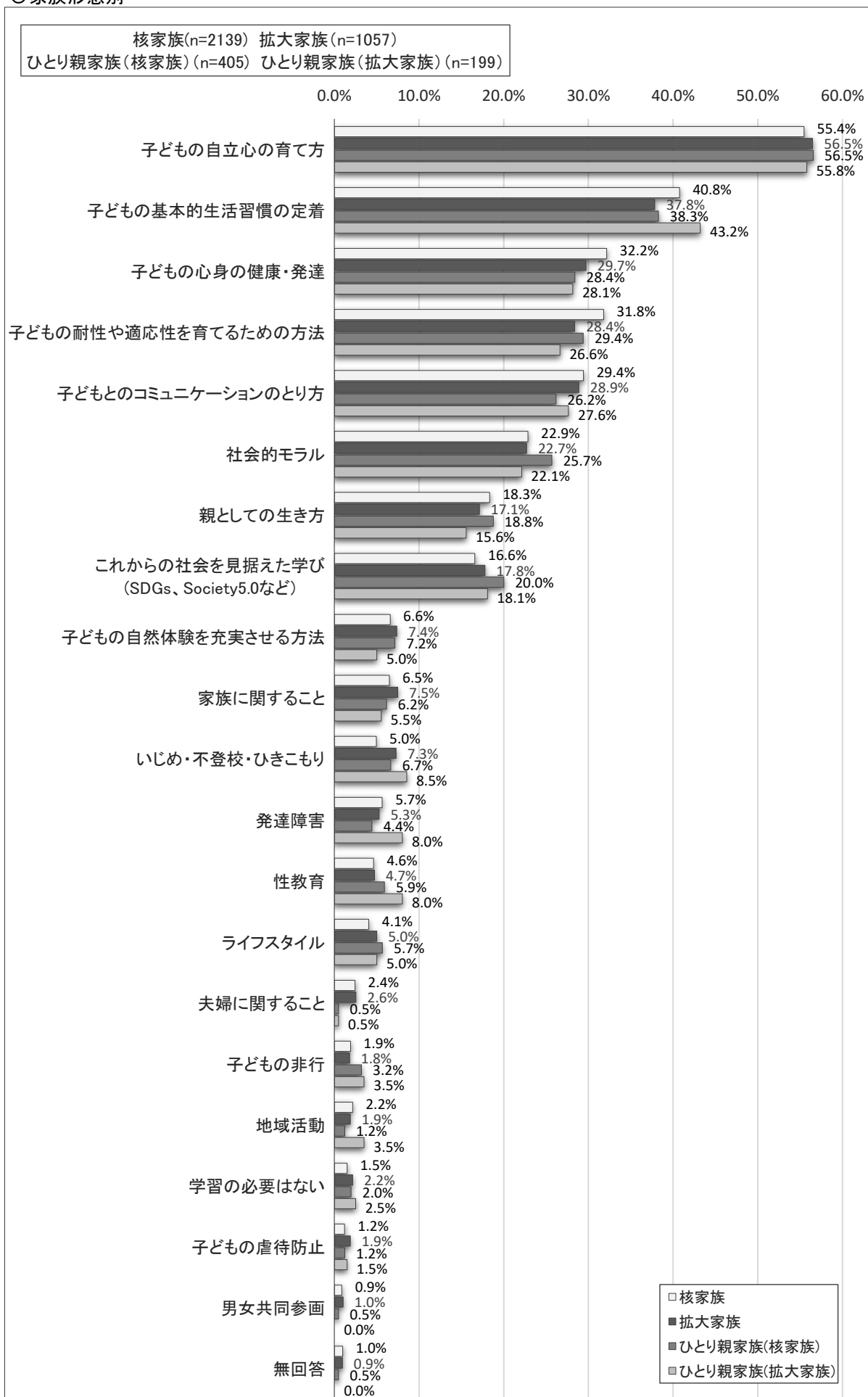
○性別



○学年別



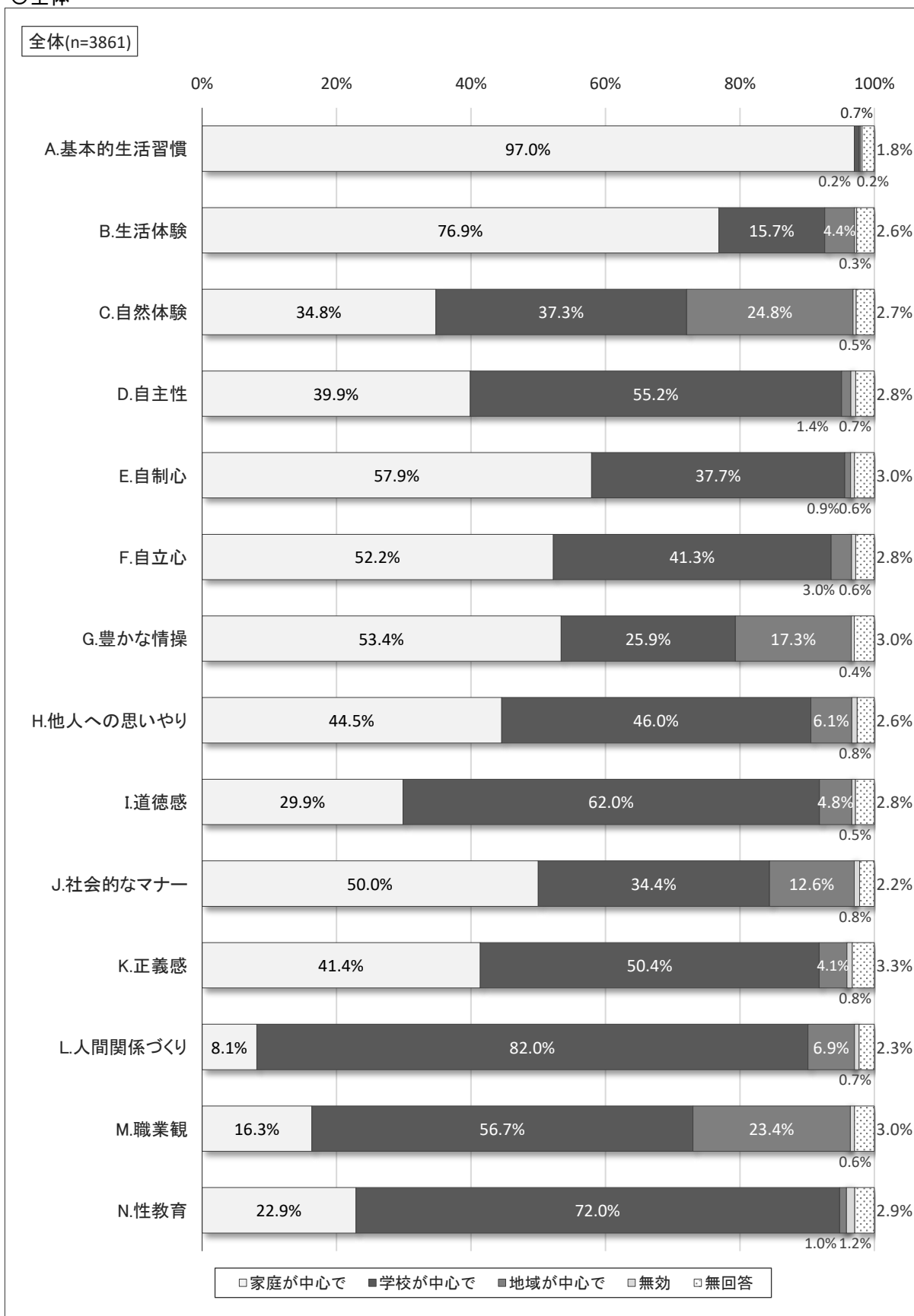
○家族形態別



性別及び、学年別、家族形態別の回答者数は、「1番目」と「2番目」と「3番目」を合わせたものである。

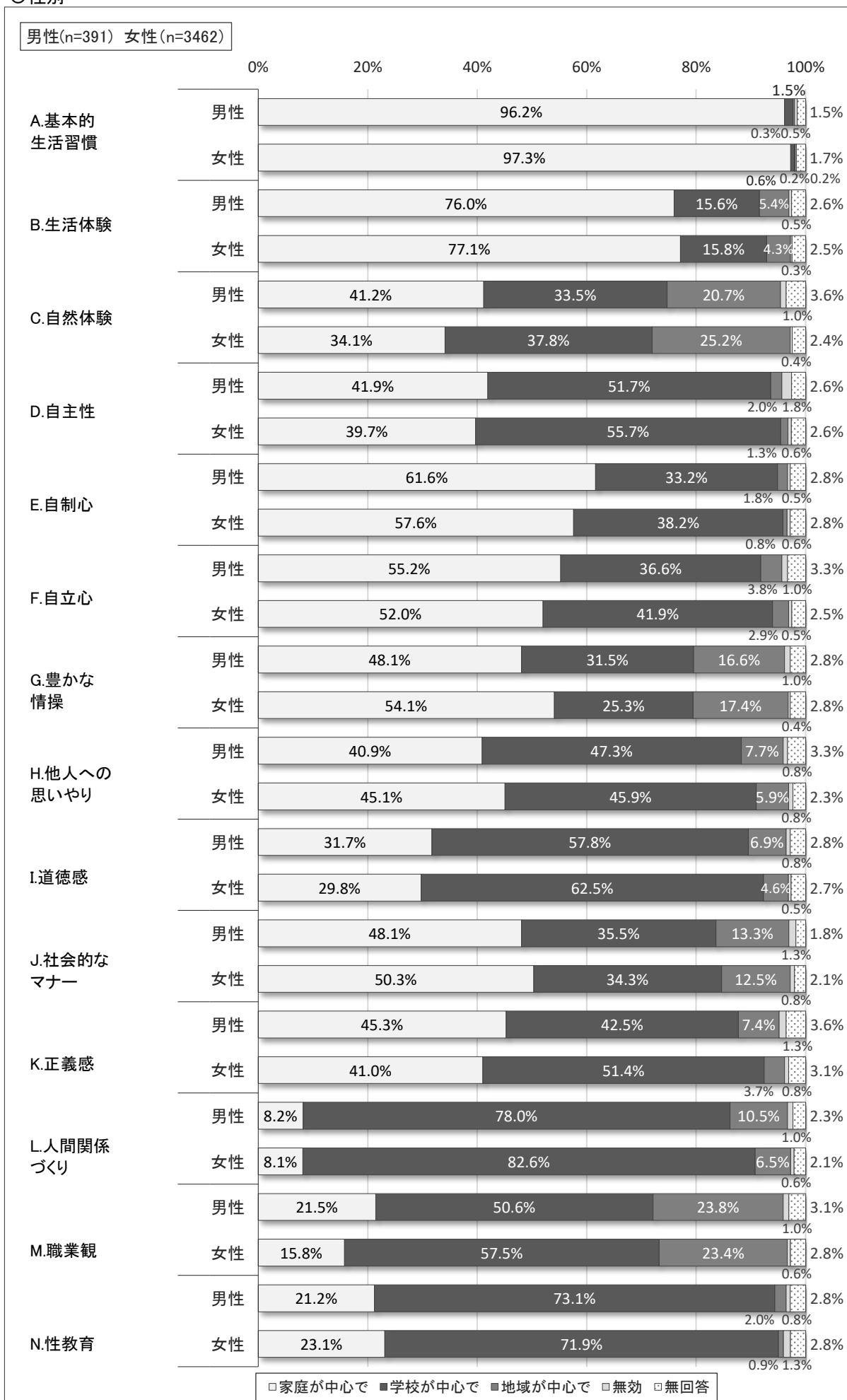
問25 教育項目について、家庭と学校、地域のどこで身につけさせる方がよいと思うか

○全体

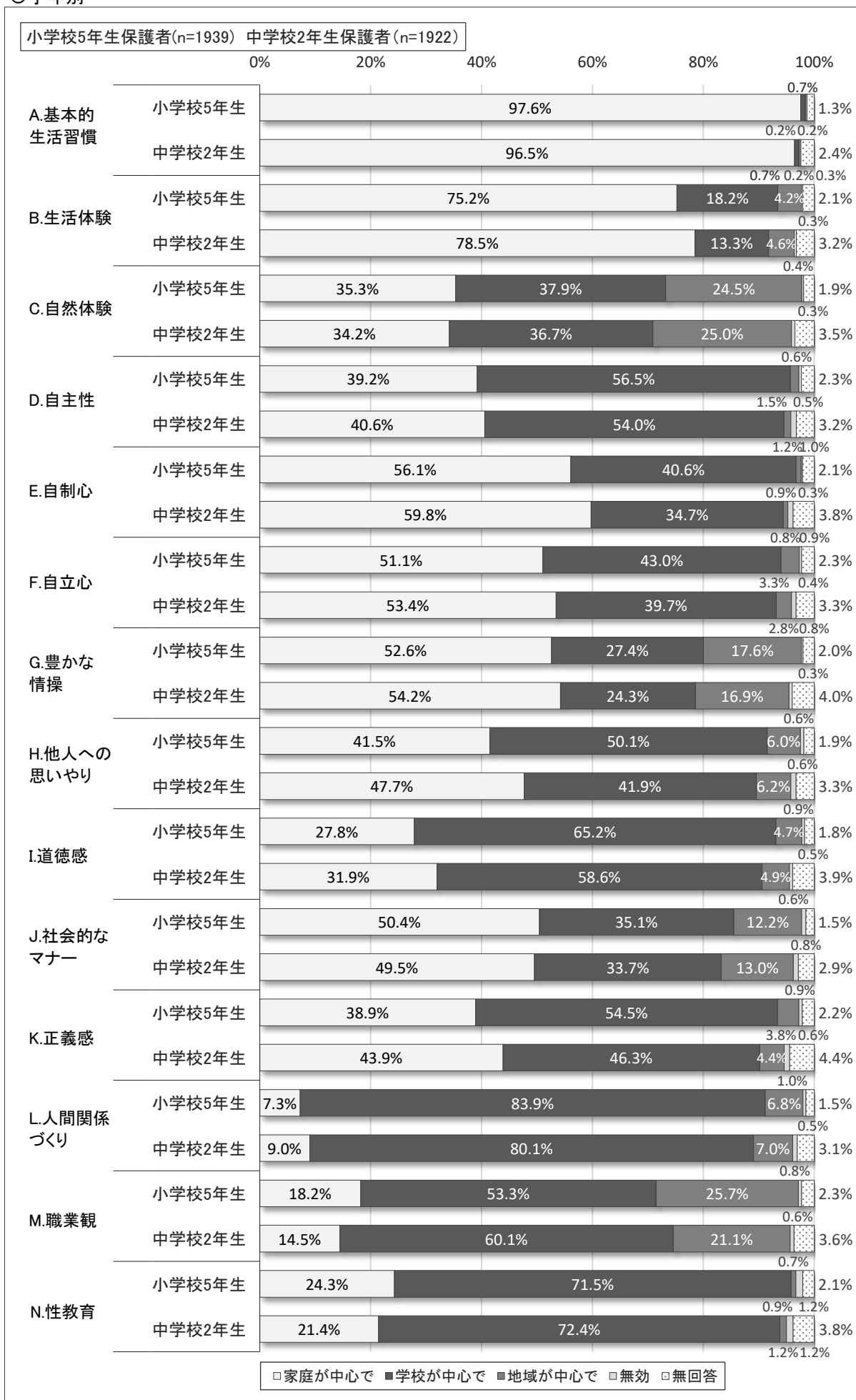


家庭で身につけさせるほうが良い教育としては、「基本的な生活習慣」が97.0%で最も多く、次いで、「生活体験」が76.9%であった。学校で身につけさせるほうが良い教育としては、「人間関係づくり」が82.0%で最も多く、次いで、「性教育」が72.0%であった。地域で身につけさせるほうが良い教育としては、「自然体験」が24.8%で最も多く、次いで、「職業観」が23.4%であった。

○性別



○学年別



○家族形態別

